令 和 ２ 年 版

消　防　年　報

（涌谷町：奈良東大寺に献納された「現代の金」涌谷町産金のいぶき）

大崎地域広域行政事務組合消防本部

黄金山の産金

当時，多発していた地震災害や大流行していた疫病を鎮めようと聖武天皇の発願によって建立されていた奈良東大寺の大仏様は，完成に近づいていました。しかし，仏身を鍍金する肝心の金が足らず聖武天皇をはじめ関係者の憂慮が深かったのです。

このような時，天平２１年（７４９）陸奥国守の百済王敬福（くだらのこにきしきょうふく）が現在の涌谷町にある黄金山神社一帯の山から産出した黄金を献上しました。

聖武天皇は，年号を「天平感宝」と改元するほど大いに慶び大仏様の建立を完成へ導きました。

そうした歴史を伴い，毎年１１月には，同町で「現代の金」と称される「金のいぶき（米）」を同寺に献上いたし，町の更なる発展と圏域の安全安心を祈願しております。

《黄金山神社》

《天平ろまん館》

日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」

令和元年度，涌谷町が代表自治体として気仙沼市・南三陸町・岩手県陸前高田市・平泉町の県をまたいだ２市３町が協力し，各市町の「みちのくの金」にまつわるストーリーが日本遺産に認定されました。涌谷町では国史跡黄金山産金遺跡や黄金山神社，箟岳山や箟峯寺など８件の歴史遺産が構成文化財となっています。

日本遺産構成文化財

《黄金山産金遺跡出土古瓦》

《箟岳山》

《箟峯寺》

（お問い合わせ先）
涌谷町役場　〒９８７－０１９２　宮城県遠田郡涌谷町字新町裏１５３番地２
電話　０２２９－４３－２１１１（代）
ホームページアドレス　http://www.town.wakuya.miyagi.jp/

はじめに

甚大な被害をもたらした東日本大震災から９年が経過し，被災した県及び市町村では生活に密着したインフラの復旧が概ね完了したところであり，ソフト面における雇用・産業回復など，「令和」に引き継がれた県復興まちづくり計画も「発展期」最終年度に係る事業等が加速されている状況です。

近年は地震災害以外にも「平成２７年関東東北豪雨」「令和元年東日本台風」など，被災地の消防力のみでは対応が困難な大規模災害も発生しており，これまで以上に消防団及び婦人防火クラブとの連携や緊急消防援助隊による広域的な消防応援活動が重要になってきております。

当消防本部におきましては，多様化・大規模化する災害・事故に迅速かつ的確に対応するため，新たに総務省消防庁から土砂災害や風水害の現場で活動する「中型水陸両用車及び搬送車」の無償貸与を受け配備するとともに，令和２年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に開催地消防本部として関わるなど消防防災体制の充実強化を着実に進めているところです。

この年報は，令和元年度中における大崎地域広域行政事務組合の消防業務（消防団を除く）に関わる事業の成果，実績等について収録し，消防行政の効率的な運営と消防力の充実強化に資するとともに，当消防本部の実態を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

何とぞご高覧の上，消防行政に対しましての認識を深めていただき，より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和２年６月

大崎地域広域行政事務組合消防本部

目　次

消防情勢

組合消防管内図…… 1
大崎消防本部の主な統計…… 2
位置及び地勢…… 3
消防施設の整備…… 4
相互応援協定…… 5
緊急消防援助隊…… 6
組合消防情勢の推移…… 7
大崎消防のあゆみと主な災害等…… 8
構成市町の面積・世帯・人口…… 31
事務組合機構図…… 32
消防本部事務分掌…… 33
消防署事務分掌…… 35
令和２年度一般会計予算概要及び消防費当初予算…… 36
施設（消防庁舎等）の現況…… 37
消防力の整備指針と現有消防力…… 38
所属別配置状況…… 39
年齢別構成表…… 40
勤続年数別構成表…… 41
年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数／職員数と条例定数の推移…… 42

警　　防

災害出動計画基準表…… 43
非常配備体制…… 45
消防車両配置表…… 46
消防隊出動状況…… 50
消防水利の現況…… 51

（火　災）

火災の現況…… 52
令和元年市町別火災発生状況…… 53
月別火災発生状況／過去１０年間の主な出火原因…… 54
月別火災発生及び損害額状況／過去１０年間の火災件数及び損害額の推移…… 55

（救　急）

救急業務の現況…… 56
令和元年月別救急出動状況…… 57
令和元年救急隊別出動状況…… 58
令和元年出動先別救急出動状況…… 59

令和元年傷病程度・年齢別搬送人員の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
令和元年救急隊員の行った応急処置状況（その１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
令和元年救急隊員の行った応急処置状況（その２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
東北自動車道における救急出動件数・搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
過去５年間の発生場所別救急出動件数／過去１０年間の救急出動件数の推移・・・・・・・ 64
令和元年事故種別医療機関別搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
応急手当講習会等の現況・・・ 66
応急手当講習会等の開催状況・・・ 67
（救　助）
救助業務の現況・・・ 69
令和元年救助活動状況／過去５年間における救助件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
消防装備等機械器具保有状況・・・ 71

予　　防
予防業務の現況・・・ 72
防火対象物数・・・ 73
地上５階未満，地上５階以上の防火対象物数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
防火対象物における防火管理の状況・・・ 75
定期点検報告制度該当防火対象物数／消防同意事務処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
危険物施設状況・・・ 77
危険物関係事務処理状況／危険物関係申請状況／圧縮アセチレンガス等の届出状況 78
予防査察実施状況・・・ 79
液化石油ガス関係事務処理状況／火薬類取締関係事務処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
民間防火組織の結成状況・・・ 81

通信指令
高機能消防指令センターの概要・・・ 82
通信指令システム機器一覧・・・ 84
１１９番等受付状況（災害）・・ 85
１１９番等受付状況（災害以外）・・・ 86
１１９番等受付件数／覚知別受付件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
火災等区分別入電件数／テレドーム利用件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
月別気象状況・・・ 89

管内の消防団
大崎管内の消防団構成・・・ 90

※ 本書の記載内容の期間については，各表及び統計毎に明示しております。

消　防　情　勢

古川消防署救助工作車・中型水陸両用車及び搬送車

大崎地域広域行政事務組合消防管内図

【マスコットキャラクター：らいすくん】

■ 組合構成市町：１市４町

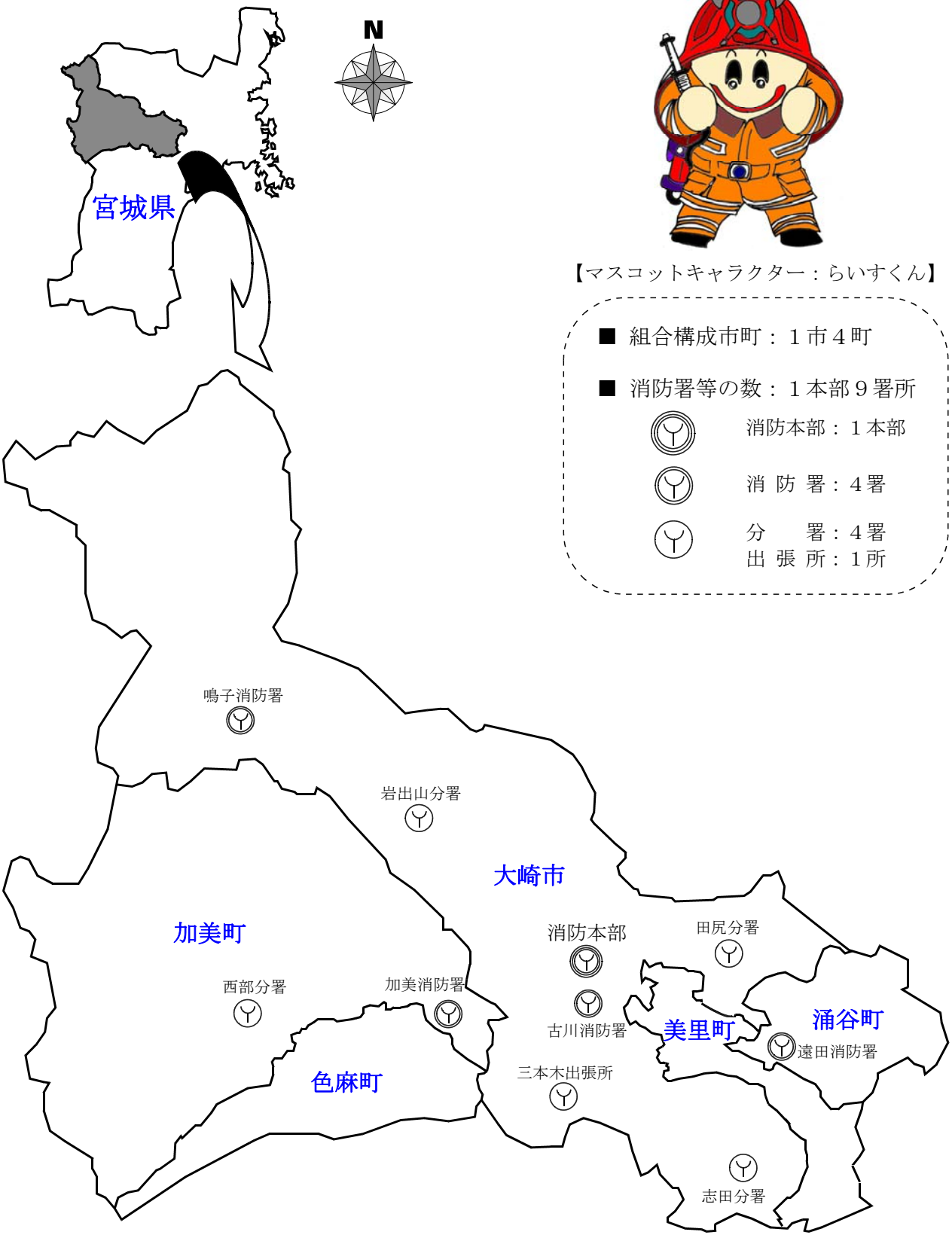
■ 消防署等の数：１本部９署所

消防本部：１本部

消 防 署：４署

分　　署：４署

出 張 所：１所



■大崎消防本部の主な統計

令和２年４月１日現在の情勢

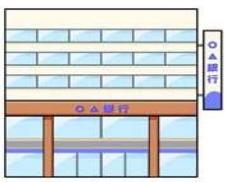
（人口・世帯等は構成市町からの数値，災害件数は令和元年確定値）

管内面積	管内人口	管内世帯数	人口密度
1,523.87 ㎢	198,379 人	77,056 世帯	130.18 人／1 ㎢

消防予算（２年度）	署所数	職員数	消防団員数
3,045,277 千円	消防本部　1 消防署　4 分署等　5	定数　338 人 現有　321 人	定数 4,080 人 現有 3,726 人

消防車	特殊車両	救急車他	消防水利
ポンプ車　11 台 タンク車　7 台 化学車　1 台	はしご車　2 台 救助工作車　1 台 大型水槽車　3 台	救急車 13 台 司令・指揮車　6 台 その他車 25 台	消火栓　3,127 基 防火水槽　1,146 基 その他　135 箇所

火災件数	救急件数	救助件数	その他災害件数
51 件	9,470 件	43 件	危険物等漏洩　47 件 自然災害　27 件 その他　262 件

防火対象物数	危険物施設数	セイフティマーク	防火組織等
			
８条　1,874 件 １７条　6,984 件	製造所　3 件 貯蔵所　588 件 取扱所　270 件	該当対象物　269 件 特例認定対象物　32 件	婦人防火クラブ　259 少年消防クラブ　1 幼年消防クラブ　41

【位置及び地勢】

県北西部の大崎耕土

当圏域は，宮城県の北西部に位置し，南は広域仙台都市圏，東は広域石巻圏，北は栗原市・登米市，西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。

地勢としては，西部の山岳地帯の荒雄岳を源とする江合川，船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が西から東に向かって流れています。

また，山間部の豊かな森林に覆われた自然を源とする水は，圏域の北西から南東に広がる肥沃に満ちた広大な平野「大崎耕土」を潤し，昔から米どころとしての水稲の盛んな流域圏を形成しています。

圏域の人口は，令和 2 年 4 月 1 日現在 198,379 人（平成 27 年国勢調査 205,925 人）で，宮城県総人口の約 9 %を占め，広域仙台都市圏に次いで 2 番目の規模となっています。

国土の縦軸と横軸が交差する大崎

圏域は，ＪＲ東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や，東北自動車道・国道 4 号・47 号・108 号・346 号・347 号・457 号などの幹線交通網が，縦横に通った交通アクセスの優れた地域となっています。

世界農業遺産認定

「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産しており，平成 29 年 12 月「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が国際連合食糧農業機関（ＦＡＯ）から世界農業遺産に認定されました。

また，栗駒国定公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設，歴史の道「奥の細道」や遺跡などの文化財，太鼓や神楽などの伝統芸能など文化遺産にも恵まれており，豊富な観光資源を活用したレクリエーション産業が発展しています。

大崎耕土（写真提供：大崎地域世界農業遺産推進協議会）

【消防施設の整備】

消防本部では，地域社会の防災機関の中枢として，住民のニーズに応えるべく管内情勢に応じた総合的，効果的な消防施設整備計画を作成し，消防力の強化，充実を推進しています。

令和元年度の整備状況は次のとおりです。

1　救助工作車（Ⅲ型）の整備

導入から２４年が経過した古川消防署の救助工作車を更新整備しました。

新たに無人航空機や早期地震警戒装置等を装備させ，消防力の強化を図っております。

（緊急防災・減災事業）

【古 川 工 作 車】

2　消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）の整備

導入から２２年が経過した鳴子消防署岩出山分署の消防ポンプ車を更新整備しました。

地域特性を踏まえ，悪路における走破性や積載資機材を強化しております。

（市町村振興総合補助事業，施設整備事業）

【岩出山ポンプ車】

3　中型水陸両用車・搬送車の配備及び車庫の整備

大規模な土砂災害や風水害時における救助体制の強化を目的に総務省消防庁から無償貸与を受け配備しました。

土砂災害警戒区域を多く抱える鳴子消防署に車庫を新設し，有事の迅速対応を図ったものです。

（車庫：緊急防災・減災事業）

【中型水陸両用車・搬送車
及び鳴子消防署車庫】

4　高規格救急自動車の整備

導入から１０年以上が経過した遠田消防署及び加美消防署西部分署の高規格救急自動車を更新整備しました。

増加する救急出動に対し，適切かつ迅速な救急救命処置を行うため救急資機材を充実させており，遠田救急車にあっては大規模災害時における緊急消防援助隊の救急隊としても出動します。

（遠田救急車：緊急消防援助隊設備整備費補助事業，西部救急車：施設整備事業）

【遠田救急車】

【西部救急車】

【相互応援協定】

市町村は，その管轄区域内における火災等の消防責任を有していますが，その消防力を超える大規模火災や特殊災害等が発生した場合，それらに対応するため消防組織法に基づき近隣の消防本部等と消防相互応援協定を締結しています。

東日本大震災では，宮城県広域消防相互応援協定に基づき，気仙沼市，石巻市等の２市２町へ消火隊及び救急隊等延べ６７隊を派遣し４３日間にわたり活動を行いました。

また，最近では令和元年１０月に発生した台風１９号災害に伴い，消火小隊，救急小隊，後方支援小隊の延べ１４隊４８名を被災地である丸森町へ派遣，さらに今年４月３０日，岩沼市で発生した大規模倉庫火災には指揮隊，特殊装備小隊，後方支援小隊の延べ５隊１８名を派遣し応援活動を行いました。

名　称	締結年月日	締結市町村名 協定消防本部名	応 援 内 容
消防相互応援協定	S45 年 11 月 1 日	栗原市消防本部	消防組織法第 39 条 (火災･その他災害)
	S48 年 2 月 1 日	栗原市消防本部	消防組織法第 39 条 （救急）
	S48 年 7 月 1 日	黒川地域行政事務組合 消防本部	消防組織法第 39 条 (火災･救急･その他災害)
	S50 年 4 月 1 日	山形県最上広域 市町村圏消防本部	消防組織法第 39 条 (火災･救急･その他災害)
	H 8 年 7 月 31 日	秋田県湯沢雄勝広域 市町村圏消防本部	消防組織法第 39 条 (火災･救急･その他災害)
	H25 年 3 月 1 日	尾花沢市消防本部	消防組織法第 39 条 (火災･救急･その他災害)
広域消防相互応援協定	S48 年 1 月 24 日	石巻地区広域・塩釜地区・登米市・気仙沼本吉地域広域４消防本部	消防組織法第 39 条 (火災･救急･その他災害)
東北自動車道 宮城県消防相互 応援協定	S63 年 7 月 1 日	仙台市・名取市・仙南地域広域・栗原市・黒川地域５消防本部	東北自動車道における 消防業務の相互応援
宮城県広域消防 相互応援協定	H31 年 4 月 1 日	県内１１消防本部（局）	消防組織法第 39 条 (火災･救急･その他災害)
宮城県広域航空 消防応援協定	H31 年 4 月 1 日	宮城県 県内１１消防本部(局)	同　上
宮城県内航空 消防応援協定	H31 年 4 月 1 日	仙台市 県内１０消防本部	同　上

【緊急消防援助隊】

緊急消防援助隊は，平成７年（１９９５年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえ，大規模災害等において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に，人命救助活動等を効果的かつ迅速に行えるよう，全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし，平成７年６月に創設されました。

その後，平成１５年６月の消防組織法改正により，緊急消防援助隊が法制化（平成１６年４月施行）されました。また，平成２６年４月には東日本大震災の教訓を活かし，南海トラフ地震等への対応力を強化するため緊急消防援助隊基本計画が改定され，緊急消防援助隊の登録目標数（令和５年度末）を全国で６，６００隊に大幅増隊する計画となっています。令和２年４月１日現在，全国で６，４４１隊が登録されており，その内訳は指揮支援隊，航空指揮支援隊，統合機動部隊指揮隊，エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊，ＮＢＣ災害即応部隊指揮隊，土砂・風水害機動支援部隊指揮隊，都道府県大隊指揮隊，消火小隊，救助小隊，救急小隊，後方支援小隊，通信支援小隊，特殊災害小隊，特殊装備小隊，航空小隊，水上小隊，航空後方支援小隊の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。大崎広域消防本部においては，令和２年３月に総務省消防庁から無償使用配備された中型水陸両用車及び搬送車（特殊装備小隊）を含め，下表のとおり１３隊を登録しています。

登録隊	所　　属	車　　両	登録年月	登録隊数
都道府県大隊指揮隊	消防本部	司令車	Ｈ１９．４	１隊
消火小隊	加美消防署	水槽付ポンプ車	Ｈ１５．４	５隊
	鳴子消防署	水槽付ポンプ車	Ｈ２７．４	
	遠田消防署	水槽付ポンプ車	Ｈ２１．３	
	西部分署	水槽付ポンプ車	Ｈ２６．４	
	田尻分署	水槽付ポンプ車	Ｈ２７．４	
救助小隊	古川消防署	救助工作車	Ｈ１５．４	１隊
救急小隊	加美消防署	高規格救急車	Ｈ１９．４	３隊
	遠田消防署	高規格救急車	Ｈ２０．４	
	鳴子消防署	高規格救急車	Ｈ３０．４	
後方支援小隊	古川消防署	拠点機能形成車	Ｈ３１．４	１隊
特殊装備小隊	鳴子消防署	中型水陸両用車及び搬送車	Ｒ２．４	２隊
	遠田消防署	大型水槽車	Ｈ２３．４	
計				１３隊

平成 28 年台風 10 号被害に伴う派遣
（岩手県下閉伊郡岩泉町）

平成 30 年北海道胆振東部地震に伴う派遣
（北海道勇払郡厚真町）

大崎地域広域行政事務組合消防情勢の推移

令和2年4月1日現在

区分 年	人口	世帯数	消防職員		火災件数 (1～12月)	救急出動件数 (1～12月)
			定数	実員		
昭和45	219,598	48,081	186	125	76	336
46	217,880	48,759	186	154	126	378
47	216,507	49,280	186	186	111	655
48	214,880	49,790	214	211	119	1,007
49	215,464	50,472	217	214	108	1,472
50	216,349	51,115	222	220	104	1,695
51	217,525	51,787	222	219	119	1,880
52	218,880	52,674	228	226	101	1,905
53	219,884	53,462	228	222	109	2,101
54	221,097	53,963	228	228	122	2,210
55	219,603	54,482	228	226	86	2,474
56	221,414	54,252	233	231	91	2,507
57	222,930	55,192	238	236	87	2,747
58	223,686	55,539	242	242	101	2,995
59	223,973	55,925	242	240	101	2,906
60	224,954	56,476	242	238	94	3,174
61	225,434	57,134	252	243	101	3,331
62	225,556	57,348	252	246	103	3,472
63	225,578	57,680	252	248	99	3,517
平成元	225,567	58,185	252	243	78	3,766
2	225,285	58,731	252	242	87	3,958
3	225,114	59,140	252	239	97	4,002
4	225,225	59,733	252	243	105	4,070
5	225,490	60,480	252	251	103	4,241
6	226,104	61,167	260	260	105	4,575
7	225,813	61,167	300	268	99	4,784
8	225,606	62,754	300	276	86	5,172
9	225,424	63,565	300	284	132	5,202
10	225,532	64,795	300	291	117	5,757
11	225,588	65,632	300	297	129	6,174
12	225,054	66,296	300	299	78	6,567
13	224,134	66,736	300	298	148	6,572
14	223,234	67,177	338	303	138	6,816
15	222,594	68,067	338	308	156	7,253
16	221,420	68,268	338	312	152	7,789
17	220,499	68,758	338	317	128	8,142
18	219,422	69,245	338	321	86	7,918
19	218,267	69,890	338	320	124	7,910
20	214,085	70,384	338	312	132	7,807
21	212,187	70,669	338	310	114	7,807
22	213,998	71,447	338	307	99	8,251
23	212,773	71,821	338	314	110	9,180
24	212,509	72,699	338	315	88	9,087
25	211,325	73,480	338	310(1)	96	9,125
26	210,347	74,323	338	312(2)	83	9,157
27	208,511	74,902	338	308(6)	74	9,458
28	207,122	75,485	338	315(4)	85	9,352
29	205,597	76,108	338	317(6)	66	9,508
30	203,483	76,533	338	317(3)	70	9,288
令和元	200,947	76,642	338	316(4)	51	9,470
2	198,379	77,056	338	321(5)		

※　消防職員実員の（　　）書きは，再任用職員の内数

大崎消防のあゆみと主な災害等

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和45	4	・大崎1市12町1村で大崎地区消防事務組合を発足，1本部2署1派出所人員92名にて消防業務開始 ・初代消防長に古川市長森谷菊治郎氏就任（事務取扱） ・政令指定	5	・鳴子町字焼石亦林野火災 焼損面積3ha	4	・大阪市地下鉄工事現場ガス爆発火災 死者74名，負傷者411名
	11	・栗原地区消防と消防相互応援協定締結				
46	1	・古川消防署涌谷分署庁舎開設ポンプ車配置 ・古川消防署鹿島台，岩出山，中新田，小牛田各分署及び小野田出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車各1台配置	1	・古川市寿司店火災 死者4名	1	・呉市林野火災 死者17名（消防職員） 負傷者1名 焼損面積340ha
			4	・色麻町四釜，大東電子産業㈱火災		
			5	・岩出山町南沢林野火災 焼損面積3ha		
	7	・第2代消防長に千田清志氏就任			7	・雫石事故（全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落） 死者162名
	10	・古川消防署小牛田分署に普通消防ポンプ車1台増強				
	12	・古川消防署岩出山，鹿島台，中新田，涌谷の各分署に水槽付消防ポンプ車各1台を配置				
47	3	・古川消防署にスノーケル車1台配置				
	4	・古川消防署鹿島台，岩出山，涌谷各分署及び小野田出張所に消防吏員待機宿舎完成 ・古川消防署岩出山，涌谷各分署に救急車各1台配置	5	・岩出山町南沢林野火災 焼損面積2.5ha	5	・大阪市千日デパートビル火災 死者118名，負傷者81名
	8	・第3代消防長に佐藤真夫氏就任	12	・小野田町漆沢ダム工事現場作業員宿舎火災 死者1名	8	・北九州市済生会八幡病院火災 死者13名，負傷者3名 焼損面積888㎡

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和48	2	・石巻広域，気仙沼本吉広域，塩釜地区，登米地区各消防と消防相互応援協定締結	2	・松山町次橋山王大火災 焼損棟数12棟 焼損面積945㎡		
	3	・古川消防署田尻出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車1台配置 ・古川消防署中新田分署に救急車1台配置(日本自動車工業会より寄贈) ・古川消防署小牛田分署に消防吏員待機宿舎完成 ・大崎地域広域行政事務組合に統合なるため大崎地区消防事務組合を解散 ・大崎地域広域行政事務組合に統合,定数条例214名 ・黒川地区消防と消防相互応援協定締結 ・古川消防署小牛田分署に救急車1台配置 ・機構改革により中新田分署，涌谷分署が署に昇格し，1本部4署3分署2出張所1派出所となる。 ・鳴子消防署に救急車1台配置(宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈) ・古川消防署鹿島台分署に救急車1台配置(日本消防協会より寄贈)			7	・出光石油化学徳山工場爆発火災 死者1名
			8	・岩出山町池月林野火災 焼損面積2ha		
					9	・熊本大洋デパート火災 死者103名，負傷者121名 焼損面積13,637㎡
49	3	・古川消防署三本木機関員派出所，中新田消防署宮崎機関員派出所庁舎開設し,普通消防ポンプ車各1台配置				
	4	・定数条例217名に改定			4	・三菱石油水島製油所重油流失事故
					5	・1974年伊豆半島沖地震 (M6.9) 死者30名 家屋全壊134棟
			12	・鳴子町字星沼，旅館仙庄館火災 焼損面積780㎡	8	・東京丸の内三菱重工業ビルで時限爆弾爆発（企業連続爆破事件） 死者8名，重軽傷228名

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和50	2	・古川消防署に救急車1台増強（日本損害保険協会より寄贈）			2	・四日市大協石油製油所タンク火災
	3	・古川消防署松山機関員派出所，涌谷消防署の南郷機関員派出所の各庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置				
	4	・最上広域消防と消防相互応援協定締結 ・定数条例222名に改定	4	・岩出山町南沢畜舎火災 焼損面積624㎡	4	・大分県中部地震（M6.4） 負傷者22名 家屋全壊77棟
	7	・古川消防署に作業車配置				
			8	・古川市協和中学校火災 焼損面積963㎡		
	9	・古川消防署の普通消防ポンプ自動車1台更新（日本損害保険協会より寄贈）				
	10	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新				
			12	・色麻町色麻中学校火災 焼損面積1,909㎡		
51	2	・中新田消防署色麻機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車1台配置				
			4	・古川市中里アパート火災 焼損面積446㎡		
	6	・消防本部付にて特別救助隊発足（隊員7名）		・古川市佐々木製縄火災 焼損面積700㎡		
			7	・小野田町味袋畜舎火災 焼損面積853㎡		
	9	・第4代消防長に小金勝一氏就任				
					10	・酒田市大火 死者1名 負傷者1,003名 焼損棟数1,774棟，焼損面積152,105㎡
	11	・鳴子消防署に梯子車（15m級）1台配置				
	12	・黒川地区消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結 ・東北高速自動車国道（古川ＩＣ～大和ＩＣ間上り線）救急業務開始			12	・沼津市雑居ビル火災 死者15名，負傷者8名 ・東北自動車道 泉～古川間開通
52	1	・古川消防署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）	1	・涌谷町住宅火災 焼損棟数5棟 焼損面積581㎡		

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和52	3	・消防救急指令装置(C型)設置			3	・北九州市林野火災 死者5名（消防職員）
	4	・定数条例228名に改定	4	・古川市山崎製畳工場火災 焼損面積852㎡	5	・岩国市岩国病院火災 死者7名，負傷者5名
	8	・古川消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・北海道有珠山噴火
	10	・古川消防署に化学車（Ⅱ型）1台配置 ・涌谷消防署小牛田分署に水槽付消防ポンプ車を配置，既設の普通消防ポンプ車を古川消防署に移管				
	11	・栗原広域消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結				
	12	・東北高速自動車国道（古川ＩＣ～築館ＩＣ間下り線）救急業務開始				
53	1	・消防通信指令室に気象観測装置（自記温湿・風向・風速・雨量・気圧）を設置			1	・1978年伊豆大島近海地震 (M7.0) 死者25名
	3	・鳴子町上野々に無線不感地帯解消のための無線塔を設置 ・消防本部通信指令室に地図検索装置を設置 ・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新	5	・涌谷町上郡畜舎火災 焼損面積728㎡	6	・1978年宮城県沖地震(M7.4) 死者28名 負傷者11,028名 家屋全壊1,383棟 仙台市の屋外タンクから 68,160ﾘｯﾄﾙの油流出
	8	・古川消防署荒谷機関員派出所の普通消防ポンプ車更新	9	・岩出山町片倉工業㈱火災 焼損面積1,445㎡		
54			2	・古川市福沼字長瀬，青沼醸造㈱火災 焼損面積3,446㎡		
	3	・鳴子消防署の救急車更新 ・涌谷消防署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） ・古川消防署に救急予備車を配置（鳴子消防署より移管）			3	・上越新幹線大清水トンネル火災 死者16名

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和54	5	・消防本部・古川消防署庁舎完成				
	7	・消防本部救助訓練塔完成 ・消防音楽隊発足（隊員27名）	10	・中新田町菜切谷グリコ仙台アイスクリーム㈱火災 焼損面積3,446㎡	7	・東名高速道路日本坂トンネル内車両火災 死者7名，負傷著2名 焼損車両189台
	11	・消防本部に救助工作車1台配置	12	・古川市上古川屋敷住宅火災 死者5名，焼損面積158㎡		
55	3	・涌谷町箆岳に無線不感地帯解消のための無線塔を設置	5	・宮崎町宮崎店舗住宅火災 負傷者4名 焼損面積335㎡		
	6	・鳴子消防署に作業車配置（古川消防署より移管）				
	8	・古川消防署，鳴子消防署岩出山分署の救急車更新 ・中新田消防署，涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・富士山落石事故 死者12名，負傷者31名 ・静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 死者14名，負傷者223名 焼損面積1,732㎡
	10	・古川消防署の水槽付消防ポンプ車を小型動力消防ポンプ付大型水槽車（10ｔ）に更新			11	・栃木県川治プリンスホテル火災 死者45名，負傷者22名
56					1	・川崎市タンカー火災 死者3名，負傷者3名
	3	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）				
	4	・定数条例233名に改定				
					5	・東京上野「アメ横」火災 焼損棟数52棟
					8	・台風第15号東北縦断
	9	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新				
		・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新	11	・小牛田町中埣作業所火災 焼損面積1,955㎡	10	・北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者93名
57					2	・東京都千代田区ホテル二ュージャパン火災 死者32名，負傷者34名 焼損面積4,186㎡
	3	・古川消防署鹿島台分署の救急車更新，既存の救急車を予備車として古川消防署に移管				・山形市蔵王温泉観光ホテル火災 死者11名，負傷者2名 焼失面積3,581㎡

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和57	4	・定数条例238名に改定 ・第5代消防長に大澤邦臣氏就任	4	・鳴子町湯元鳴子ホテル源泉噴出事故 負傷者7名	4	・東北地方を中心とした林野火災 負傷者8名 焼損棟数290棟 焼損面積4,725㎡
	7	・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新				
	8	・中新田消防署に圧縮空気製造用高圧コンプレッサー設置	11	・鳴子町名生定字竹原ドライブイン火災 焼損面積657㎡		
58	3	・古川消防署の救急車更新				
	4	・定数条例242名に改定	4	・宮崎町谷地森字赤沼住宅火災 死者3名，焼損面積723㎡	5	・昭和58年日本海中部地震 (M7.7) 死者104名 家屋全壊1,584棟
			6	・岩出山町字下川原墨田工業㈱工場火災，焼損棟数2棟，焼損面積671㎡	10	・三宅島噴火 建物損壊400棟
					11	・掛川市ヤマハレクリェーション「つま恋」プロパンガス爆発事故 死者14名
59					1	・福岡県高田町三井三池有明鉱構内火災 死者83名，負傷者16名
	3	・消防本部に宮城県事業として，防災行政無線装置を設置 ・中新田消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	5	・小野田町字上野目西小野田中学校火災 焼損面積1,996㎡		
			8	・鳴子町名生定字水沼しんこう牧場火災 焼損面積564㎡		
	11	・涌谷消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新			11	・東京都世田谷区で電話地下ケーブル火災
60	1	・第6代消防長に組合助役内田綱雄氏就任（事務取扱）				
	2	・消防本部に宮城県事業として，防災無線端末局用ファクシミリ装置を設置	2	・岩出山町字下一栗一本杉畜舎火災 焼損面積703㎡	2	・新潟県青梅町土砂崩れ 死者10名，負傷者4名 建物損壊7棟

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和60	3	・消防本部通信指令室に消防救急指令装置（C型）1台増設 ・消防本部通信指令室に地図検索装置（F100C）を設置 ・古川消防署鹿島台分署，鳴子消防署岩出山分署，涌谷消防署小牛田分署，同田尻出張所，中新田消防署小野田出張所電話転送装置を設置 ・消防本部通信指令室に119番集中管理用無線指令起動装置を設置 ・涌谷消防署の救急車更新 ・古川消防署荒谷機関員派出所を廃止し，同所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	3	・涌谷町字三十軒屋敷住宅火災 焼損棟数3棟 焼損面積592㎡		
					5	・東京都目黒区柿の木板タンクローリー火災
	6	・119番集中管理運用開始	6	・中新田町四日市場字屋敷作業所火災 焼損棟数6棟 焼損面積716㎡		
					7	・長野市地附山地滑り 死者26名
					8	・日航ジャンボ機墜落事故（群馬県上野村） 死者520名，負傷者4名
	9	・鳴子消防署岩出山分署の水槽付消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）			9	・メキシコ大地震 死者数千人以上
	11	・中新田消防署庁舎増改築工事竣工			11	・南米コロンビア火山大噴火 死者2万人以上
	12	・中新田消防署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈）			12	・豪雪（61年3月まで） 死者90名 負傷者678名
61	2	・消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置を設置			2	・静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡
	4	・定数条例252名に改定				
					7	・神戸市 陽気寮火災 死者8名

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和61			8	・台風10号により鹿島台町の吉田川決壊，全町の約50%にあたる2,670haが冠水 死者1名 家屋冠水969棟，1,415世帯に避難勧告	8	・台風10号 死者20名，負傷者107名
	9	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車更新			11	・伊豆大島噴火
62	3	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） ・古川消防署の救急車更新 ・涌谷消防署田尻出張所の普通消防ポンプ車の更新			3	・名取市東北自動車道多重衝突事故 死者1名，焼損車両13台
					5	・東電大井火力発電所爆発火災 死者4名
					6	・東村山市特別養護老人ホーム松寿園火災 死者17名，負傷者25名 焼損面積450㎡
63			1	・鳴子町名生定住宅火災 死者1名 焼損133㎡		
	3	・中新田消防署色麻派出所の普通消防ポンプ車更新 ・涌谷町篭岳無線通信所の制御器を消防本部指令室に移設 ・古川消防署三本木派出所松山派出所，中新田消防署宮崎派出所，色麻派出所，涌谷消防署南郷派出所に無線起動装置を設置	3	・鳴子町大口旅館・住宅火災 死者1名 焼損棟数4棟 焼損面積844㎡		
	4	・第7代消防長に渡辺邦夫氏就任	7	・中新田町字赤塚住宅火災 死者3名 焼損面積103㎡	7	・海上自衛隊潜水艦「なだしお」と釣り船「第1富士丸」衝突
					12	・ソ連アルメニア共和国大地震 死者10万人
平成元	4	・第8代消防長に高橋仁一氏就任	4	・宮崎町孫沢，住宅火災4棟全半焼		
			5	・色麻町平沢，住宅火災3棟全半焼	6	・伊豆群発地震
					7	・伊豆半島東方河海底入火山噴火 ・台風11，12，13号及び熱帯低気圧による災害
	8	・消防本部通信指令室に救急医療情報検索端末装置を設置			8	・東京都江東区28階建高層マション24階から出火

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成元	11	・古川消防署三本木派出所の普通消防ポンプ車更新（消防施設補助整備事業等） ・中新田消防署宮崎派出所の普通消防ポンプ車(4WD)更新				
2	1	・古川消防署の救急車(4WD)更新(山之内製薬株式会社より寄贈)			3	・尼崎市長崎屋火災 死者15名，負傷者6名
			11	・鹿島台町大迫川決壊床下浸水51棟		
3			2	・岩出山町一栗中学校火災 体育館747㎡全焼	2	・関西電力美浜原発2号機で冷却水漏れ事故
	3	・鳴子消防署庁舎新築工事竣工 ・鳴子消防署敷地内の消防訓練塔建築工事竣工（主塔は消防施設補助整備事業）			3	・雲仙普賢岳噴火による火砕流災害，死者41名
			5	・涌谷町砂田，住宅火災6棟全半焼		
	6	・消防本部の防火広報車更新（日本防火協会より寄贈）				
	8	・大崎地域広域行政事務組合創立20周年記念式典挙行				
	10	・涌谷消防署南郷派出所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）				
4	2	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） ・古川消防署鹿島台分署の救急車更新（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈）	2	・東北自動車道玉突き事故（古川市塚目地内） 死者2名，負傷者27名		
	4	・第9代消防長に早坂千早氏就任 ・宮城県広域消防相互応援協定締結				

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成4	9	・古川消防署，古川消防署松山派出所の普通消防ポンプ車更新，既存の同派出所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 ・消防本部通信指令室に宮城県総合防災情報システム端末設備を設置 ・鳴子消防署の救急車更新既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	9	・鳴子町鳴子ホテル火災 551㎡部分焼 宿泊客325名無事避難		
	10	・第10代消防長に宍戸武氏就任	10	・田尻町田尻，住宅火災9棟全半焼		
			12	・小牛田町化粧坂，住宅火災3棟全半焼		
5					1	・北海道釧路沖地震(M7.8) 死者2名 家屋全壊53棟
	4	・第11代消防長に組合助役青沼宏明氏就任（事務取扱）	6	・ＪＲ東北本線鹿島台野蒜踏切列車事故(救助救急出動) 死者3名	7	・北海道南西沖地震(M7.8) 死者行方不明230名 家屋全壊601棟
			8	・岩出山町大学町,作業所火災2棟全半焼	8	・平成5年8月豪雨災害
					9	・台風13号による災害
	10	・救急医療情報検索端末装置更新				
	11	・古川消防署のスノーケル車を梯子車(35M)に更新(消防防災設備補助事業) ・初の救急救命士誕生				
	12	・古川消防署の救急車を高規格救急車に更新，既存救急車を予備車として古川消防署に移管				
6	4	・定数条例260名に改定				
			9	・台風26号増水による涌谷町三軒屋敷地内江合川決壊警戒出動		
	12	・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新			12	・三陸はるか沖地震(M7.5) 死者3名，家屋全壊72棟 ・福島県若喜旅館火災 死者5名，負傷者3名

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成7					1	・阪神淡路大震災 死者6,430名，負傷者43,782名，火災285件，全半焼7,071棟，避難者31万人，住家全壊104,900棟，半壊144,255棟
	2	・涌谷消防署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） ・中新田消防署の救急車更新				
					3	・東京都心地下鉄サリン事件
	4	・本署5救急隊専任化に伴い40名増員，定数条例300名に改定	5	・涌谷町吉住，住宅火災 4棟全半焼 ・古川市七日町，店舗併用住宅火災 焼損面積270㎡全焼		
			6	・涌谷町箟岳観光会館ホテル火災（宿泊客15名無事避難） 焼損面積・延1,424㎡の内320㎡部分焼		
	7	・鳴子消防署，涌谷消防署の査察車更新				
	8	・消防本部の指令車更新	8	・宮崎町木船，住宅火災 3棟全半焼		
	9	・緊急消防援助隊編成で救助部隊1隊登録，消火部隊2隊登録 ・古川消防署の指揮車更新（日本消防協会より寄贈）				
	10	・中新田消防署救急隊専任化				
	12	・古川消防署の化学消防ポンプ車更新				
8	1	・防災倉庫竣工（救急消毒室併設） ・涌谷消防署小牛田分署の水槽付消防ポンプ車更新			2	・北海道豊浜トンネル落盤事故 死者20名
	3	・古川消防署の連絡車更新 ・古川消防署の救助工作車（Ⅱ型）をⅢ型に更新，Ⅱ型を鳴子消防署へ配置換え				
	4	・財務会計システム運用開始	5	・三本木町蒜袋，住宅等火災 6棟全焼		
			6	・岩出山町下山里，住宅火災 3棟全半焼	6	・福岡空港ガルーダインドネシア航空機の離陸失敗炎上 死者3名，負傷者109名

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成8	7	・湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定締結				
	8	・鳴子消防署の指揮車更新 ・中新田消防署小野田出張所の指揮車更新	8	・宮城県北部（鳴子町鬼首地区）地震 負傷者4名 家屋半壊28世帯186名家屋一部破損168世帯689名，路面の亀裂陥没，路肩崩壊・橋脚の亀裂等		
	10	・涌谷消防署救急隊専任化 ・涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）既存の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	12	・中新田町下新田，住宅火災 4棟全半焼，傷者1名		
9					1	・ロシア船籍タンカーナホトカ号の座礁，大量の重油流出による日本海沿岸8府県に及ぶ広域海洋汚染
	2	・中新田消防署配置の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） ・中新田消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）既存の救急車を古川消防署（第2救急車）へ移管，古川第2救急車を予備車に配置換え				
	3	・消防本部庁舎構内に電話交換機更新（NTT，EP-17型）	4	・田尻町大貫，住宅等火災5棟 全焼	3	・動燃東海事業所施設内で爆発事故 被爆者数37名
			6	・鹿島台町鶴田川，広長川大雨による堤防決壊2カ所，幹線道路欠損2カ所	6	・臓器移植法成立
	8	・古川消防署鹿島台分署の指揮車更新				
			9	・鳴子町尿前地内登山遭難， 傷者1名（県防災ヘリ出動）		
	10	・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10	・小野田町漆沢，登山遭難， 傷者2名（県防災ヘリ出動）		
	12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・小牛田町建物火災 死者2名 焼損面積201㎡ 3棟		
10	3	・自動車，携帯電話からの119番受付業務を代表消防本部として開始(大崎，黒川，栗原ブロック)	4	・古川市きのこ工場工事現場火災 焼損面積13,225㎡ 死者１名，負傷者16名		

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成10	7	・鳴子消防署岩出山分署の指揮車更新 ・消防本部に資機材搬送車を整備	8	・鳴子町国立鳴子病院火災 死傷者13名		
			10	・古川市南町保育所火災 焼損面積310㎡		
11	2	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈）			2	・臓器移植法施行以来，初の脳死移植実施。
	3	・涌谷消防署の救急車を高規格救急車に更新（山之内製薬㈱より寄贈）	3	・中新田町ソニー㈱中新田工場火災 焼損面積3,034㎡ 損害額36億4,100万円		
	4	・第12代消防長に組合助役千葉賢氏就任(事務取扱)			6	・古川市立病院において国内3例目の脳死判定が行われ，古川消防署救急隊により市内師山ヘリポートへ臓器の緊急搬送を実施。
			7	・鹿島台町鶴田川決壊下志田地区一帯冠水300世帯に避難勧告		
					8	・トルコ北西部地震（M7.8）（緊急消防援助隊派遣） 死者1,700人，負傷者24,900人，家屋被害180,300棟
					9	・台湾中部地震（M7.7）（緊急消防援助隊派遣）死者2,400人，負傷者11,000人，家屋被害82,400棟
	11	・鳴子消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） ・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）				・茨城県東海村核燃料加工会社ＪＣＯ東海事業所で，日本初の臨界事故発生，社員80名以上が被爆
12					3	・営団地下鉄日比谷線で通勤電車が脱線，上り電車と衝突 死傷者69名 ・北海道有珠山が23年ぶりに噴火，その後三宅島の雄山等も噴火，全国的に火山活動が活発化
					9	・東海を中心に猛烈な豪雨，名古屋全域で3方棟超浸水（105名の死傷者）
			10	・中新田町南町地内7棟全半焼火災 焼損面積613㎡		
	11	・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）				
			12	・東北自動車道玉突き事故（三本木町伊賀地内） 傷者21名，破損車両64台		

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成13	3	・古川消防署高規格救急車更新（消防防災設備補助事業） ・古川消防署2Ｂ型救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）				
	4	・消防緊急通信指令システム整備（消防防災整備補助事業）				
	7	・鳴子消防署梯子車更新（消防防災整備補助事業）			7	・兵庫県明石市大蔵海岸朝霧歩道橋付近で将棋倒し事故 死傷者139名
	8	・小野田出張所２Ｂ型救急車配備（宮城県共済農業協同組合連合会寄贈）			9	・東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル「明星56ビル」火災 死者44名
	12	・中新田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
14					3	・宮崎県延岡市の旭化成工場で火災 3,698世帯9,407名に避難勧告
	4	・職員定数条例改正（338人）				
	9	・田尻・三本木出張所へ2Ｂ型救急車配置	10	・小牛田町字桜木町で7棟を焼損する火災 焼失延面積447.77㎡	10	・三菱重工長崎造船所内で艤装工事中に豪華客船ダイヤモンドプリンセス号火災 総トン数113,000t
	11	・三本木防災センターに併設した三本木出張所開所 ・涌谷消防署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
15	3	・安田生命保険相互会社より寄贈された高規格救急車を小牛田分署に配置	3	・小牛田町北浦で金庫室に閉じ込められた2名の学生をﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾁｪﾝｿｰ等を活用し，107分後に救出		
	4	・旧中新田町，旧宮崎町旧小野田町が合併し，加美町が誕生した。 1市11町の構成市町となる。 ・小牛田・鹿島台分署へ救急救命士を配置	5	・宮城県沖を震源とする地震(5/26 18:24)発生 マグニチュード7.1震度6弱 大崎管内火災1件（東北電力㈱宮城変電所変圧器火災）	6	・兵庫県神戸市西区伊川谷町で発生した建物火災で消防職員13名が死傷
	7	・鹿島台分署の2Ｂ型救急車を更新（宮城県補助整備事業）	7	・宮城県北部連続地震発生 1回目(7/26　0:13) マグニチュード5.6震度5強 2回目(7/26　7:13) マグニチュード6.4震度6強 3回目(7/26　16:56)		

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成15			7	マグニチュード5.5震度5強 〈7/26の地震による災害〉 大崎管内 罹災世帯数2,979，罹災人員8,883名，全壊102棟，半壊348棟，一部破損2,548棟 火災2件（その他電柱1・ぼや建物収容物1） 救急15件 その他災害24件		
	8	・三本木出張所へ連絡車を配置			8	・三重県桑名郡多度町の三重ごみ固形燃料発電所でＲＤＦ貯蔵層から火災発生45日間に及ぶ消火活動消防職員2名死亡
					9	・栃木県黒磯市ブリヂストン栃木工場で火災発生 40,885㎡のﾊﾞﾝﾊﾞﾘｰ工場1棟全焼，工場付近7地区1,708世帯･5,032名に避難指示
	10	・岩出山分署災害対応特殊水槽付ポンプ車(消防防災整備補助事業)				
16	3	・大崎地域メディカルコントロール協議会設立				・十勝沖地震発生(9/26) マグニチュード8.0震度6弱 負傷者849名
	4	・初の女性消防士採用 ・岩出山分署へ救急救命士を配置	4	・加美町宮崎で4棟全焼火災発生 焼損面積678.8㎡ 第3出動15台(強風時)		火災4件のうち苫小牧市の出光興産で屋外タンク貯蔵所から火災発生
	10	・岩出山分署の2Ｂ型救急車を更新（宮城県補助整備事業）		放水台数5，放水口9	10	・新潟県中越地方を震源とする地震(10/23) マグニチュード6.8震度6強 死傷者1,239名 住宅損壊2,839棟，火災11件
					12	・インド洋スマトラ沖大地震(12/26) マグニチュード9
17	3	・消防LAN構築・ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ開設 http://oosakifire119.jp/ ・鳴子消防署の救助工作車を廃車し，更新する消防ポンプ車へ救助資機材を搭載し救助ポンプ車とて運用開始（宮城県補助整備事業）			3	・福島県西方沖を震源とする地震(3/20) マグニチュード7震度5弱 死傷者119名 住宅損壊121棟
	4	・大崎地域広域行政事務組合，大崎中央環境組合，大崎東部環境衛生事務組合，六の国環境衛生組合の4組合，更に古川市・松山町・涌谷町の各斎場が統合し，大崎地域広域行政事務組合としてスタートする。	5	・古川市北宮沢地内にて建物及び山林の火災 山林1ha焼失（県防災ヘリ出動） ・加美町字鹿原白沼地内，山菜取遭難 死者1名（県防災ヘリ出動）	4	・兵庫県尼崎市JR福知山線列車事故 死者107名，負傷者549名
		・組合統合後,初代消防長に工藤司氏就任 ・各消防署の指揮体制を強化，指揮隊の配置	8	・宮城県沖を震源とする地震(8/16) マグニチュード7.2震度6弱	10	・パキスタン北部で地震発生（10/8） マグニチュード7.6

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成17					12	・山形県庄内町JR羽越線脱線事故(12/25) 死者5名，負傷者32名
18	1	・旧小牛田町，旧南郷町が合併し美里町が誕生した1市10町の構成市町となる。			1	・長崎県大村市グループホームやすらぎの里で火災発生 死者7名，負傷者3名
	2	・古川消防署大型水槽車更新(宮城県補助整備事業) ・消防隊と救急隊の連携による活動開始（PA連携出動）				
	3	・旧古川市，旧松山町，旧三本木町，旧鹿島台町，旧岩出山町，旧鳴子町，旧田尻町が合併し，大崎市が誕生した。1市4町の構成市町となる。 ・大崎市誕生に伴い涌谷消防署田尻出張所を古川消防署田尻出張所に再編				
	4	・3交替制の勤務体制の試行	5	・色麻町大新焼切地内山林にて林野火災 約56a焼失 （県防災ヘリ出動）	5	・インドネシア・ジャワ島中部地震及び津波発生 死者6,200名以上 負傷者1,800名以上
					6	・梅雨前線豪雨 死者30名，行方不明2名 負傷者81名，住家全半壊1,558棟
	7	・消防本部司令車を更新				
					9	・台風13号と豪雨による被害 死者9名，行方不明1名 住家全半壊448棟
					11	・北海道佐呂間町にて竜巻発生 死者9名，負傷者29名 住家全半壊14棟
19					1	・北海道北見市にてガス漏れ事故発生 3名死亡，付近住民77世帯178名に避難勧告 ・兵庫県宝塚市でカラオケボックス火災 死者3名，負傷者5名
	2	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車を小型動力ポンプ付水槽車に更新				

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成19	3	・救急普及啓発広報車配備（財団法人救急振興財団・財団法人日本宝くじ協会寄贈） ・中新田消防署高規格救急車更新（国庫補助事業）	3	・大崎市鳴子で4棟を焼損する火災が発生 焼失面積1,520.79㎡	3	・能登半島地震発生 マグニチュード6.9震度6強 死者1名 負傷者193名 住家全壊68棟 住家半壊164棟
	4	・指揮体制の効率的運用のため，消防本部指令課及び鳴子消防署に指揮隊を再編	4	・大崎市田尻大沢地内山林にて林野火災 約40a焼失（県防災ヘリ出動）		
			6	・大崎市鳴子温泉鬼首地区にてパラグライダー墜落事故防災ヘリにより吊り上げ救出		
	7	・中新田消防署・涌谷消防署の指揮車を更新			7	・新潟県中越沖地震発生 マグニチュード6.8震度6強 死者15名 負傷者2,345名 住家全壊1,319棟 住家半壊4,764棟
			10	・加美町字鹿原地内にて山岳遭難，防災ヘリによる救出		
	11	・涌谷消防署高規格救急車更新（国庫補助事業）				
			12	・加美町宮崎地区で4棟を焼損する火災が発生 死者5名 焼損面積335.72㎡		
20	1	・中新田消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新（市町村振興総合補助事業）				
	4	・第2代消防長に野田正志氏就任 ・3交替制の勤務体制の本実施 ・機構改革に伴う組織の改編を実施			6	・平成20年岩手・宮城内陸地震発生 マグニチュード7.2震度6強 死者9名，行方不明者8名 負傷者180名 住家全壊・大規模半壊43棟 住家半壊112棟
	7	・古川消防署・涌谷消防署の指揮車を更新	7	・(株)東北イノアック第二工場火災（建材製造課Ｂ棟） 焼損面積2,520.84㎡ 負傷者1名 損害額1億7,272万円	10	・大阪府大阪市浪速区で個室ビデオ店火災 死者15名，負傷者1名
21	1	・鳴子消防署高規格救急車更新（施設整備事業） ・中新田消防署小野田出張所の救急車を高規格救急車へ更新（防災基盤整備事業）				
	2	・涌谷消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業）				

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成21	4	・第3代消防長に坂野裕悦氏就任				
					5	・新型インフルエンザ（A/H1N1)流行 5月に小規模な地域的流行を認めたのち，約3ヶ月の小康状態を経て，8月中旬より半年以上をかけて流行
	7	・中新田査察車を更新				
22	1	・三本木救急車及び田尻救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業）			3	・北海道札幌市北区でグループホーム火災 死者7名，負傷者2名
			6	・大崎市古川千手寺町地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼4棟 焼損延面積285.93㎡ 部分焼・ぼや3棟 焼損表面積99.06㎡		
	7	・涌谷消防署，小牛田分署及び南郷派出所を統合し「遠田消防署」を開設（7/1）				
			10	・大崎市鳴子温泉鬼首地区（鬼首地熱発電所）で火山性ガス噴出発生 死者1名		
	12	・遠田査察車を更新 ・鹿島台救急車を高規格救急車に更新（日本損害保険協会より寄贈）				
23	1	・岩出山救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業） ・遠田消防署に10ｔ水槽車を配備	3	・【東日本大震災】 平成23年（2011年） 東北地方太平洋沖地震発生 （3/11 14:46） 〈大崎管内の状況〉 管内最大震度6強 死者6名 負傷者378名 住家全壊852棟，半壊3,647棟 ※大崎消防本部取りまとめ（平成23年12月26日現在）	3	・【東日本大震災】 平成23年（2011年） 東北地方太平洋沖地震発生 （3/11 14:46） ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ9 震度7 死者19,729名 行方不明者2,559名 負傷者6,233名 住家全壊121,996棟，半壊282,941棟，火災330件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ(令和2年3月1日現在)
	4	・第4代消防長に角田正一氏就任 ・中新田消防署及び色麻派出所を統合し「加美消防署」を開設（4/26）				
					8	・静岡県浜松市天竜川で遊覧船転覆事故 死者5名，負傷者5名
	8	・田尻連絡車，古川査察車鳴子査察車を更新				
	12	・古川救急1号車を更新（施設整備事業）				
24	4	・古川消防署鹿島台分署及び松山派出所を統合し「古川消防署志田分署」を開設（4/27）				
					5	・広島県福山市でホテル火災 死者7名，負傷者3名
					9	・兵庫県姫路市で製造所爆発火災 死者1名（消防吏員） 負傷者36名

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成24	11	・古川救急2号車を更新（施設整備事業）			12	・山梨県中央自動車道笹子トンネル崩落事故 死者9名，負傷者2名
25	2	・鳴子消防署岩出山分署新庁舎を開設（2/14） ・田尻ポンプ車を更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業） ・遠田連絡車，小野田連絡車を更新			2	・長崎県長崎市でグループホーム火災 死者5名，負傷者7名
	3	・遠田救急1号車を更新（ＪＡ共済連より寄贈） ・尾花沢市消防本部と消防相互応援協定締結				
	4	・第5代消防長に北舘善裕氏就任 ・消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備（平成23年度消防防災施設・設備災害復旧費補助事業）				
	7	・消防本部連絡車を更新			8	・京都府福知山市で花火大会火災 死者3名，負傷者56名
	10	・古川連絡車,志田連絡車,岩出山連絡車を更新			10	・福岡県福岡市で整形外科火災 死者10名，負傷者5名
					12	・千葉県野田市で廃油再生工場爆発火災 死者2名，負傷者15名
26					1	・三重県四日市市で工場爆発事故 死者5名，負傷者13名
	2	・加美消防署小野田出張所及び宮崎派出所を統合し「加美消防署西部分署」を開設（2/21） ・加美消防署西部分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債及び市町村振興総合補助事業）				

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成26			4	・加美町字下原地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積497㎡ 部分焼2棟 焼損表面積48㎡	8	・8月豪雨による広島市の土砂災害 死者74名（内消防吏員1名） 負傷者69名
				・加美町字北原地区で8棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積280㎡ 部分焼3棟 焼損表面積2㎡	9	・御嶽山噴火災害 死者57名，負傷者69名
				・大崎市田尻蕪栗地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積652㎡ 部分焼1棟 焼損表面積64㎡	11	・長野県北部を震源とする地震 ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ6.7 震度6弱 死者なし，負傷者46名 住家全壊50棟，半壊91棟
	12	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車を更新（緊急防災･減災事業債）				
27			1	・大崎市田尻北小牛田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟 焼損延面積649㎡		
	2	・古川消防署田尻出張所を分署に格上げし「古川消防署田尻分署」を開設（2/17） ・古川消防署田尻分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災･減災事業債）				
	4	・第6代消防長に大久保記一朗氏就任			5	・川崎市簡易宿泊所火災 死者10名，負傷者18名
	7	・田尻連絡車を緊急車登録車両に更新	9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】 〈大崎管内の状況〉 負傷者1名 床上・床下浸水784棟 救助事案16件 その他災害事案36件 合計249名救出	9	・平成27年9月関東・東北豪雨 平成27年9月9日から11日に関東及び東北地方で発生した豪雨災害 死者8名，負傷者80名
					10	・広島市飲食店火災 死者3名，負傷者3名
28	2	・古川化学消防ポンプ車を更新（施設整備事業）	2	・加美町宮崎で4棟を焼損する火災が発生 全焼2棟，部分焼2棟 焼損延面積578㎡		

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成28					4	・平成28年熊本地震 ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ7.3 震度7 死者267名 負傷者2,804名 住家全壊8,673棟 半壊34,726棟 火災15件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成30年4月13日現在）
	8	・緊急消防援助隊宮城県大隊として初めて出動（平成28年台風第10号 岩手県下閉伊郡岩泉町）			8	・平成28年台風第10号 東北地方の太平洋側に初めて上陸した台風。１時間に80㎜の猛烈な大雨，最大瞬間風速37.7mの暴風により，岩泉町の高齢者福祉施設の入所者が濁流に巻き込まれるなど，死者23名，行方不明者4名，負傷者14名，住家全壊513棟，半壊2,280棟。
			10	・東北自動車道3箇所で同時発生玉突き事故(栗原市高清水地内，大崎消防管轄区域 ） 負傷者14名，破損車両15台		
	11	・加美消防署高規格救急自動車を更新（緊急防災・減災事業債） ・三本木出張所消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）			12	・新潟県 糸魚川市大規模火災 糸魚川駅北側に位置する中華料理店にて，大型こんろの消し忘れにより発生した火災が，強い南風により日本海方向に延焼し，負傷者17名，焼損棟数147棟。
29					2	・埼玉県三芳町倉庫火災 ｱｽｸﾙの大規模倉庫で発生した火災により，負傷者2名，焼損床面積45,000㎡，鎮火まで12日間を要した。
	4	・三本木出張所の救急隊を専従化し消防体制を強化				
	8	大崎消防ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ「らいすくん」誕生			8	・秋田県横手市共同住宅火災 死者5名，負傷者10名
			9	・加美町字西田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼2棟，半焼2棟，部分焼1棟，ぼや1棟 死者1名 負傷者2名 焼損延面積213㎡ 焼損表面積34㎡		
	11	・硬質ウレタンボートを古川消防署に配備（浜口ウレタン㈱及び㈱タガ・アートより寄贈）				
	12	・鳴子消防署高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金）			12	・大阪府豊中市共同住宅火災 死者5名，負傷者1名 ・さいたま市特殊浴場火災 死者4名，負傷者8名

年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成30			1	・大崎市鹿島台で3棟を焼損する火災が発生 全焼1棟，部分焼1棟，ぼや1棟 焼損延面積625㎡ 焼損表面積46㎡	1	・札幌市下宿火災 死者11名，負傷者3名
	3	・志田分署水槽付消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）				
			5	・大崎市岩出山で11棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟，部分焼4棟，ぼや1棟 焼損延面積635㎡ 焼損表面積46㎡	6	・大阪府北部を震源とする地震　ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ6.1(暫定値) 震度6弱 死者6名，負傷者462名 住家被害57,348棟，火災7件 （平成31年2月12日13時現在）
					7	・平成30年7月豪雨 西日本を中心に全国的に広い範囲で長期間にわたる記録的大雨。 死者237名,行方不明者8名,負傷者466名,住宅全壊6,767棟,半壊11,248棟
					8	・群馬県消防防災ヘリコプター墜落事故 死者9名
	9	・緊急消防援助隊宮城県大隊として出動（平成30年北海道胆振東部地震　北海道勇払郡厚真町）			9	・平成30年北海道胆振東部地震　ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ6.7 震度7 死者42名，負傷者762名 住宅全壊462棟 半壊1,570棟 （平成31年1月28日14時30分現在）
			10	・古川稲葉地区で放火と疑われる火災が多発		
			11	・涌谷町小塚地区で5棟を焼損する火災が発生 全焼3棟，半焼1棟 焼損延面積578㎡	12	・札幌市爆発火災 負傷者52名
平成31	3	・拠点機能形成車を総務省消防庁から無償貸与(4/1より運用開始)				
	4	・第7代消防長に佐藤光弘氏就任 ・新大崎地域広域行政事務組合本庁舎を開設(4/1) ・機構改革に伴う組織の改編を実施 ・Net119緊急通報システム導入 ・多言語通訳導入（三者間通話）			7	・京都市伏見区爆発火災 株式会社京都アニメーションで発生した火災により，死者36名，負傷者34名

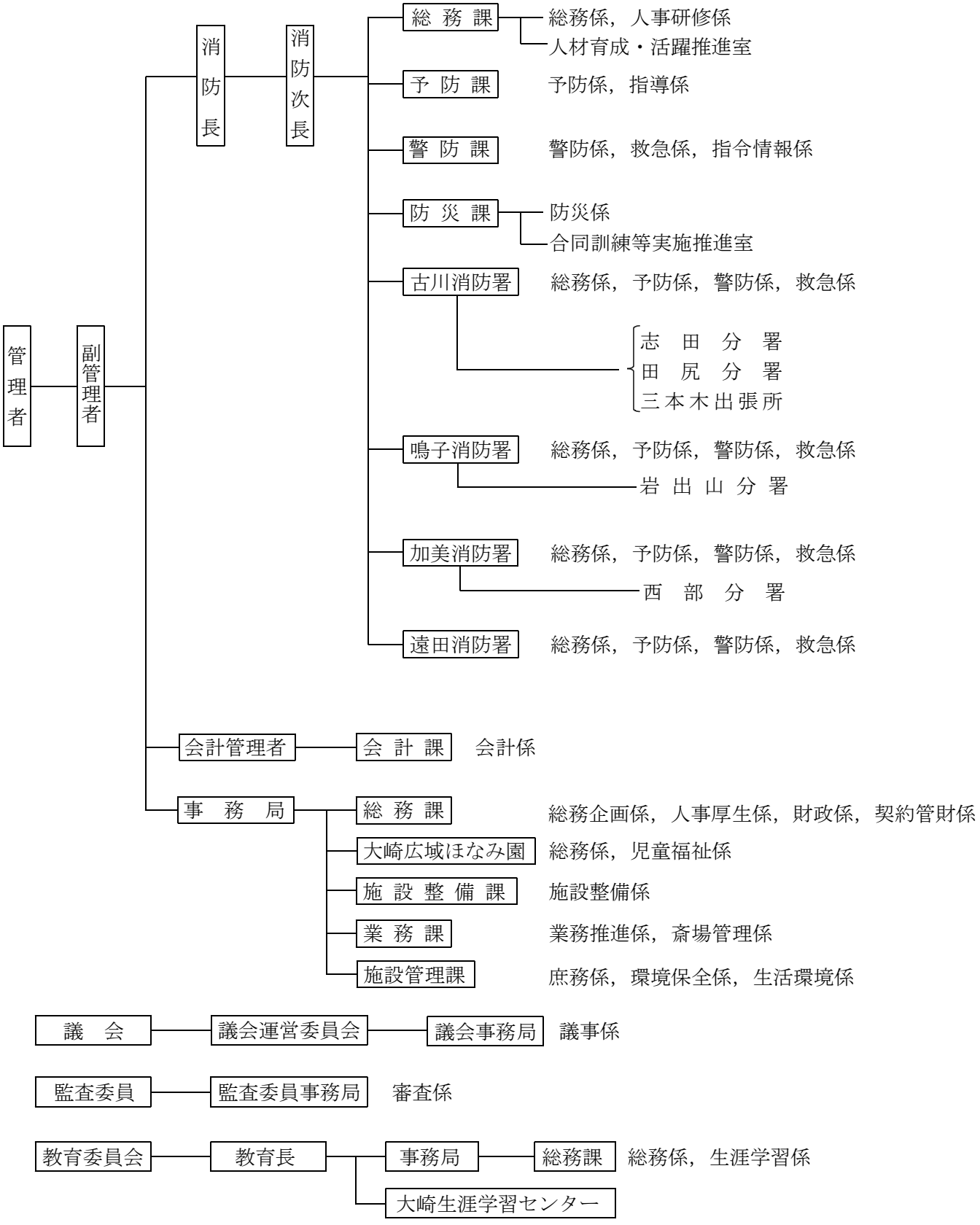
年　号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
令和元			10	・【令和元年東日本台風】 〈大崎管内の状況〉 負傷者2名 床上・床下浸水243世帯 合計120名救出	10	・【令和元年東日本台風】 令和元年10月12日に上陸した台風第19号により関東・甲信・東北地方で大規模被害が発生 死者104名,行方不明者3名,負傷者384名 住家全壊　3,308棟 半壊 30,024棟 （令和2年4月10日9時現在） 宮城県広域消防相互応援派遣として大崎消防本部から延べ14隊48名出動 ・首里城跡火災 世界遺産 首里城の正殿を含む9棟が全焼
	11	・遠田消防署高規格救急自動車（遠田救急2）を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金）				
	12	・西部分署高規格救急自動車を更新(施設整備事業)				
令和2					1	・新型コロナウイルス感染症 令和2年1月14日,国内で初の感染者発生 死者935名,陽性者17,668名 （令和2年6月18日0時現在）
	2	・大崎消防本部新型コロナウイルス感染症対策本部設置（継続中）				
	3	・岩出山分署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業,市町村振興総合補助事業） ・古川消防署救助工作車を更新（緊急防災・減災事業） ・中型水陸両用車及び搬送車を総務省消防庁から無償貸与(4/1緊急消防援助隊登録(特殊装備小隊)6/1運用開始)				
					4	・岩沼市倉庫火災 プロロジスパーク岩沼1で火災が発生し鎮火まで6日を要した。（宮城県広域消防相互応援派遣として大崎消防本部から延べ5隊18名出動） 焼損面積43,836㎡
	4	・緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に伴い「合同訓練等実施推進室」を設置。（消防本部防災課内） ・女性消防職員の活躍推進及び消防職員の任用及び人材育成に伴い「人材育成・活躍推進室」を設置。（消防本部総務課内） ・大崎消防本部ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ「消防士は愛でできている」を制定	5	・加美町内で山岳遭難多発 （4件，死者2名，負傷者1名 不明1名）		
	6	・鳴子消防署車庫を開設（緊急防災・減災事業） ・無人航空機（ドローン）運用開始				

大崎地域広域行政事務組合構成市町の面積・世帯・人口

（令和２年４月１日現在）

区別 / 市町		面積 (Km²)	世帯数	人口 (人)
大崎市		796.81	51,654	128,718
加美郡	色麻町	109.28	2,091	6,735
	加美町	460.67	8,154	22,837
	小計	569.95	10,245	29,572
遠田郡	涌谷町	82.16	6,010	15,804
	美里町	74.95	9,147	24,285
	小計	157.11	15,157	40,089
合計		1,523.87	77,056	198,379

大崎地域広域行政事務組合機構図



消 防 本 部 事 務 分 掌

総務課

総 務 係

1　業務の総合企画，調整及び連絡に関すること。
2　条例，規則及び訓令の制定改廃に関すること。
3　儀式，行事及び会議に関すること。
4　予算及び決算に関すること。
5　公印の管理に関すること。
6　財産の取得，維持管理及び契約に関すること。
7　給与品，貸与品の支給及び保管に関すること。
8　庁用物品の調達，検収及び処分に関すること。
9　事務改善に関すること。
10　消防概況に関すること。
11　他の課の所管に属さない事項に関すること。

人事研修係

1　職員の任免，分限，懲戒，服務及び賞罰その他身分に関すること。
2　職員の給与，勤務時間及び勤務条件に関すること。
3　職員の定数及び配置に関すること。
4　職員の福利厚生及び健康管理に関すること。
5　職員の公務災害補償に関すること。
6　職員の研修に関すること。
7　職員の人事評価に関すること。
8　表彰に関すること。

警防課

警 防 係

1　災害の警戒及び防ぎょに関すること。
2　消防戦術の研究指導に関すること。
3　消防水利に関すること。
4　消防隊の運用に関すること。
5　救助隊の運用に関すること。
6　緊急消防援助隊の出動及び隊の運用に関すること。
7　消防相互応援及び広域応援の出動及び隊の運用に関すること。
8　火災原因及び損害の調査並びにり災証明等に関すること。
9　航空消防に関すること。
10　消防機械器具及び消防用車両の管理に関すること。
11　消防機械器具及び消防用車両の配置計画に関すること。
12　警防及び救助装備の調達，検収及び処分に関すること。
13　その他警防に関すること。

救 急 係

1　救急隊の運用に関すること。
2　救急対策に関すること。
3　救急技術に関すること。
4　医療機関等との連絡調整に関すること。
5　民間による患者等搬送事業に関すること。
6　応急手当普及啓発に関すること。
7　救急資器材の管理に関すること。
8　救急資器材の配置計画に関すること。
9　救急装備の調達，検収及び処分に関すること。
10　その他救急に関すること

指令情報係

1　消防通信設備等の総合企画，調整及び保守管理に関すること。
2　災害通報の受付及び出動指令に関すること。
3　災害通信の運用，統制及び非常時対策に関すること。
4　消防情報の収集，連絡及び伝達に関すること。
5　災害の統計に関すること。
6　気象観測及び記録に関すること。
7　消防OAの運用及び維持管理に関すること。
8　その他指令情報に関すること。

予防課

予 防 係

1　危険物の規制に関すること。
2　防火管理者及び防災管理者に関すること。
3　火災予防条例に関すること。
4　液化石油ガス等に関すること
（権限移譲事務を含む。）。
5　火薬類取締法に関すること
（権限移譲事務に限る。）。
6　予防広報に関すること。
7　その他火災予防対策に関すること。

指 導 係

1　消防用設備等の規制に関すること。
2　建築物の建築確認に関すること。
3　予防査察に関すること。
4　危険物に係る事故調査に関すること。
5　違反処理における行政指導に関すること。
6　民間防火組織の育成に関すること。
7　その他防火思想の普及に関すること。

防災課

防 災 係

1　消防団との連携に関すること。
2　消防本部と市町間の危機管理等の調整に関すること。
3　国民保護に関すること。
4　危機管理事案の調査研究に関すること。
5　職員に対する危機管理に関すること。
6　消防協会の事務に関すること。
7　消防本部災害対応と市町の地域防災計画との調整に関すること。
8　緊急消防援助隊の応援・受援計画及び調整に関すること。
9　消防相互応援協定の計画及び調整に関すること。
10　構成市町災害対策本部との調整に関すること。
11　自主防災組織の育成強化に関すること。
12　その他危機対策及び防災に関すること。

消 防 署 事 務 分 掌

総 務 係

1　署の運営に関すること。
2　文書の収受発送に関すること。
3　署員の配置，進退，賞罰及び身分に関すること。
4　署内における各種会議に関すること。
5　統計に関すること。
6　署員の福利厚生に関すること。
7　署員の研修に関すること。
8　署員の勤務，服務に関すること。
9　経理に関すること。
10　物品の出納保管に関すること。
11　消防庁舎の維持管理に関すること。
12　他の係の分掌に属さない事項。

警 防 係

1　火災等の警防及び対策に関すること。
2　消防水利に関すること。
3　消防通信に関すること。
4　消防演習計画に関すること。
5　自衛消防隊に関すること。
6　避難訓練等の指導に関すること。
7　消防機械器具の維持管理に関すること。
8　火災原因及び損害調査に関すること。
9　り災証明等に関すること。
10　火災統計に関すること。
11　消防団との連携に関すること。
12　自主防災組織の育成強化に関すること。
13　救助業務に関すること。
14　その他警防及び機械に関すること。

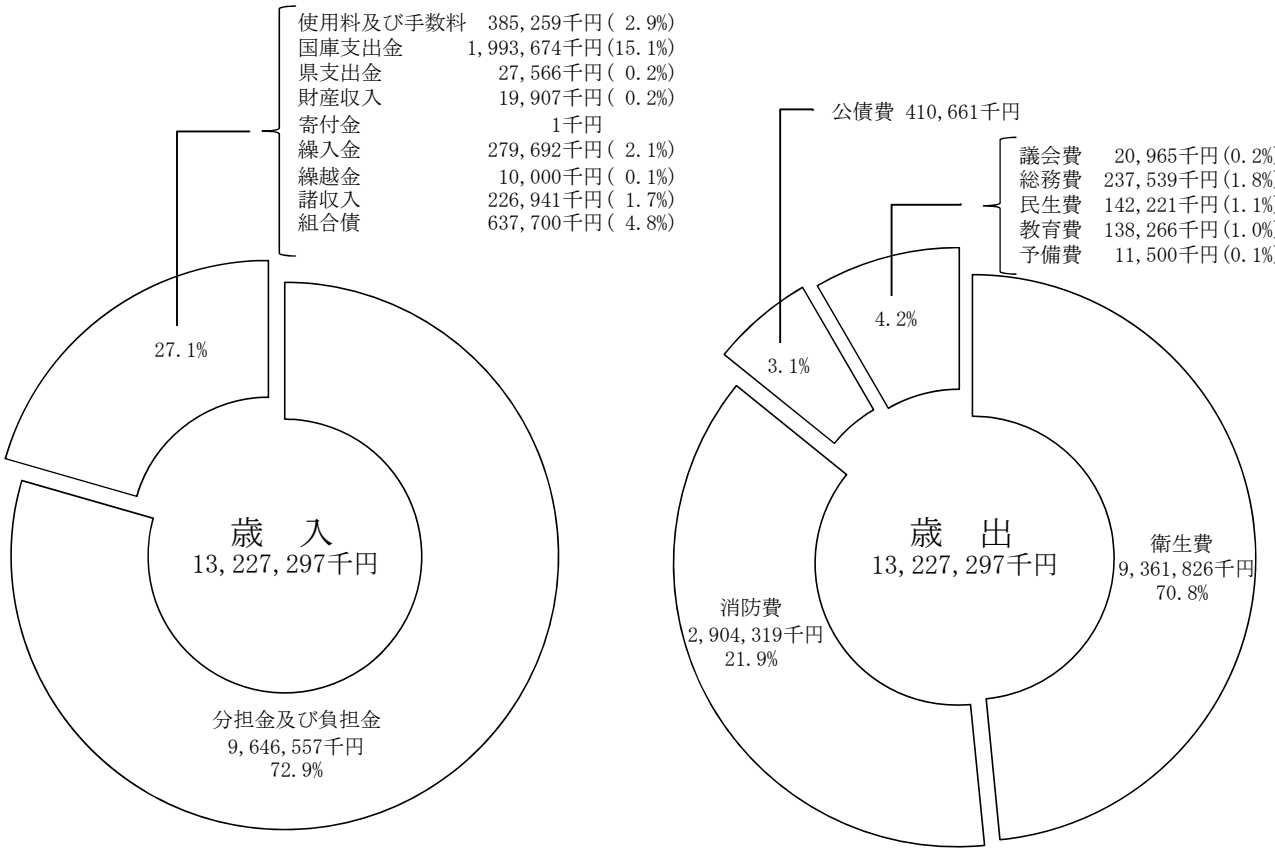
予 防 係

1　危険物の規制に関すること。
2　消防用設備等の規制に関すること。
3　建築物の建築確認に関すること。
4　火災予防条例に関すること。
5　液化石油ガス等に関すること。
（権限移譲事務を含む。）
6　火薬類取締法に関すること。
（権限移譲事務に限る。）
7　予防査察に関すること。
8　違反処理における行政指導に関すること。
9　危険物に係る事故調査に関すること。
10　防火防災管理及び危険物の取扱に関すること。
11　民間防火組織の育成指導に関すること。
12　その他火災予防の計画，指導及び取締り等に関すること。

救 急 係

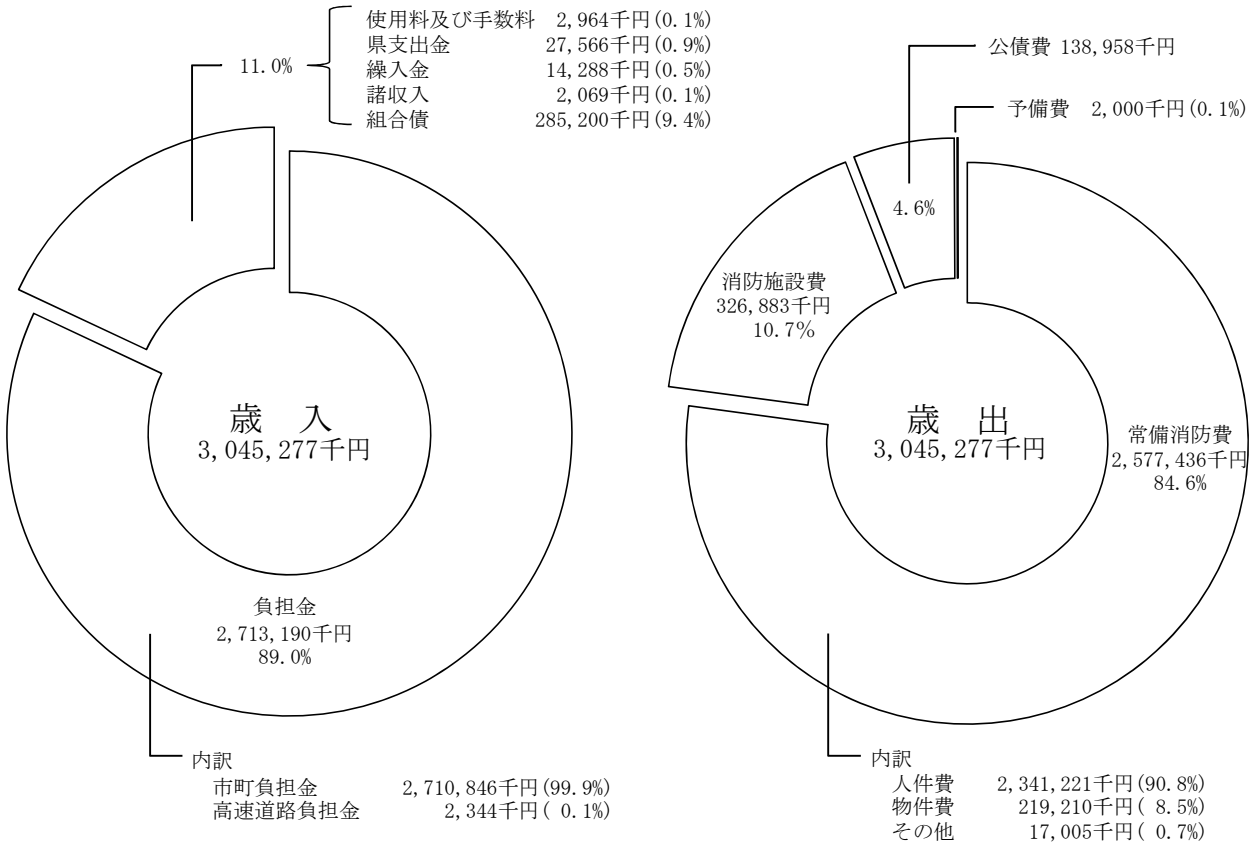
1　救急対策に関すること。
2　救急技術の訓練指導に関すること。
3　救急資器材の管理に関すること。
4　医療機関等との連絡調整に関すること。
5　民間による患者等搬送事業に関すること。
6　救急統計に関すること。
7　その他救急に関すること。

令和2年度　大崎地域広域行政事務組合一般会計予算概要



令和2年度　消防費当初予算

※この消防費には，消防事業分の公債費，予備費を含む。



施設（消防庁舎等）の現況

令和２年６月１日現在

区　分	所在地	建物区分	構造	階数	面　積		敷地面積 ㎡	設置年度
					建築面積 ㎡	延面積 ㎡		
消防本部 古川消防署	大崎市古川 千手寺町二丁目5-20	庁　舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨	5	1,107.89	4,786.05	11,984.68	H31
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	4	74.32	227.82		H31
		副訓練塔	鉄筋コンクリート	3	128.17	268.32		H31
		車庫兼 防災倉庫	鉄　骨	1	492.80	492.80		H31
		計			1,803.18	5,774.99		
古川消防署 志田分署	大崎市鹿島台 木間塚字小谷地269-1	庁　舎	鉄　骨	2	526.67	672.32	1,726.17	H24
古川消防署 田尻分署	大崎市田尻 沼部字新堀137-2	庁　舎	鉄　骨	1	640.39	626.36	1,611.87	H26
古川消防署 三本木出張所	大崎市三本木 字廻山65	庁　舎	鉄骨・モルタル	1	231.52	231.52	3,249.67	H14
鳴子消防署	大崎市鳴子温泉 字馬場70-2	庁　舎	鉄筋コンクリート	2	563.04	725.76	2,726.36	H 2
		訓練塔	鉄　骨	2	33.07	54.08		H 2
		車　庫	鉄　骨	1	151.90	151.90		R 2
		計			748.01	931.74		
鳴子消防署 岩出山分署	大崎市岩出山 上野目字街道下12-3	庁　舎	鉄　骨	2	520.05	653.23	2,203.33	H24
		除雪車車庫	鉄　骨	1	16.34	16.34		H25
		計			536.39	669.57		
加美消防署	加美郡加美町 字新川原106	庁　舎	鉄　骨	2	738.18	1,123.01	9,136.03	H23
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	3	123.25	341.19		H23
		副訓練塔	鉄　骨	2	75.58	120.00		H23
		駐輪場	鉄　骨	1	11.52	11.52		H23
		計			948.53	1,595.72		
加美消防署 西部分署	加美郡加美町 字原町南百ヶ清水30-7	庁　舎	鉄　骨	2	462.53	658.96	1,942.93	H25
		除雪車車庫	鉄　骨	1	16.48	16.48		H25
		計			479.01	675.44		
遠田消防署	遠田郡涌谷町 字関谷沖名303-1	庁　舎	鉄　骨	2	919.48	1,410.33	7,259.78	H22
		訓練塔A	鉄筋コンクリート	3	50.20	150.00		H22
		訓練塔B	鉄　骨	5	69.27	216.40		H22
		訓練塔C	鉄　骨	3	183.79	414.85		H22
		駐輪場	その他	1	11.34	11.34		H22
		計			1,234.08	2,202.92		
岩渕基地局	大崎市鳴子温泉 字岩渕8，字大畑37の一部	局　舎	鉄　骨	1	9.88	9.88	162.41	H24
鬼首基地局	大崎市鳴子温泉 鬼首字八幡原34-1の一部	局　舎	鉄　骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
薬莱基地局	加美郡加美町 字味ヶ袋薬莱原1-79の一部	局　舎	鉄　骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
篭岳基地局	遠田郡涌谷町 篭岳字神楽岡51-2の一部	局　舎	鉄　骨	1	9.88	9.88	150.01	H24

消防力の整備指針と現有消防力

令和２年４月１日現在

区分		基準	現有	過不足数	充足率
署所の数		9	9	0	100.0%
車両	指揮車	5	5	0	100.0%
	消防ポンプ自動車	17	17	0	100.0%
	はしご車	2	2	0	100.0%
	化学消防車	1	1	0	100.0%
	救急自動車	11	11	0	100.0%
	救助工作車	1	1	0	100.0%
	非常用消防ポンプ自動車	2	2	0	100.0%
	非常用救急自動車	2	2	0	100.0%
	特殊車等		17	17	
	計	41	58	17	
人員	警防要員	305	257	△ 48	84.3%
	予防要員	24	12	△ 12	50.0%
	通信要員	12	12	0	100.0%
	庶務の要員	44	40	△ 4	90.9%
	計	385	321	△ 64	83.4%

※基準については，令和元年度消防施設整備計画実態調査に基づき算出したものである。

※特殊車等の内訳は，司令車２台，搬送車２台，大型水槽車３台，支援車８台，拠点機能形成車及び中型水陸両用車である。

※警防要員の基準は，消防隊員，救急隊員，救助隊員，指揮隊員数の合計である。

※庶務の要員は，管理職，本部及び各署日勤（予防要員除く），派遣・出向職員数である。

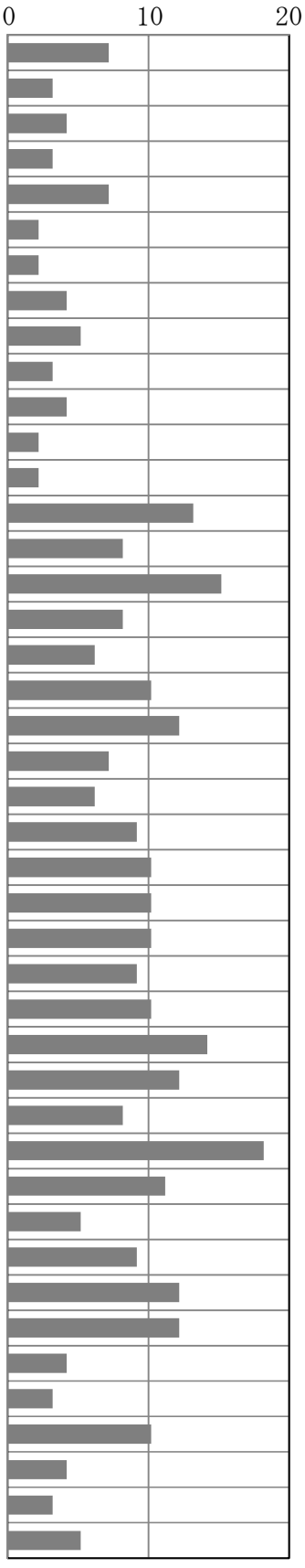
所属別配置状況

令和２年４月１日現在

		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	計	毎日勤務	交代制勤務
消防本部	消防長	1									1	1	
	消防次長		1								1	1	
	総務課			3	1	2					6	6	
	（派　遣）		1			4					5	5	
	予防課			2	1						3	3	
	警防課			2	1						3	3	
	（通信指令センター）				3	6	3				12		12
	（指揮隊）				3	3	3				9		9
	（派　遣）					1					1	1	
	防災課			3	2	1					6	6	
小　計		1	2	10	11	17	6	0	0	0	47	26	21
古川消防署			1	1	7	12	17		19		57	9	48
志田分署				1	1	5	7		6		20	2	18
田尻分署				1	1	6	6		6		20	2	18
三本木出張所					2	6	3	1	5		17	2	15
小　計		0	1	3	11	29	33	1	36	0	114	15	99
鳴子消防署				2	10	7	9		12		40	4	36
岩出山分署				1	1	5	7		6		20	2	18
小　計		0	0	3	11	12	16	0	18	0	60	6	54
加美消防署				2	7	7	9	1	11		37	4	33
西部分署				1	1	5	7		6		20	2	18
小　計		0	0	3	8	12	16	1	17	0	57	6	51
遠田消防署				2	7	7	13		14		43	4	39
小　計		0	0	2	7	7	13	0	14	0	43	4	39
合　計		1	3	21	48	77	84	2	85	0	321	57	264
備　考		１　派遣職員６名の内訳は，総務省１名，宮城県消防学校１名， 宮城県総務部消防課１名，防災ヘリ１名，大崎市２名である。 （総務課５名・警防課１名） ２　新規採用職員１２名 内訳は，古川・鳴子・加美・遠田各３名である。											

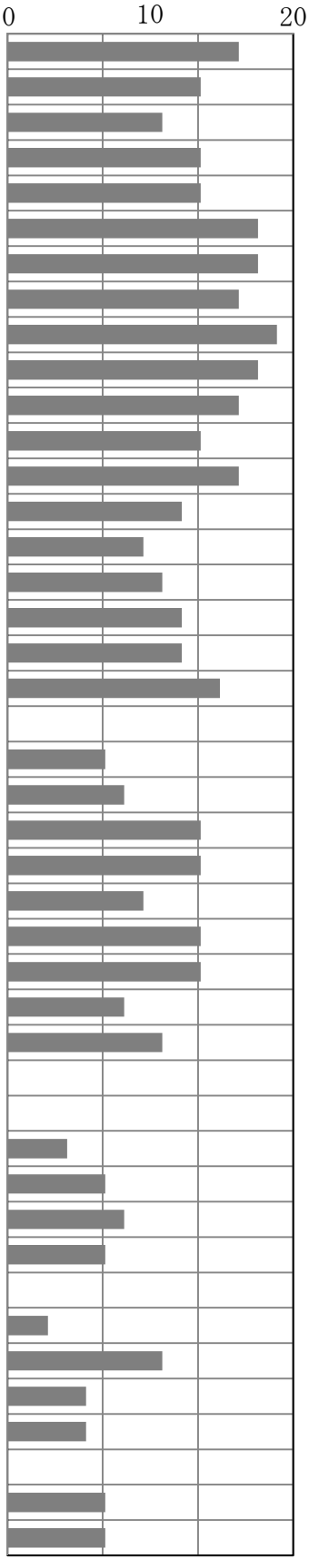
年齢別構成表（令和２年４月１日）

退職年	年齢	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
R 2年度	59	1		3	2	1				7
R 3年度	58		1	1		1				3
R 4年度	57		1	1	2					4
R 5年度	56				3					3
R 6年度	55			4	1	2				7
R 7年度	54		1	1						2
R 8年度	53			1	1					2
R 9年度	52			1	2	1				4
R10年度	51			4	1					5
R11年度	50			1	2					3
R12年度	49			2	2					4
R13年度	48				1	1				2
R14年度	47				1	1				2
R15年度	46				7	5	1			13
R16年度	45			1	3	3	1			8
R17年度	44			1	4	7	3			15
R18年度	43				3	4	1			8
R19年度	42				3	2	1			6
R20年度	41				4	4	2			10
R21年度	40				4	6	2			12
R22年度	39				1	5	1			7
R23年度	38				1	4	1			6
R24年度	37					6	3			9
R25年度	36					6	4			10
R26年度	35					5	4		1	10
R27年度	34					2	8			10
R28年度	33					5	4			9
R29年度	32					1	8		1	10
R30年度	31						11	1	2	14
R31年度	30					2	5	1	4	12
R32年度	29					1	4		3	8
R33年度	28						9		9	18
R34年度	27						5		6	11
R35年度	26						1		4	5
R36年度	25						2		7	9
R37年度	24								12	12
R38年度	23								12	12
R39年度	22								4	4
R40年度	21								3	3
R41年度	20								10	10
R42年度	19								4	4
R43年度	18								3	3
再任用						2	3			5
総計		1	3	21	48	77	84	2	85	321

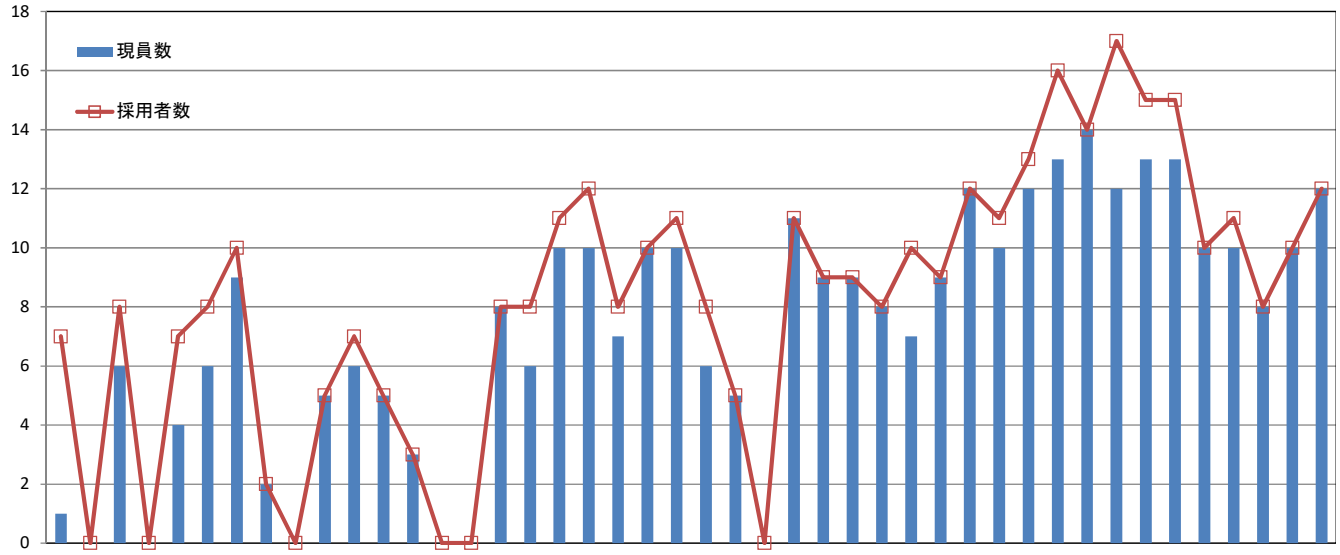


勤続年数別構成表（令和２年４月１日）

勤続年数	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
0								12	12
1								10	10
2								8	8
3								10	10
4						1		9	10
5						1		12	13
6						2		11	13
7						9		3	12
8					1	9		4	14
9					1	9		3	13
10					4	8			12
11					1	6		3	10
12					4	7	1		12
13					2	6	1		9
14					3	4			7
15					5	3			8
16				1	5	3			9
17				1	7	1			9
18				3	6	2			11
19									0
20			1	1	3				5
21				3	3				6
22				3	4	3			10
23			1	4	3	2			10
24				5	1	1			7
25				4	6				10
26			1	1	5	3			10
27				2	3	1			6
28				5	3				8
29									0
30									0
31			2	1					3
32			1	4					5
33			3	3					6
34			2	2	1				5
35									0
36		1	1						2
37			6		2				8
38		1		2	1				4
39		1	1	2					4
40									0
41	1		2	1	1				5
再任用					2	3			5
総計	1	3	21	48	77	84	2	85	321

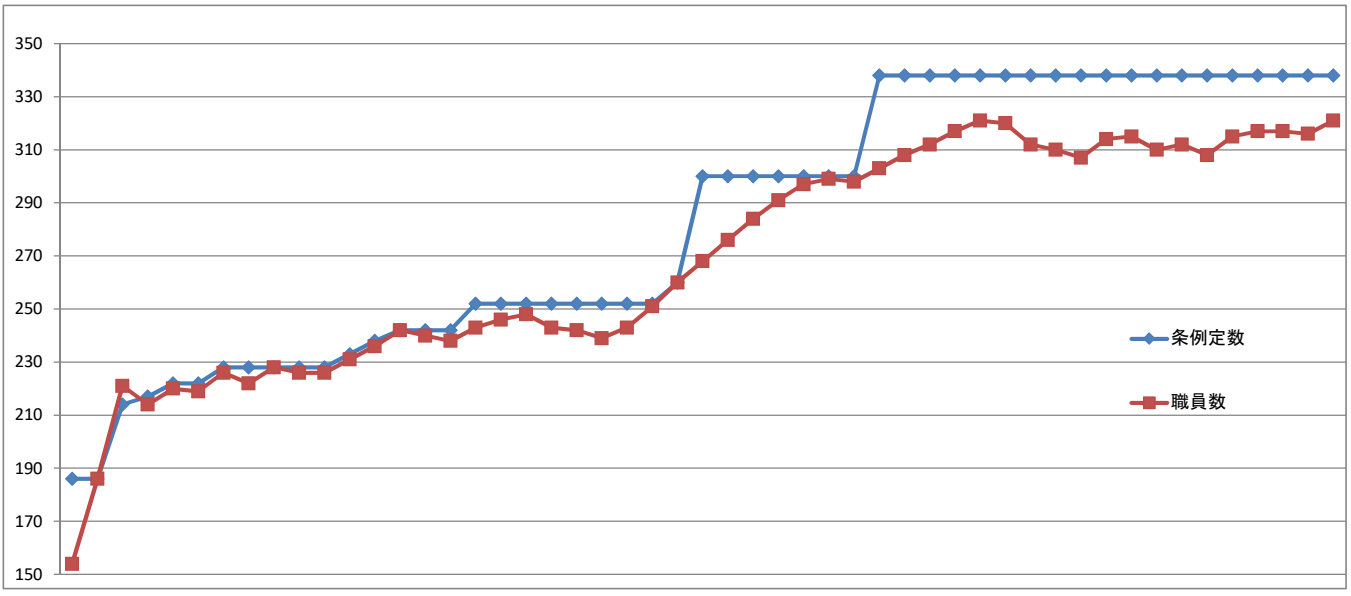


年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数



年度	S52年度	S53年度	S54年度	S55年度	S56年度	S57年度	S58年度	S59年度	S60年度	S61年度	S62年度	S63年度	H元年度	H2年度	H3年度	H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
採用者数	7	0	8	0	7	8	10	2	0	5	7	5	3	0	0	8	8	11	12	8	10	11	8	5	0	11	9	9	8	10	9	12	11	13	16	14	17	15	15	10	11	8	10	12
現員数	1	0	6	0	4	6	9	2	0	5	6	5	3	0	0	8	6	10	10	7	10	10	6	5	0	11	9	9	8	7	9	12	10	12	13	14	12	13	13	10	10	8	10	12

職員数と条例定数の推移



年度	S45年度	S46年度	S47年度	S48年度	S49年度	S50年度	S51年度	S52年度	S53年度	S54年度	S55年度	S56年度	S57年度	S58年度	S59年度	S60年度	S61年度	S62年度	S63年度	H元年度	H2年度	H3年度	H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
条例定数	186	186	214	217	222	222	228	228	228	228	228	233	238	242	242	242	252	252	252	252	252	252	252	252	260	300	300	300	300	300	300	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338
職員数	154	186	221	214	220	219	226	222	228	226	226	231	236	242	240	238	243	246	248	243	242	239	243	251	260	268	276	284	291	297	299	298	303	308	312	317	321	320	312	310	307	314	315	310	312	308	315	317	317	316	321

※職員数には，再任用職員を含む。

警　　防

中型水陸両用車及び搬送車

災害出動計画基準表

災害種別(火災)　　令和2年4月1日現在

区分＼出動計画		車両	第1出動	第2出動	第3出動	摘要
建物	普通建物（中高層及び大規模建物以外の建物）	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		救急車	1	1		
		計	8 (9)	3	2	
	中高層建物（3階以上の建物）	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		はしご車	1	1		
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
		計	12 (13)	5	3	
	大規模建物（建物延べ面積1,000㎡以上の建物）	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
		計	11 (12)	4	3	
林野		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		計	7 (8)	2	2	
車両		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2	
		水槽車	1			
		救急車	1	2	2	
		化学車	危険物関係車両火災時特命出動			
		計	6 (8)	4	4	
危険物施設等（特殊災害）		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		化学車	1			
		工作車		1		
		救急車	2	2	2	
		計	12 (13)	5	4	
その他		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2	
		水槽車	1			
		計	5 (7)	2	2	

災害種別(救急)

区分＼出動計画	出動区分・車両数				摘要
	車両	第1出動	第2出動		
救急	救急車	1	1		同一救急に3隊以上の出動は消防長特命出動とする。
	計	1	1		

災害種別(救急救助)

区分＼出動計画	出動区分・車両数				摘要
	車両	第1出動	第2出動	第3出動	
救急救助	指揮車	1 (2)			
	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		
	工作車	1	1	1	
	救急車	1	2	3	
	計	4 (6)	4	4	

災害種別(その他)

区分＼出動計画	出動区分・車両数				摘要
	車両	第1出動	第2出動		
その他災害	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		
	計	1 (2)	1		
地震災害	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		大消ポンプ車及び大消救急車の特命出動
	工作車	1	(1)		
	救急車		1		
	計	2 (3)	2 (3)		

※ 第1出動，第2出動の( )書きは，出動指令時の災害発生場所又は災害状況に応じた増隊等後の車両数

非　常　配　備　体　制

令和2年4月1日現在

種別 ＼ 課・署所別			規程第16条の非常配備基準（日勤者が勤務している場合は，優先して配備する） 第一次非常配備	第二次非常配備	第三次非常配備
消防本部	総務課			2名	全職員
	予防課			2名	全職員
	警防課	指揮隊 (3)	1名	3名	全職員
		管制員 (4)	1名	2名	全職員
	防災課		2名	1名	全職員
古川消防署			15名	13名	
内訳	古川消防署	(12)	6名	5名	全職員
	志田分署	(5)	4名	3名	全職員
	田尻分署	(5)	4名	3名	全職員
	三本木出張所	(5)	1名	2名	全職員
鳴子消防署			5名	7名	
内訳	鳴子消防署	(10)	1名	4名	全職員
	岩出山分署	(5)	4名	3名	全職員
加美消防署			6名	8名	
内訳	加美消防署	(9)	2名	5名	全職員
	西部分署	(5)	4名	3名	全職員
遠田消防署		(11)	3名	5名	全職員
配備体制の移行	警防課		司令車 3名 管制員 4名	司令車 4名 管制員 5名	非常用司令車 3名 管制員 7名	司令車 5名 非常用司令車 4名 管制員 12名
	署		タンク車 2名 (救助)ポンプ車 2名 水槽車 2名 救急車 3名 古川救助車(兼務) 3名 はしご車(兼務) 2名	タンク車 3名 (救助)ポンプ車 3名 水槽車 2名 鳴子指揮車 2名 【専任】 古川救助車 4名 遠田救急2号車 3名	タンク車 4名 (救助)ポンプ車 4名 鳴子指揮車 3名 古川・加美・遠田 指揮車 2名 通信員 1名 【専任】 水陸両用車及び 搬送車 2名	タンク車 5名 (救助)ポンプ車 5名 古川・加美・遠田 指揮車 3名 古川救助車 5名 はしご車 4名 非常用ポンプ車 5名 非常用救急車 3名 【専任】 水陸両用車及び 搬送車 3名
	分署		タンク車 3名 ポンプ車 2名 救急車(兼務) 3名	タンク車 3名 ポンプ車 3名 救急車 3名	タンク車 4名 ポンプ車 4名 通信員 1名	タンク車 5名 ポンプ車 5名
	出張所		ポンプ車 2名 救急車 3名	ポンプ車 3名	ポンプ車 4名 通信員 1名	ポンプ車 5名

※1 （ ）内の数字は最低確保人員を示したもの。警防課・各署所の配備人数は最低確保人員を基準に算出したもの。

※2 非常用ポンプ車及び非常用救急車を活用することが効果的であると判断した場合，第三次非常配備以外での運用を可能とする。

※3 必要により，各市町等へ派遣する連絡員の人員を追加招集する。

※4 第三次非常配備については，「おおさき消防震災初動対応マニュアル」第1編職員参集に準じた参集とする。

※5 消防長は，本部課長会議を招集し体制移行（非常災害時の警防活動）について協議する。

消防車両配置表

令和2年4月1日現在

種別／署所別	計	消防車両						救急車	その他の車両									
		大型水槽車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車		司令・指揮車	連絡車	査察車	広報車	救急広報車	搬送車	拠点機能形成車	中型水陸両用車	ボートトレーラー	ホイールローダー
消防本部	13(5)			2(2)				2(2)	2(1)	2		2	1	1	1			
古川消防署	21	1	2	4	1	1	1	5	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0
古川消防署	10	1		1	1	1	1	2	1	1	1							
志田分署	4		1	1				1		1								
田尻分署	4		1	1				1		1								
三本木出張所	3			1				1		1								
鳴子消防署	14	0	2	2	1	0	0	2	1	1	1	0	0	1	0	1	0	2
鳴子消防署	9		1	1	1			1	1		1			1		1		1
岩出山分署	5		1	1				1		1								1
加美消防署	12	1	2	2	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0			2
加美消防署	7	1	1	1				1	1		1							1
西部分署	5		1	1				1		1								1
遠田消防署	9	1	1	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0		1	0
計	69(5)	3	7	11(2)	2	1	1	13(2)	6(1)	9	4	2	1	2	1	1	1	4

※( )内は非常用

所属名	登録年月	種　別	車 両 性 能 等	積載無線局名
消防本部	平成 9年 12月	非常用ポンプ車	CD－Ⅰ型ポンプ車	だ い し ょ う ぽ ん ぷ 1
〃	平成 7年 12月	非常用ポンプ車	I型　水槽1,000ﾘｯﾄﾙ　薬槽300ﾘｯﾄﾙ	だ い し ょ う ぽ ん ぷ 2
〃	平成21年 1月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう 1
〃	平成21年 1月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう2
〃	平成19年 3月	非常用司令車	トヨタハイメディック仕様変更(ガソリン車)	だ い し ょ う し れ い 2
〃	平成18年 6月	司 令 車	SUVタイプ2,700cc(ガソリン車)	だ い し ょ う し れ い 1
〃	平成17年 7月	広 報 車	バンタイプ2000cc(ガソリン車)	
〃	平成19年 1月	救急啓発広報車	ニッサンシビリアン (救急振興財団寄贈)	
〃	平成10年 7月	資機材搬送車	トラックタイプ2t車	だ い し ょ う は ん そ う 1
〃	平成23年 8月	連 絡 車	軽乗用車	
〃	平成25年 3月	広 報 車	ｽﾃｰｼｮﾝﾜｺﾞﾝ2000cc(ガソリン車)	
〃	平成25年 7月	連 絡 車	プリウス(ハイブリット車)	
〃	平成31年 3月	拠点機能形成車	後方支援資機材積載 (総務省消防庁配備)	だ い し ょ う き ょ て ん 1
古川消防署	平成18年 2月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ﾘｯﾄﾙ	ふ る か わ す い そ う 1
〃	平成11年12月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	ふ る か わ ぽ ん ぷ 1
〃	平成 5年10月	は し ご 車	35m級(最大地上高36m)	ふ る か わ は し ご 1
〃	令和 2年 3月	救助工作車	Ⅲ型(油圧ウインチ・照明装置付)	ふ る か わ き ゅ う じ ょ 1
〃	平成28年 1月	化 学 車	Ⅱ型　水槽1,500ﾘｯﾄﾙ　薬槽500ﾘｯﾄﾙ	ふ る か わ た ん く 1
〃	平成23年12月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう1
〃	平成24年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう2
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	ふ る か わ し き 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	ふ る か わ さ さ つ 1
志田分署	平成30年 3月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500ﾘｯﾄﾙ水槽付)	し だ た ん く 1
〃	平成12年11月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	し だ ぽ ん ぷ 1
〃	平成19年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	し だ き ゅ う き ゅ う 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	し だ れ ん ら く 1
田尻分署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500ﾘｯﾄﾙ水槽付)	た じ り た ん く 1
〃	平成25年 2月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	た じ り ぽ ん ぷ 1
〃	平成22年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	たじりきゅうきゅう1
〃	平成27年 7月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	た じ り れ ん ら く 1
三本木出張所	平成28年12月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車(800ﾘｯﾄﾙ水槽付)	さ ん ぼ ん ぎ ぽ ん ぷ 1
〃	平成22年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	さんぼんぎきゅうきゅう1

所属名	登録年月	種　別	車 両 性 能 等	積載無線局名
三本木出張所	平成23年 7月	連 絡 車	軽ワゴン車	
鳴子消防署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽－Ⅱ型(2,000ﾘｯﾄﾙ水槽付)	な る こ た ん く 1
〃	平成17年 3月	救助ポンプ車	CD－Ⅰ型(救助ポンプ車)	なるこきゅうじょぽんぷ 1
〃	平成13年 7月	はしご車	15m級(最大地上高15.9m)	な る こ は し ご 1
〃	平成29年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	なるこきゅうきゅう1
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	な る こ し き 1
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	な る こ さ さ つ 1
〃	平成20年11月	ホイールローダー	鳴子除雪車・災害対応車	
〃	令和 2年 3月	特殊装備車	中型水陸両車搬送車両	だ い し ょ う と く そ う 1
〃	令和 2年 4月	中型水陸両用車	大型特殊自動車	
岩出山分署	平成15年10月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500ﾘｯﾄﾙ水槽付)	い わ で や ま た ん く 1
〃	令和 2年 2月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	い わ で や ま ぽ ん ぷ 1
〃	平成23年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	いわでやまきゅうきゅう 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	いわでやまれんらく 1
〃	平成26年 1月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
加美消防署	平成19年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽5,000ﾘｯﾄﾙ	か み す い そ う 1
〃	平成13年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ﾘｯﾄﾙ水槽付)	か み た ん く 1
〃	平成20年 1月	救助ポンプ車	CD－Ⅰ型ポンプ車(救助ポンプ車)	かみきゅうじょぽんぷ 1
〃	平成28年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	か み き ゅ う き ゅ う 1
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000CC(ガソリン車)	か み し き 1
〃	平成21年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	か み さ さ つ 1
〃	平成23年12月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
西部分署	平成26年 1月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500ﾘｯﾄﾙ水槽付)	せ い ぶ た ん く 1
〃	平成 9年 10月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車(600ﾘｯﾄﾙ水槽付)	せ い ぶ ぽ ん ぷ 1
〃	令和元年12月	高規格救急車	ニッサンパラメディック	せいぶきゅうきゅう1
〃	平成25年 2月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	せ い ぶ れ ん ら く 1
〃	平成26年10月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
遠田消防署	平成23年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ﾘｯﾄﾙ	と お だ す い そ う 1
〃	平成14年11月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500ﾘｯﾄﾙ水槽付)	と お だ た ん く 1
〃	平成21年 2月	救助ポンプ車	CD－I型(救助ポンプ車) (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	とおだきゅうじょぽんぷ1
〃	平成25年 3月	高規格救急車	トヨタハイメディック (JA共済連寄贈)	とおだきゅうきゅう1
〃	令和元年11月	高規格救急車	ニッサンパラメディック	とおだきゅうきゅう2
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	と お だ し き 1

所属名	登録年月	種　別	車 両 性 能 等	積載無線局名
〃	平成22年 6月	査 察 車	軽ワゴン車	と お だ さ さ つ 1
〃	平成25年 1月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	令和 2年 3月	ボートトレーラー	ウレタンボート搬送用トレーラー	

消 防 隊 出 動 状 況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

署所 ＼ 区分		合計	火災	救助活動	内管外	風水害等	演習訓練	訓練指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難	予防査察	その他	内管外
古川	出動回数	2,014	34	21	13	11	8	24	41	14	321	0	332	1,208	13
	台数	2,085	86	36	13	15	8	24	41	14	321	0	332	1,208	13
	人員	4,604	209	125	49	52	24	48	91	50	840	0	824	2,341	35
志田	出動回数	965	10	11	0	9	5	35	40	1	47	0	143	664	0
	台数	999	17	19	0	13	17	35	40	4	47	0	143	664	0
	人員	2,455	53	56	0	43	52	105	113	14	129	0	429	1,461	0
田尻	出動回数	1,374	15	0	0	2	2	20	162	3	112	0	61	997	1
	台数	1,435	24	0	0	2	5	31	162	5	112	0	63	1,031	1
	人員	3,835	67	0	0	8	16	83	475	14	322	0	191	2,659	1
三本木	出動回数	500	22	11	0	0	1	21	39	2	117	0	32	255	0
	台数	500	22	11	0	0	1	21	39	2	117	0	32	255	0
	人員	1,253	50	28	0	0	2	57	95	5	290	0	82	644	0
鳴子	出動回数	961	8	6	0	0	2	28	45	5	144	2	162	559	1
	台数	990	18	23	0	0	3	28	45	6	144	2	162	559	2
	人員	2,332	56	70	0	0	6	78	122	19	418	6	293	1,264	5
岩出山	出動回数	937	12	2	0	0	6	25	67	8	171	0	79	567	3
	台数	954	19	2	0	0	9	25	67	15	171	0	79	567	3
	人員	2,259	48	5	0	0	22	61	178	47	460	0	194	1,244	12
加美	出動回数	1,040	24	4	0	1	6	43	34	17	156	0	153	602	2
	台数	1,154	88	15	0	1	16	48	37	38	156	0	153	602	2
	人員	2,540	214	45	0	2	36	158	97	49	411	0	328	1,200	8
西部	出動回数	1,013	9	0	0	12	3	21	42	4	362	0	70	490	1
	台数	1,025	18	0	0	12	5	21	42	5	362	0	70	490	1
	人員	2,523	54	0	0	32	16	58	114	19	1,008	0	206	1,016	2
遠田	出動回数	1,318	20	14	0	4	13	23	43	17	220	0	84	880	0
	台数	1,403	63	26	0	4	13	23	43	17	220	0	84	910	0
	人員	3,483	189	78	0	12	32	49	109	51	504	0	184	2,275	0
合計	出動回数	10,122	154	69	13	39	46	240	513	71	1,650	2	1,116	6,222	21
	台数	10,545	355	132	13	47	77	256	516	106	1,650	2	1,118	6,286	22
	人員	25,284	940	407	49	149	206	697	1,394	268	4,382	6	2,731	14,104	63

※ 演習訓練とは，消防機関又は関係機関と合同で行う演習・訓練のために消防車両が出動した状況である。
訓練指導とは，住民や自衛消防隊が行う消防訓練に対する指導のため出動した状況である。
警防調査とは，地水利・危険区域・対象物調査等に出動した状況である。

消防水利の現況

令和2年4月1日現在

施設別＼市町村別			大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	合計
消火栓	小計(A)		1,889	126	419	255	438	3,127
	公設		1,837	126	417	255	435	3,070
	私設		52	0	2	0	3	57
防火水槽	小計	100㎥以上	11	0	1	3	2	17
		100㎥未満～40㎥	559	33	133	124	143	992
		40㎥未満～20㎥	72	0	7	10	48	137
	合計(B)		642	33	141	137	193	1,146
	公設	100㎥以上	2	0	0	3	0	5
		100㎥未満～40㎥	454	32	123	121	130	860
		40㎥未満～20㎥	54	0	2	9	47	112
	公設うち耐震性	100㎥以上	0	0	0	0	0	0
		100㎥未満～40㎥	48	21	117	29	50	265
		40㎥未満～20㎥	1	0	0	0	8	9
	私設	100㎥以上	9	0	1	0	2	12
		100㎥未満～40㎥	105	1	10	3	13	132
		40㎥未満～20㎥	18	0	5	1	1	25
	私設うち耐震性	100㎥以上	0	0	1	0	0	1
		100㎥未満～40㎥	2	0	6	0	1	9
		40㎥未満～20㎥	0	0	5	0	0	5
その他	小計(C)		93	4	18	9	11	135
	プール		46	4	8	9	9	76
	河川		0	0	1	0	0	1
	ごう・池等		46	0	8	0	2	56
	井戸		0	0	0	0	0	0
	工業用水		0	0	0	0	0	0
	掘抜消火栓		0	0	0	0	0	0
	その他		1	0	1	0	0	2
合計(A＋B＋C)			2,624	163	578	401	642	4,408

火災の現況

令和元年中における出火件数は５１件で前年より１９件減少しました。これは約７．２日に１件の割合で火災が発生したことになります。

この出火件数は，大崎消防発足して以来５０年間で最小の件数となりました。

火災種別ごとの出火件数は，建物火災が３１件（６０．８％，前年比１７件減），林野火災４件（７．８％，前年比２件増），車両火災５件（９．８％，前年比６件減），その他火災１１件（２１．６％，前年比２件増）となりました。

市町別ごとの出火件数は，大崎市３１件（６０．８％），色麻町５件（９．８％）加美町５件（９．８％），涌谷町７件（１３．７％），美里町３件（５．９％）となりました。

火災の死者数は４人で前年比２人増加し，火災種別では，建物火災が３人，その他火災が１人となりました。損害額は１億２，９８６万７千円で，前年と比較すると２億２，１４３万３千円減少しました。

出火原因は，「たばこ」が８件，次いで「ストーブ」「配線器具」「焼却炉」「放火」が各３件，「こんろ」「煙突・煙道」「電気機器」「火入れ」「放火の疑い」が各２件の順となっています。

近年の出火原因は，「たばこ」，「たき火」，「こんろ」の順に全国的な出火原因と同様に高い件数となっていますが，「放火」及び「放火の疑い」を合わせると全体の１１．７％を占め，依然として変わらず高い割合であることから，家の周りに燃えやすい物を置かない等の放火対策が必要となります。

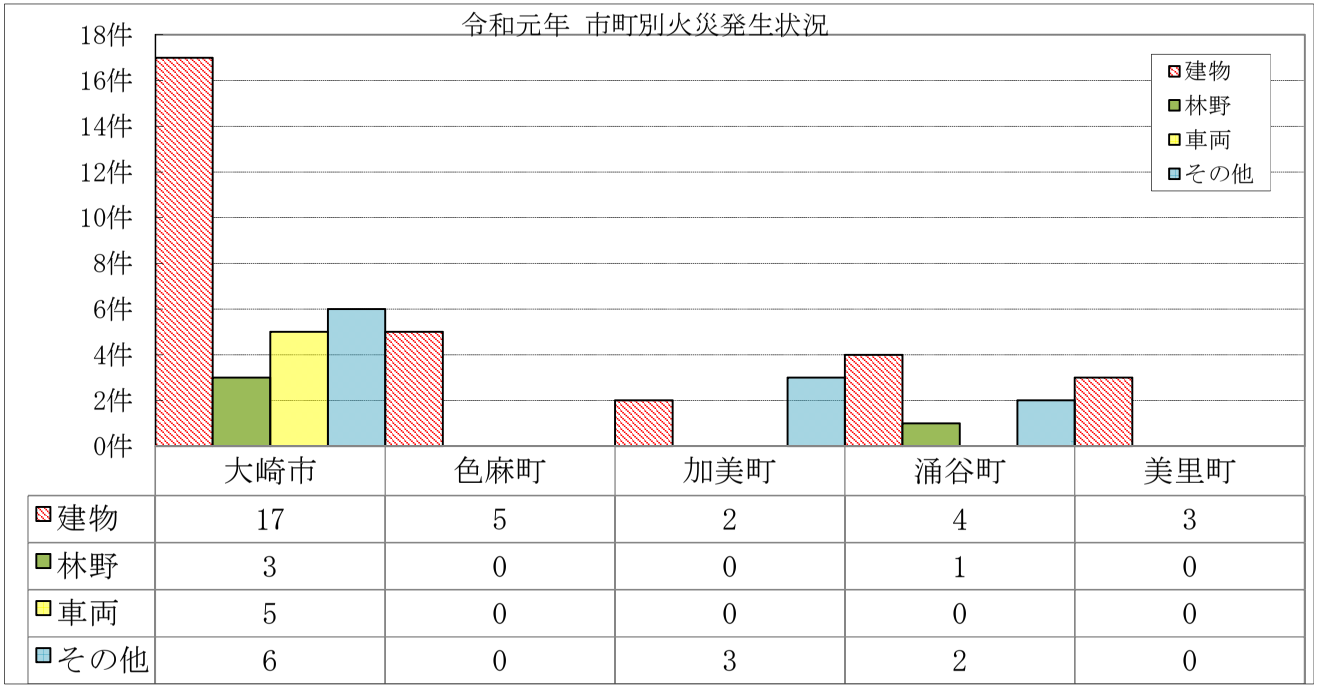
このことからも，住民一人ひとりの防火意識の高揚を目指し，更なる防火安全対策の充実強化に努めてまいります。

市　町　別　火　災　発　生　状　況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

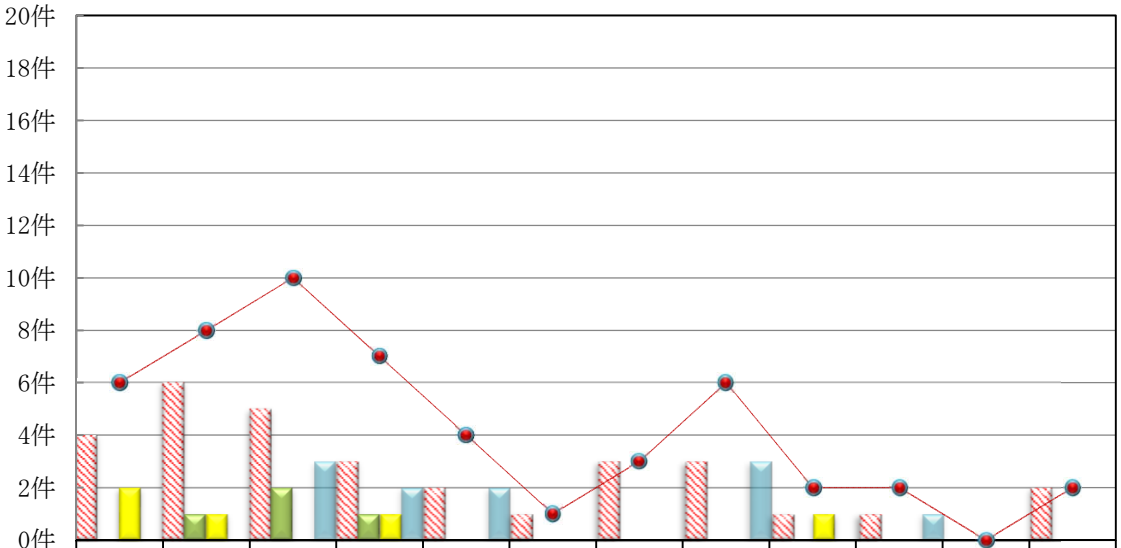
	火災件数					焼損棟数	り災		死者	負傷者	世帯数	人口	一万人当り出火率	損害額（円）				焼損面積		
	合計	建物	林野	車両	その他		世帯	人員						総額（千円）	一件当り（千円）	一世帯当り（円）	一人当り（円）	建物面積（㎡）	一件当り（㎡）	林野面積（ａ）
大崎市	31	17	3	5	6	38	26	59	2	5	51,593	129,444	2.39	45,291	1,461	878	350	1,906	112.1	378
色麻町	5	5	0	0	0	19	4	14	1	0	2,098	6,779	7.38	32,803	6,561	15,635	4,839	1,444	288.8	0
加美町	5	2	0	0	3	6	3	10	0	1	8,147	22,992	2.17	16,104	3,221	1,977	700	370	185.0	0
涌谷町	7	4	1	0	2	9	4	13	1	1	6,028	15,910	4.40	31,730	4,533	5,264	1,994	449	112.3	24
美里町	3	3	0	0	0	9	3	7	0	0	9,133	24,395	1.23	3,939	1,313	431	161	308	102.7	0
合計	51	31	4	5	11	81	40	103	4	7	76,999	199,520	2.56	129,867	2,546	1,687	651	4,477	144.4	402

※世帯数・人口は令和元年12月末日現在（宮城県住民基本台帳より）



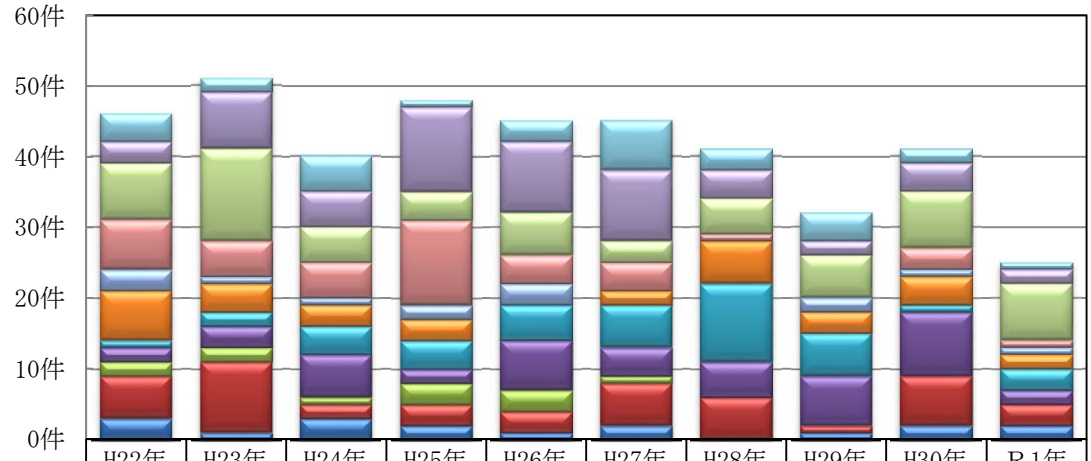
	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町
建物	17	5	2	4	3
林野	3	0	0	1	0
車両	5	0	0	0	0
その他	6	0	3	2	0

令和元年 月別火災発生状況



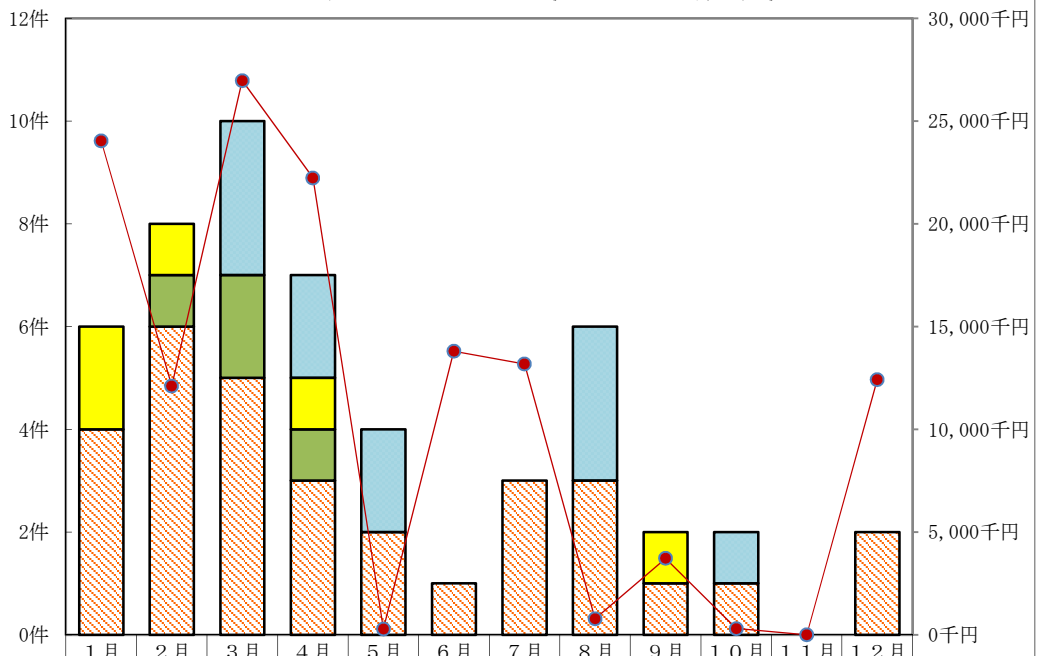
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建物	4	6	5	3	2	1	3	3	1	1	0	2
林野	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
車両	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	0	0	3	2	2	0	0	3	0	1	0	0
総計	6	8	10	7	4	1	3	6	2	2	0	2

過去１０年間の主な出火原因



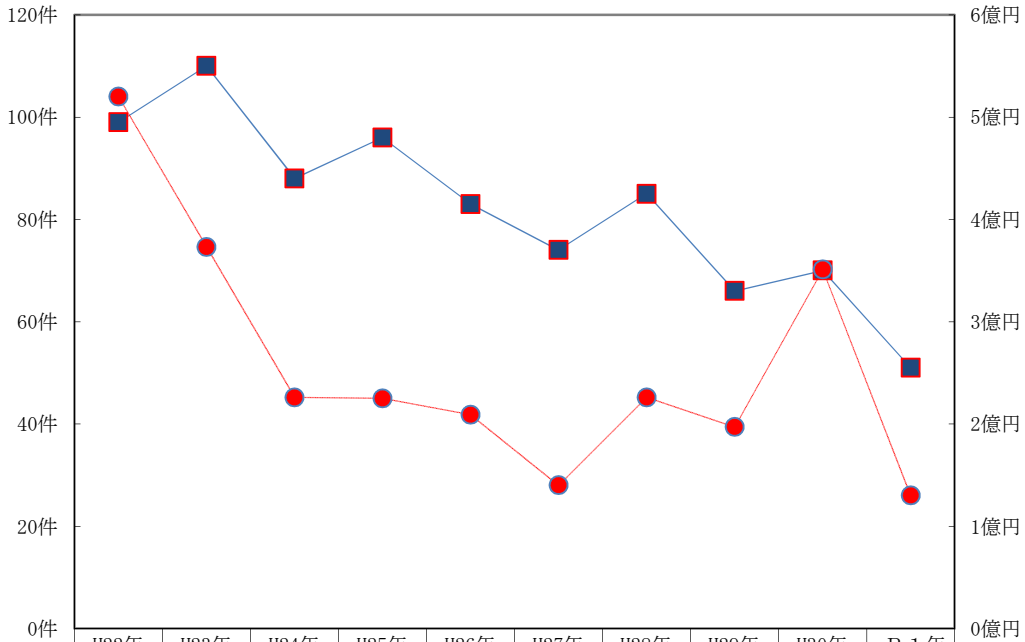
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R１年
電灯等配線	4	2	5	1	3	7	3	4	2	1
火入れ	3	8	5	12	10	10	4	2	4	2
たばこ	8	13	5	4	6	3	5	6	8	8
たき火	7	5	5	12	4	4	1	0	3	1
火遊び	3	1	1	2	3	0	0	2	1	1
こんろ	7	4	3	3	0	2	6	3	4	2
放火	1	2	4	4	5	6	11	6	1	3
放火の疑い	2	3	6	2	7	4	5	7	9	2
風呂・かまど	2	2	1	3	3	1	0	0	0	0
ストーブ	6	10	2	3	3	6	6	1	7	3
煙突・煙道	3	1	3	2	1	2	0	1	2	2

令和元年　月別火災発生状況及び損害額状況



	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
その他	0	0	3	2	2	0	0	3	0	1	0	0
車両	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
林野	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
建物	4	6	5	3	2	1	3	3	1	1	0	2
損害額（千円）	24,035	12,107	26,970	22,237	291	13,805	13,183	784	3,723	308	0	12,424

過去１０年間の火災件数及び損害額の推移



	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	Ｒ１年
件数（件）	99	110	88	96	83	74	85	66	70	51
損害額（億円）	5.20	3.73	2.26	2.25	2.09	1.40	2.26	1.97	3.51	1.3

救急業務の現況

令和元年中における救急出動件数は９，４７０件で前年より１８２件増加し，搬送人員は８，８３５人で前年より１８８人増加しました。これは一日平均で約２６件（約５５分に１件）の割合で救急車が出動し，管内の約２２人に１人が救急車により搬送されたことになります。

令和元年中の搬送人員８，８３５人に救急隊員が応急処置を行い，応急処置の総件数は４２，７１２件で，傷病者１人に対して平均４．８種類の応急処置を行なったことになります。

救急隊員が行った応急処置のうち，救急救命士（除細動については，救急救命士以外の救急隊員を含む）が心肺停止状態又は重篤な傷病者に行う高度な応急処置（ラリンゲアルマスク等による気道確保，気管挿管，除細動，静脈路確保，薬剤投与，血糖測定，ブドウ糖投与）の件数は６５６件となっています。

また，過去１０年間の救急出動件数は，平成２３年に初めて年間９，０００件を上回り，それ以降毎年９，０００件台で推移しています。

当消防本部の統計上最多の出動件数は平成２９年の９，５０８件で，続いて令和元年の９，４７０件となっています。

限られた消防力の中で，最大限に効果を発揮できるよう救急体制の充実を図るとともに，救急車を適正に利用していただくための普及啓発に取り組んでまいります。

救急救命士による活動訓練

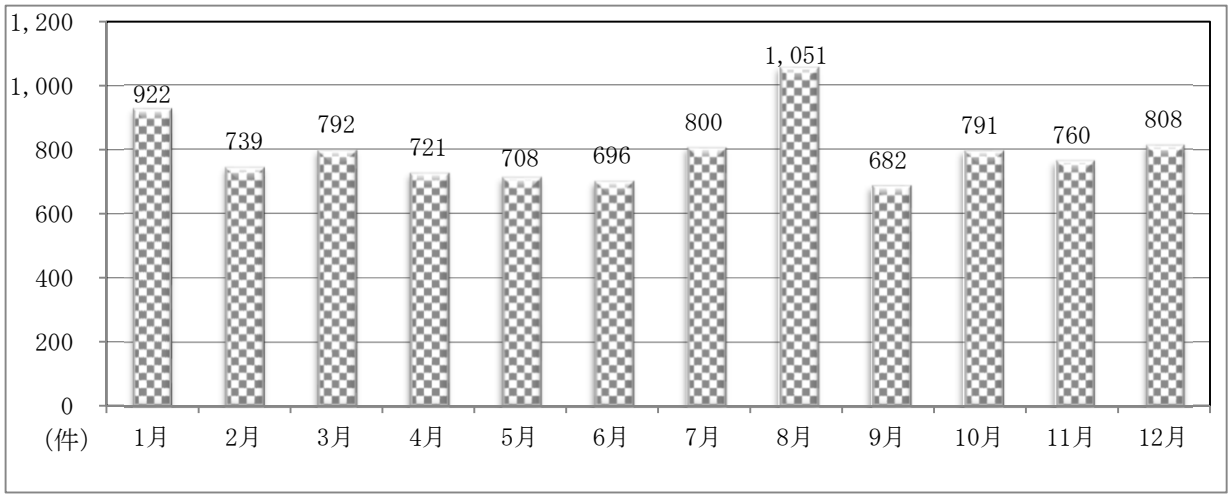
活動訓練後の事後検証

令和元年 月別救急出動状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

月別	種別／区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
1月	出動件数	922	6			39	9	2	113	2	2	595	146		1	7
	搬送件数	858	4			32	9	2	104	2	1	558	146			
	搬送人員	867	4			41	9	2	104	2	1	558	146			
2月	出動件数	739	9			32	3	4	82	2	3	477	121			6
	搬送件数	680	1			27	3	4	79	2	2	441	120			1
	搬送人員	685	1			31	3	4	80	2	2	441	120			1
3月	出動件数	792	10		1	46	4	1	66		7	523	127		1	6
	搬送件数	724	2			40	4	1	62		3	486	126			
	搬送人員	730	2			45	4	1	63		3	486	126			
4月	出動件数	721	3			50	4	3	70	6	6	475	99		2	3
	搬送件数	670				44	4	3	63	5	3	449	99			
	搬送人員	678				49	4	4	63	6	3	450	99			
5月	出動件数	708	1		1	37	5	5	67	1	9	456	113		2	11
	搬送件数	654				36	5	5	62	1	8	424	113			
	搬送人員	659				41	5	5	62	1	8	424	113			
6月	出動件数	696	1	2		39	2	7	83	1	7	455	93		1	5
	搬送件数	646		2		35	2	7	78		7	422	93			
	搬送人員	650		2		39	2	7	78		7	422	93			
7月	出動件数	800	4			36	11	6	74	1	4	526	126		2	10
	搬送件数	739				35	11	6	71		2	488	126			
	搬送人員	747				41	11	6	72		2	488	127			
8月	出動件数	1,051	3			64	17	10	100	2	7	712	123		4	9
	搬送件数	962				62	17	10	93	1	4	652	123			
	搬送人員	973				73	17	10	93	1	4	652	123			
9月	出動件数	682	1		2	33	12	11	64	3	3	436	111		2	4
	搬送件数	640				30	12	10	60	3		414	111			
	搬送人員	652				39	12	11	60	4		414	112			
10月	出動件数	791	1	2		41	11	3	105	2	6	484	122		3	11
	搬送件数	728		2		35	11	3	99	1	4	451	122			
	搬送人員	741		2		46	11	3	99	1	4	453	122			
11月	出動件数	760				48	12		82		4	486	120		1	7
	搬送件数	704				45	12		78		3	446	120			
	搬送人員	714				54	12		78		3	447	120			
12月	出動件数	808	3			45	7	1	94	2	10	491	139		2	14
	搬送件数	731				41	7	1	84	1	8	450	139			
	搬送人員	739				49	7	1	84	1	8	450	139			
累計	出動件数	9,470	42	4	4	510	97	53	1,000	22	68	6,116	1,440	0	21	93
	搬送件数	8,736	7	4	0	462	97	52	933	16	45	5,681	1,438	0	0	1
	搬送人員	8,835	7	4	0	548	97	54	936	18	45	5,685	1,440	0	0	1

月別出動件数



令和元年 救急隊別出動状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

救急隊別	種別／区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
古川1	出動件数	1,751	6	1		107	14	11	179	7	8	1034	368		8	8
	搬送人員	1,605		1		109	14	11	156	6	7	932	369			
古川2	出動件数	1,690	9			88	20	7	149	2	11	1007	369		12	16
	搬送人員	1,559	2			86	20	7	136	2	9	928	369			
志田	出動件数	882				40	5	7	101	2	9	590	124			4
	搬送人員	847				43	5	7	96	3	7	561	125			
田尻	出動件数	621	1			35	1	2	73	1	4	481	15			8
	搬送人員	583	1			45	1	2	68		3	448	15			
三本木	出動件数	535	2	1	1	48	9	3	48	2	1	329	72		1	18
	搬送人員	490		1		53	9	2	44	2		306	72			1
鳴子	出動件数	470	2		1	21	4	1	66	2	3	324	44			2
	搬送人員	434				23	4	1	62	1	1	298	44			
岩出山	出動件数	587				30	11		57	2	3	418	60			6
	搬送人員	564				32	11		59	2	2	398	60			
加美	出動件数	983	14		1	53	16	8	100		9	636	137			9
	搬送人員	932	2			56	16	10	99		6	606	137			
西部	出動件数	484				16	3	6	58	2	5	331	55			8
	搬送人員	455				19	3	6	57	1	3	312	54			
遠田1	出動件数	1,166	7		1	57	12	6	129	1	12	778	151			12
	搬送人員	1,086	2			64	12	6	124		5	723	150			
遠田2	出動件数	296	1	2		15	2	2	39	1	3	188	42			1
	搬送人員	276		2		18	2	2	34	1	2	173	42			
その他	出動件数	5							1				3			1
	搬送人員	4							1				3			
累計	出動件数	9,470	42	4	4	510	97	53	1,000	22	68	6,116	1,440		21	93
	搬送人員	8,835	7	4		548	97	54	936	18	45	5,685	1,440			1

令和元年 出動先別救急出動状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

地域別	種別／区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
大崎市	出動件数	6,242	25	3	2	343	62	31	658	17	37	3,978	1,004		21	61
	搬送人員	5,799	5	3		363	62	30	608	15	29	3,678	1,006			
色麻町	出動件数	346	5			16	4	6	25		3	223	60			4
	搬送人員	331				17	4	7	25			217	60			1
加美町	出動件数	1,086	3		1	50	14	8	124	3	8	720	143			12
	搬送人員	1,033	1			57	14	9	122	2	5	681	142			
涌谷町	出動件数	798	6	1	1	29	9	1	84	1	10	488	162			6
	搬送人員	737	1	1		28	9	1	76	1	5	454	161			
美里町	出動件数	974	3			66	8	7	107	1	10	697	68			7
	搬送人員	913				76	8	7	103		6	645	68			
高速道路	出動件数	21				6			2			10				3
	搬送人員	19				7			2			10				
管外	出動件数	3											3			
	搬送人員	3											3			
累計	出動件数	9,470	42	4	4	510	97	53	1,000	22	68	6,116	1,440		21	93
	搬送人員	8,835	7	4		548	97	54	936	18	45	5,685	1,440			1

令和元年 傷病程度・年齢別搬送人員の状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

年齢区分	年齢区分内訳	種別／区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児	生後28日未満	死亡	0											
		重症	3											3
		中等症	17										2	15
		軽症	6										2	4
		その他	0											
		計	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	22
乳幼児	28日～6歳	死亡	0											
		重症	12										4	8
		中等症	125				4			15			86	20
		軽症	196				10			40			139	7
		その他	0											
		計	333	0	0	0	14	0	0	55	0	0	229	35
少年	7歳～17歳	死亡	0											
		重症	7				4							3
		中等症	124				23	1	13	8		3	66	10
		軽症	183				31	1	24	29			96	2
		その他	0											
		計	314	0	0	0	58	2	37	37	0	3	162	15
成人	18歳～64歳	死亡	28				2					3	22	1
		重症	216				11	6	3	8		7	123	58
		中等症	1,279	3			127	41	7	91	7	14	776	213
		軽症	953	1			178	26	7	91	7	6	602	35
		その他	0											
		計	2,476	4	0	0	318	73	17	190	14	30	1,523	307
高齢者	65歳以上	死亡	156	1						9		5	141	
		重症	880				13	4		50	1	1	578	233
		中等症	3,258		2		65	11		368	2	5	2,047	758
		軽症	1,392	2	2		80	7		227	1	1	1,001	71
		その他	0											
		計	5,686	3	4	0	158	22	0	654	4	12	3,767	1,062
合計		死亡	184	1	0	0	2	0	0	9	0	8	163	1
		重症	1,118	0	0	0	28	10	3	58	1	8	705	305
		中等症	4,803	3	2	0	219	53	20	482	9	22	2,977	1,016
		軽症	2,730	3	2	0	299	34	31	387	8	7	1,840	119
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	8,835	7	4	0	548	97	54	936	18	45	5,685	1,441

令和元年 救急隊員の行った応急処置状況（その１）

平成31年1月1日～令和元年12月31日

事故種別 傷病程度 ＼ 応急処置		対応急処置人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	うち自動	心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	気道確保					保温
												※１	※２	※３	※４	
急病	死亡	163		2				163	101	163	163		4	86		86
	重症	705	3	6	15			86	45	361	175	4	3	49	1	298
	中等症	2,977	15	56	4			1	1	478	56	2		1		1,005
	軽症	1,840	56	28	1					59	9					577
	その他															
	計	5,685	74	92	20	0	0	250	147	1,061	403	6	7	136	1	1,966
交通事故	死亡	2	1	2				2	1	2	2			1		1
	重症	28	8	26				2		14	6			2		14
	中等症	219	28	172						15	3					79
	軽症	299	14	171						1						68
	その他	0														
	計	548	51	371	0	0	0	4	1	32	11	0	0	3	0	162
一般負傷	死亡	9						9	5	9	9		4	4	1	6
	重症	58	8	27				4	4	11	9		2	3	1	20
	中等症	482	63	155	1					23	3		1			168
	軽症	387	71	89						5						89
	その他															
	計	936	142	271	1	0	0	13	9	48	21	0	7	7	2	283
その他	死亡	10		3				10	4	10	10		1	4		7
	重症	327	4	20	6			8	7	139	24			4		153
	中等症	1,125	22	68						270	7					453
	軽症	204	14	23						15						68
	その他															
	計	1,666	40	114	6	0	0	18	11	434	41	0	1	8	0	681
合計	死亡	184	1	7	0	0	0	184	111	184	184	0	9	95	1	100
	重症	1,118	23	79	21	0	0	100	56	525	214	4	5	58	2	485
	中等症	4,803	128	451	5	0	0	1	1	786	69	2	1	1	0	1,705
	軽症	2,730	155	311	1	0	0	0	0	80	9	0	0	0	0	802
	計	8,835	307	848	27	0	0	285	168	1,575	476	6	15	154	3	3,092

気道確保

※１　経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※２　喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※３　救急救命士がラリンゲアルマスク等を使用して施した気道確保

※４　救急救命士が気管挿管により施した気道確保

令和元年　救急隊員の行った応急処置状況（その２）

平成31年1月1日～令和元年12月31日

事故種別傷病程度＼応急処置		被覆	在宅療法継続	※A	※B	※C	SPによる血圧保持	除細動	静脈路確保・CPA前	静脈路確保・CPA後	薬剤投与	ブドウ糖投与	その他の応急処置	血圧測定	聴診器による聴取	血中酸素飽和度の測定	血糖測定	心電図	心電図伝送	計
急病	死亡		2			2		11		81	23		140	8	148	12		163		1,165
	重症	1	12			12		10	20	57	30	2	687	633	426	636	46	656	84	4,160
	中等症	11	46	2	9	35			38	1		21	2,951	2,903	1,193	2,969	79	2,520	190	14,347
	軽症	6	14	1	1	12			11			9	1,826	1,730	606	1,830	19	1,263	55	8,044
	その他																			0
	計	18	74	3	10	61	0	21	69	139	53	32	5,604	5,274	2,373	5,447	144	4,602	329	27,716
交通事故	死亡									1			2		1			2		16
	重症	7							3	2	1		27	26	22	26		26		210
	中等症	45											206	216	140	218	1	132	1	1,255
	軽症	27											286	290	139	298	2	100		1,396
	その他																			0
	計	79	0	0	0	0	0	0	3	3	1	0	521	532	302	542	3	260	1	2,877
一般負傷	死亡	1								3	1		9	1	8	1		9		66
	重症	5							3	3	1		57	53	20	54		39		314
	中等症	60	3			3			2				479	473	120	482	1	225		2,258
	軽症	90	4		1	3							377	354	103	381		137		1,700
	その他																			0
	計	156	7	0	1	6	0	0	5	6	2	0	922	881	251	918	1	410	0	4,338
その他	死亡									2	1		7	1	8	1		10		70
	重症	6						2		5	2		318	311	84	318		238	15	1,638
	中等症	23							2			1	1,100	1,095	265	1,124	2	749	53	5,181
	軽症	15											198	193	43	204		119	9	892
	その他																			0
	計	44	0	0	0	0	0	2	2	7	3	1	1,623	1,600	400	1,647	2	1,116	77	7,781
合計	死亡	1	2	0	0	2	0	11	0	87	25	0	158	10	165	14	0	184	0	1,317
	重症	19	12	0	0	12	0	12	26	67	34	2	1,089	1,023	552	1,034	46	959	99	6,322
	中等症	139	49	2	9	38	0	0	42	1	0	22	4,736	4,687	1,718	4,793	83	3,626	244	23,041
	軽症	138	18	1	2	15	0	0	11	0	0	9	2,687	2,567	891	2,713	21	1,619	64	12,032
		297	81	3	11	67	0	23	79	155	59	33	8,670	8,287	3,326	8,554	150	6,388	407	42,712

1　在宅療法　※A　在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの

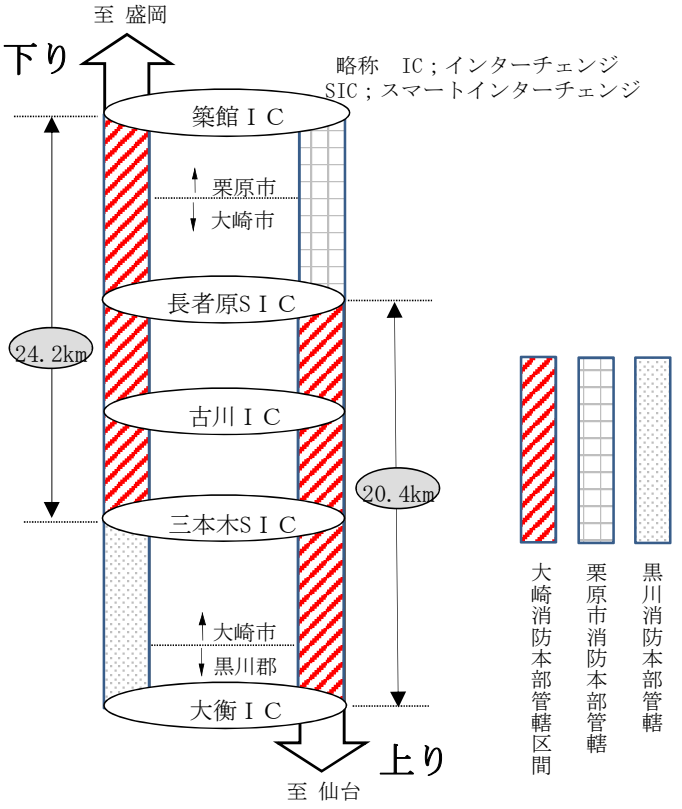
※B　気道切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの

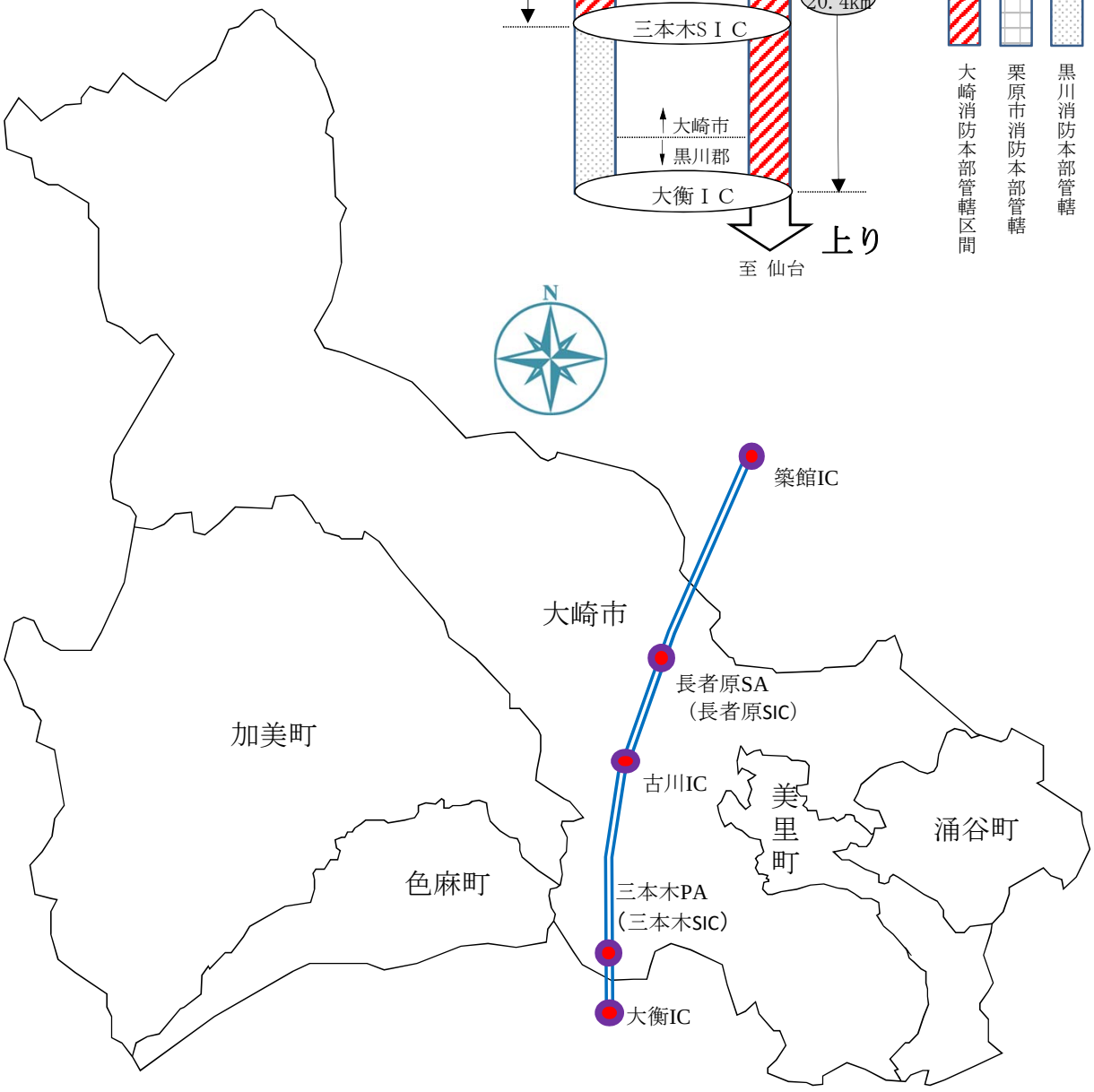
※C　※A，※B以外の処置が施されているもの

2　計欄については，（その１）止血から（その２）心電図伝送までの集計である。

東北自動車道における救急出動件数・搬送人員（過去5年間）

年	区　分	計	事故種別		
			交通	急病	その他
平成27年	出動件数	32	13	12	7
	搬送人員	28	14	12	2
	不搬送	8	3	0	5
平成28年	出動件数	31	19	6	6
	搬送人員	32	25	6	1
	不搬送	0	0	0	0
平成29年	出動件数	26	13	9	4
	搬送人員	20	12	8	0
	不搬送	7	4	1	2
平成30年	出動件数	30	11	16	3
	搬送人員	26	11	14	1
	不搬送	7	3	2	2
令和元年	出動件数	21	6	10	5
	搬送人員	19	7	10	2
	不搬送	4	1	0	3

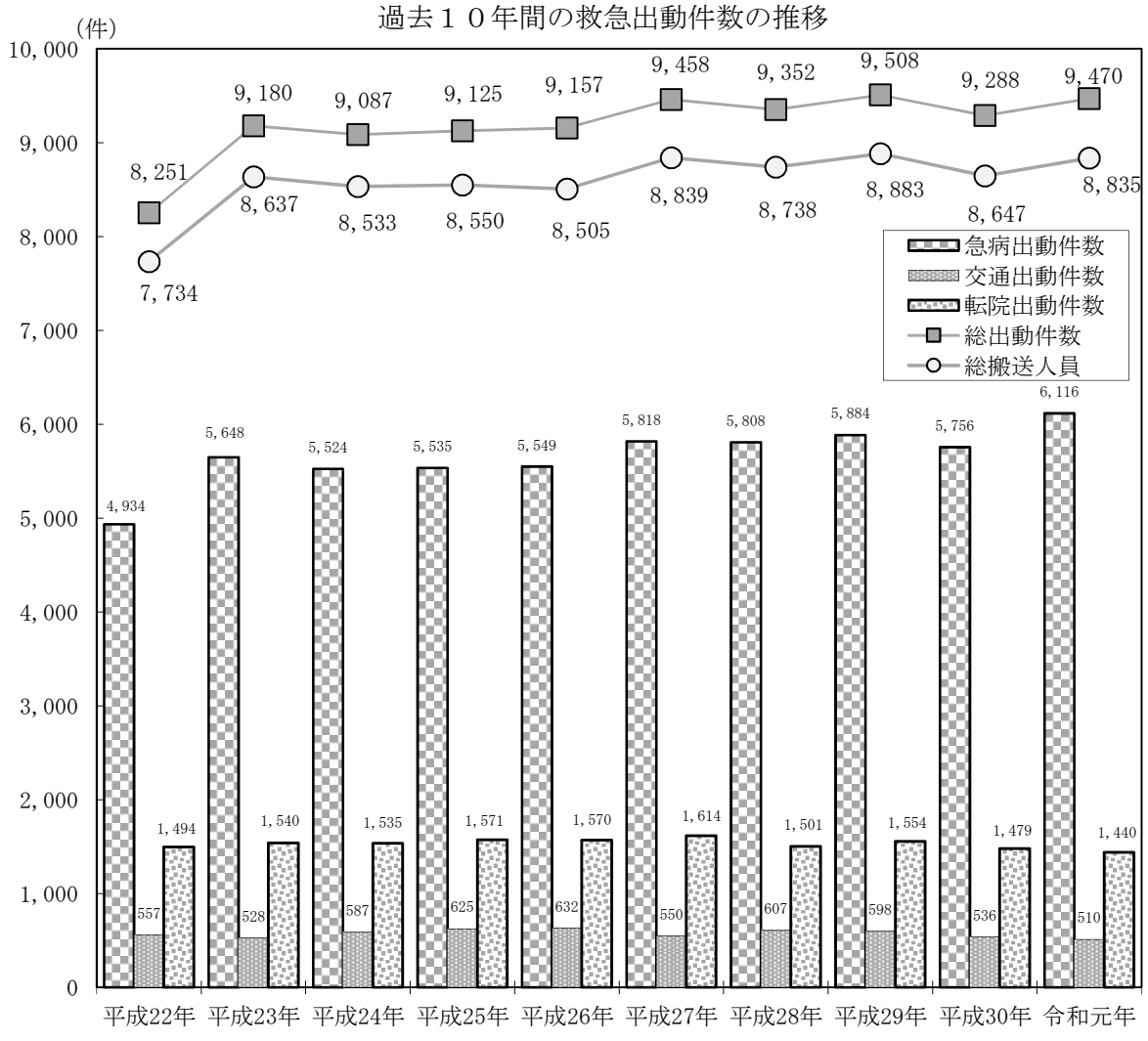




過去５年間の発生場所別救急出動件数

年　別 市町別･その他	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
大崎市	6,189	6,133	6,328	6,097	6,242
色麻町	351	348	349	343	346
加美町	1,112	1,075	1,097	1,082	1,086
涌谷町	796	796	757	776	798
美里町	974	969	946	958	974
高速道路	32	31	26	30	21
管外	4	0	5	2	3
計	9,458	9,352	9,508	9,288	9,470

過去１０年間の救急出動件数の推移



令和元年 事故種別医療機関別搬送人員

（上段・本年搬送人員　　下段・前年搬送人員）

種別 / 地域			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
搬送人員			7	4	0	548	97	54	936	18	45	5,685	1,440	0	0	1	8,835
			7	0	1	560	69	63	1,015	21	54	5,373	1,479	0	0	5	8,647
医療機関	管内	大崎市	4	3	0	473	86	45	807	14	42	4,761	1,114	0	0	1	7,350
			4	0	1	454	58	40	836	19	48	4,446	1,160	0	0	4	7,070
		加美郡	1	0	0	19	6	8	47	2	1	264	20	0	0	0	368
			1	0	0	25	5	7	55	1	3	270	20	0	0	0	387
		遠田郡	2	1	0	45	3	1	56	1	2	422	17	0	0	0	550
			1	0	0	53	5	13	87	1	1	406	23	0	0	1	591
	大崎管内合計		7	4	0	537	95	54	910	17	45	5,447	1,151	0	0	1	8,268
			6	0	1	532	68	60	978	21	52	5,122	1,203	0	0	5	8,048
	管外	仙台市	0	0	0	0	0	0	6	0	0	65	128	0	0	0	199
			0	0	0	0	0	1	6	0	1	61	117	0	0	0	186
		栗原市	0	0	0	2	0	0	0	0	0	8	24	0	0	0	34
			0	0	0	6	0	0	1	0	0	14	13	0	0	0	34
		登米市	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	8	0	0	0	14
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	15
		黒川郡	0	0	0	1	0	0	1	0	0	15	6	0	0	0	23
			0	0	0	4	0	1	9	0	0	13	7	0	0	0	34
		富谷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
		石巻市	0	0	0	7	1	0	11	1	0	82	87	0	0	0	189
			0	0	0	12	0	1	13	0	1	85	79	0	0	0	191
		東松島市	0	0	0	0	0	0	4	0	0	40	27	0	0	0	71
			0	0	0	1	0	0	2	0	0	31	35	0	0	0	69
		塩釜市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
			0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	4	0	0	0	10
		多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		宮城郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
			0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
		名取市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		岩沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
		柴田郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		白石市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		角田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	大崎管外合計		0	0	0	10	1	0	24	1	0	221	289	0	0	0	546
			0	0	0	23	0	3	33	0	2	217	276	0	0	0	554
	ドクターヘリ		0	0	0	1	1	0	2	0	0	17	0	0	0	0	21
			1	0	0	5	1	0	4	0	0	34	0	0	0	0	45

応急手当講習会等の現況

令和元年中における一般住民を対象とした応急手当講習会等の受講者数は，普通救命講習会１４９回2,９５１人，上級救命講習会５回１０８人，普及員講習１回９人，救命入門コース４０回９５４人，応急手当講習会１７５回３，６４８人で，合計７，６７０人でした。

また，普通救命講習，上級救命講習，普及員講習会，救命入門コースの受講者には，それぞれ修了証等を交付しています。

これら講習会の効果もあり，令和元年中では救急隊が傷病者のもとに到着するまでの間，傷病者の近くにいた家族等の一般住民による応急手当が４４０件実施されています。

応急手当普及員講習会

普通救命講習会

応急手当講習会等の開催状況

１．講習会別開催状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

種　　別	開催回数	受講者数	内　　容
普通救命講習会	149回	2,951人	心肺蘇生法（成人）・大出血時の止血等の講習 （講習時間３時間）
上級救命講習会	5回	108人	心肺蘇生法（成人・小児・乳児）・大出血時の止血・傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習 （講習時間８時間）
普及員講習会	1回	9人	事業所・地域団体等の従業員に対して普通救命講習を指導できるための講習 （講習時間２４時間）
救命入門コース	40回	954人	対象者は小学生中高学年以上（概ね10歳以上）とし，カリキュラムは胸骨圧迫とＡＥＤの使用法
応急手当講習会	175回	3,648人	病気・ケガ・事故等の時，医師の治療を受けるまでの簡単な応急手当の講習
合　　計	370回	7,670人	

２．講習会ごと性別及び年代別受講者数

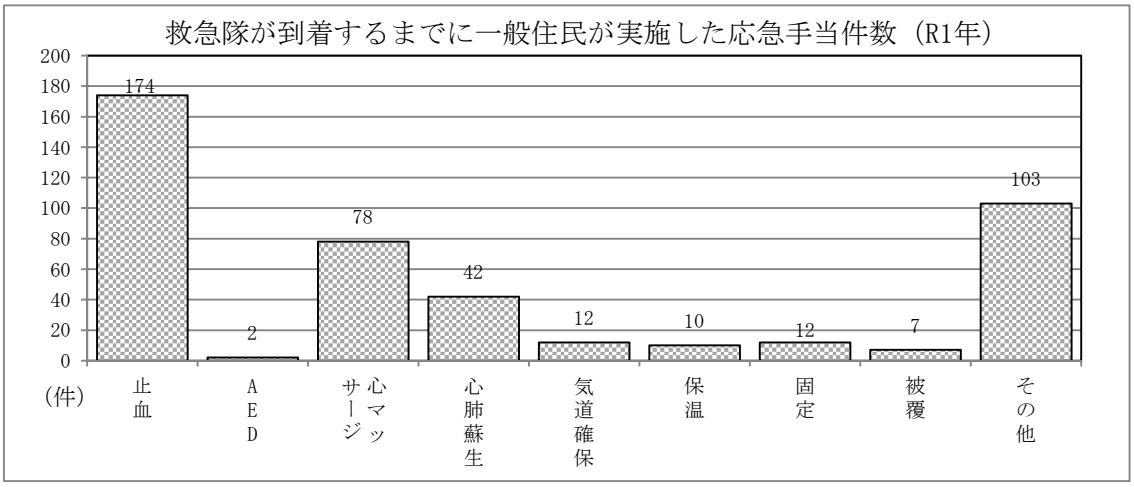
平成31年1月1日～令和元年12月31日

講習種別	年代 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
普通救命講習	男性（人）	664	149	168	219	175	152	59	6	1,592
	女性（人）	547	132	128	150	144	181	70	7	1,359
	合計（人）	1,211	281	296	369	319	333	129	13	2,951
上級救命講習	男性（人）	12	4	0	5	4	2	1	0	28
	女性（人）	52	6	5	4	4	8	1	0	80
	合計（人）	64	10	5	9	8	10	2	0	108
普及員講習	男性（人）	0	1	2	0	1	0	0	0	4
	女性（人）	0	0	0	5	0	0	0	0	5
	合計（人）	0	1	2	5	1	0	0	0	9
救命入門コース	男性（人）	283	29	26	35	51	20	8	0	452
	女性（人）	281	50	54	39	49	19	10	0	502
	合計（人）	564	79	80	74	100	39	18	0	954
合計	男性（人）	959	183	196	259	231	174	68	6	2,076
	女性（人）	880	188	187	198	197	208	81	7	1,946
	合計（人）	1,839	371	383	457	428	382	149	13	4,022

3.講習会ごと年別受講者数

講習種別	年別	回数(回)	性別		合計
			男性（人）	女性（人）	
普通救命講習	平成9年～平成21年	1,627	17,103	18,768	35,871
	平成22年	165	1,728	1,605	3,333
	平成23年	133	1,257	1,026	2,283
	平成24年	152	1,455	1,508	2,963
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
	平成29年	185	1,978	1,632	3,610
	平成30年	150	1,445	1,506	2,951
	令和元年	149	1,592	1,359	2,951
	小　計	3,246	33,281	34,075	67,356
上級救命講習	平成11年～平成21年	63	663	1,394	2,057
	平成22年	7	68	132	200
	平成23年	8	97	82	179
	平成24年	7	54	123	177
	平成25年	5	77	64	141
	平成26年	6	47	100	147
	平成27年	7	56	96	152
	平成28年	8	88	113	201
	平成29年	6	76	92	168
	平成30年	7	47	94	141
	令和元年	5	28	80	108
	小　計	129	1,301	2,370	3,671
普及員講習	平成12年～平成21年	12	129	196	325
	平成22年	2	7	16	23
	平成23年	1	3	3	6
	平成24年	3	8	10	18
	平成25年	1	3	3	6
	平成26年	1	3	6	9
	平成27年	2	17	2	19
	平成28年	1	5	2	7
	平成29年	1	6	2	8
	平成30年	2	2	11	13
	令和元年	1	4	5	9
	小　計	27	187	256	443
救急入門コース	平成24年	1	64	71	135
	平成25年	3	52	66	118
	平成26年	8	120	143	263
	平成27年	6	125	113	238
	平成28年	9	147	170	317
	平成29年	11	206	177	383
	平成30年	9	125	118	243
	令和元年	40	452	502	954
	小　計	87	1,291	1,360	2,651
合　計		3,489	36,060	38,061	74,121

4．講習会等の効果



救助業務の現況

令和元年中における救助出動件数は４３件で前年より５件減少し，過去５年間で最も少ない発生件数となっています。救助人員は３２人で前年より５人減少しました。

事故種別では，交通事故が２６件と出動件数全体の６０．５％を占め，また交通事故による救助人員も１７人と救助人員全体の５３．１％を占めており，いずれも高い割合となっています。

近年の救助事象は，全国的に火災，交通事故等に加え，地震，集中豪雨による洪水や土砂崩れといった自然災害，列車事故など多数の人命を巻き込む集団災害，毒物・劇物による化学災害等，大規模かつ複雑多様化しており，活動は幅広い範囲に及んでいます。

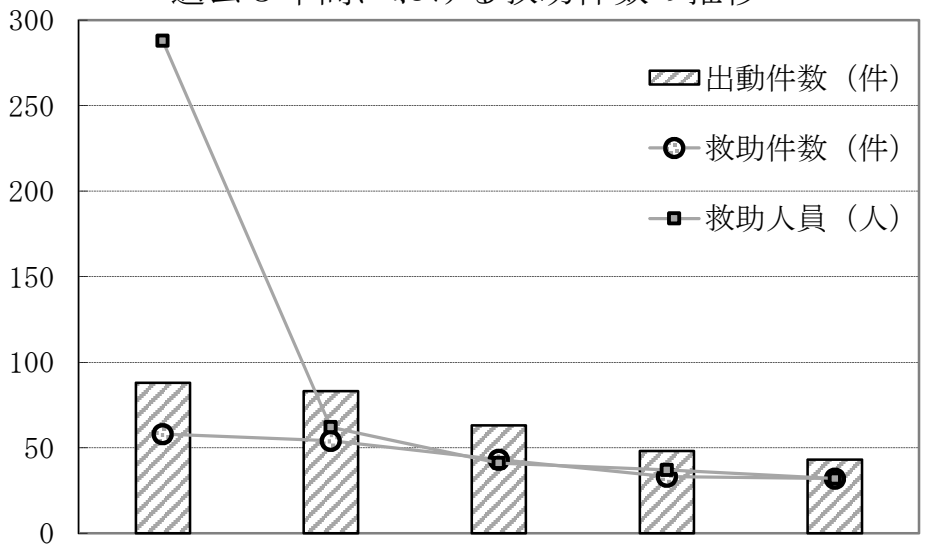
このことからも，高度な知識，技術を習得した専門的な救助隊員を養成し，機動力，資機材等を効率的に活用し，住民に安心・安全を提供できるよう，更なる救助体制の充実強化に努めてまいります。

令和元年 救助活動状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

区分＼事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動件数				26	5			4			8	43
活動件数				17	5			3			7	32
救助人員				17	5			4			6	32
出動人員	専任救助隊員											0
	兼任救助隊員			114	22			15			50	201
	消防隊員			165	36			19			61	281
	救急隊員			96	15			12			24	147
	消防団員				15							15
	計	0	0	375	88	0	0	46	0	0	135	644
出動車両	救助工作車			15	2			1			6	24
	消防ポンプ自動車			41	9			7			14	71
	はしご車										2	2
	化学車			2								2
	指揮・司令車			32	7			4			11	54
	救急自動車			32	5			4			8	49
	船舶											0
	ヘリコプター											0
	その他の車両				1						1	2
	消防団車両											0
	計	0	0	122	24	0	0	16	0	0	42	204
事故発生場所	住居							2				2
	その他の屋内							1				1
	高速自動車国道等											0
	その他の道路			18							1	19
	内水面			1	5						3	9
	外水面											0
	山岳											0
	その他の屋外			7				1			4	12
	地下											0
	その他											0
	計	0	0	26	5	0	0	4	0	0	8	43
搬送別人員	救急自動車			13	1						3	17
	ヘリコプター											0
	その他の車両											0
	消防機関以外											0

過去５年間における救助件数の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出動件数（件）	88	83	63	48	43
救助件数（件）	58	54	43	33	32
救助人員（人）	288	62	41	37	32

消防装備等機械器具保有状況

令和2年4月1日現在

区分	装備名	数量	区分	装備名	数量
一般救助用器具	かぎ付き梯子	6	主な資機材	携帯警報機	9
	バスケットストレッチャ(折り畳み式含む)	5		活線警報機	4
	三連梯子(二連梯子除く)	14		空気充填機	3
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤ梯子	2		オイルフェンス	3
	空気式救助マット(救助幕含む)	0		携帯無線機	51
	救命索発射銃	3		衛星携帯電話	12
	救助用縛帯(訓練用，ヘリ用縛帯を除く)	7	検知・測定器具用	可燃性ガス測定器	7
	平担架	1		有毒ガス測定器	6
	滑車(山岳救助用除く)	27		酸素濃度測定器	7
	サバイバースリング	6		放射線測定器	21
重量物排除器具	油圧ジャッキ	4	高度救助資器材	画像探査機Ⅰ型	2
	油圧スプレッダー(大型,コンビツール含む)	8		画像探査機Ⅱ型	1
	可搬式ウィンチ(チルホール)	9		地中音響探査機	1
	マット型空気圧ジャッキ	2		熱画像直視装置	6
	充電式油圧切断機マルチカッター	2		夜間用暗視装置	2
	充電式油圧切断機スプレッダー	3	呼吸保護器具	空気呼吸器(訓練用を除く)	74
	充電式油圧切断機バー(鉄筋)カッター	1		酸素呼吸器	5
切断用器具	油圧切断機(大型，コンビツール含む)	8		送排風機	3
	エンジンカッター	15	隊員保護器具	耐電手袋(耐電検査合格品のみ)	15
	ガス溶断機	1		耐電衣(耐電検査合格品のみ)	4
	チェンソー(ダイヤモンドその他含む)	19		耐電ズボン(耐電検査合格品のみ)	4
	鉄線カッター	20		耐電長靴(耐電検査合格品のみ)	15
	空気鋸	3		耐熱服(化学車配備署所に限る)	9
破壊用器具	万能斧(レスキューバール含む)	41		放射線防護服(タイベックススーツ除く)	5
	ハンマー	20	水難救助器具	潜水器具一式	5
	削岩機	2		救命胴衣(使用可能なもの)	77
	ハンマードリル(ストライカー含む)	5		水中投光器	5
山岳用	登山器具一式	5		救命浮環	23
	バスケット担架	3		浮標	2
主な資機材	エアーカッター	1		救命ボート(その他アルミボート等含む)	8
	小型動力ポンプ　B－2級(水槽車含む)	3		船外機	5
	小型動力ポンプ　B－3級(水槽車含む)	0	高度救急資器材等	気道確保用資器材一式	13
	フォグガン(クアドラノズル含む)	17		自動体外式除細動器(半自動含)	27
	無反動ノズル	5		ショックパンツ	13
	放水銃	2		輸液用資器材一式	13
	低発泡ノズル	4		心電図電送装置	13
	発動発電機　300W	1		患者監視装置(救急車積載品に限る)	13
	発動発電機　500W～900W	24		室内紫外線除菌装置	3
	発動発電機　1KW(エアーテント用含む)	8		EOG方式滅菌器	0
	エアーテント	7		オートクレープ滅菌器(高圧蒸気)	1
	無人航空機(ドローン)	1		紫外線滅菌ロッカー	3

予　　防

令和二年度　大崎広域防火ポスター

令和元年度防火ポスターコンクール最優秀賞
美里町立不動堂小学校　二年　新田結似　さんの作品

令和２年度　大崎広域防火標語

「火をつけた」セットで確認「火は消した？」

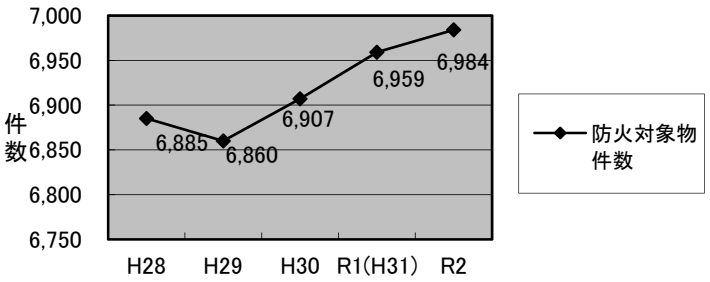
令和元年度防火標語コンクール最優秀賞
古川学園中学校　１年　向井　陸　さんの作品

予防業務の現況

防火対象物数は令和２年３月３１日現在，６，９８４件（前年比２５件増）で，昨年度に引き続き増加となりました。この要因の主なものは，「事業所」や「工場」，また「倉庫」といった建物の増加によるものです。（図１参照）

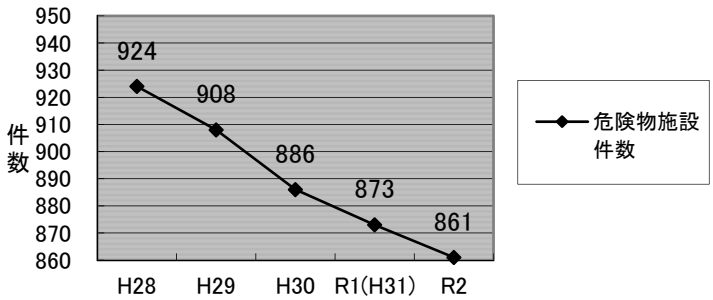
危険物施設数は令和２年３月３１日現在、８６１件（前年比１２件減）で，過去５年の件数は減少傾向にあります。この背景には，施設の老朽化，社会構造の変化による石油製品需要の減少，その他同業者間の価格競争による採算性の悪化などが推測されます。（図２参照）

図1　大崎管内の防火対象物数の推移



R2年3月31日現在

図2　大崎管内の危険物施設数の推移

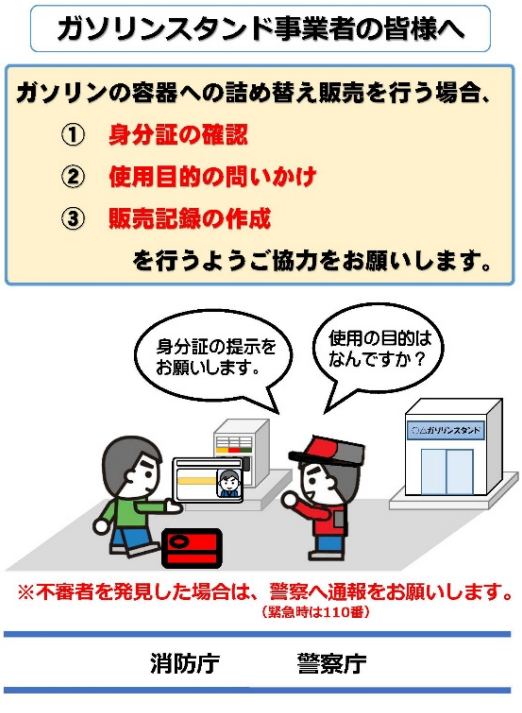


R2年3月31日現在

平成２８年１２月に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災を契機に法令が改正され，令和元年１０月から「小規模飲食店への消火器設置が義務化」されました。これに伴い，管内の小規模飲食店に対し現地指導及びホームページ等による広報活動を行いました。

令和元年７月に発生した京都市伏見区の爆発火災（京都アニメーション火災）を受け，ガソリンを容器に詰め替え販売するときは，「顧客の本人確認」「使用目的の確認」及び「販売記録の作成」を行うことが令和２年２月から義務化されました。不審者を発見した場合の警察への通報を含め，管内の給油取扱所に対し指導を行い，災害の発生防止を図りました。

社会情勢とともに刻々と変化する消防法令に対し，時機を失することなく積極的な指導を行い，管内の火災予防に努めてまいります。



防火対象物数

令和2年3月31日現在

防火対象物区分 ＼ 署別 市町別				古川消防署 大崎市	鳴子消防署 大崎市	小計	加美消防署 加美町	加美消防署 色麻町	小計	遠田消防署 涌谷町	遠田消防署 美里町	小計	合計
1項	イ		劇場・映画館等	9	1	10	5		5	1	3	4	19
	ロ		公会堂・集会場	103	18	121	35	17	52	20	28	48	221
2項	イ		バー・キャバレー等	1		1			0			0	1
	ロ		遊技場 ダンスホール等	16		16	3		3	3	4	7	26
	ハ		性風俗関連特殊営業店舗			0			0			0	0
	ニ		個室利用役務提供店舗	4		4	1		1			0	5
3項	イ		待合・料理店等	2		2			0			0	2
	ロ		飲食店	103	18	121	18	3	21	9	11	20	162
4項			百貨店 マーケット等	248	29	277	42	5	47	23	30	53	377
5項	イ		旅館・ホテル等	34	76	110	11	1	12	1	1	2	124
	ロ		寄宿舎・共同住宅等	1,072	73	1,145	85	25	110	38	97	135	1,390
6項	イ	(1)	特定診療科名を有する等の病院	4	1	5		1	1	1	2	3	9
		(2)	特定診療科名を有する等の診療所	1		1			0			0	1
		(3)	(1)，(2)を除く病院・診療所，助産所（入所）等	17	3	20			0	3		3	23
		(4)	入院・入所施設を有しない診療所・助産所	54	3	57	14		14	5	13	18	89
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	64	10	74	10	3	13	11	26	37	124
		(2)	救護施設			0			0			0	0
		(3)	乳児院			0			0			0	0
		(4)	障害児入所施設			0			0			0	0
		(5)	障害者支援施設等	8		8			0	2	1	3	11
	ハ	(1)	老人デイサービス等	35	4	39	7	2	9	6	5	11	59
		(2)	更生施設			0			0			0	0
		(3)	助産施設等	39	6	45	8	2	10	1	6	7	62
		(4)	児童発達支援センター等	1	1	2	2		2			0	4
		(5)	身体障害者福祉センター等	20	8	28	3	1	4	3	5	8	40
	ニ		幼稚園・特別支援学校	25	1	26	4	2	6	4	7	11	43
7項			小・中・高，大学等	139	24	163	35	13	48	21	53	74	285
8項			図書館・美術館等	6	4	10	5		5	3	1	4	19
9項	イ		蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
	ロ		９項イ以外の公衆浴場	4	5	9	3	2	5	1		1	15
10項			車両の停車場等	1		1			0		2	2	3
11項			神社・寺院・教会等	63	10	73	17	4	21	7	17	24	118
12項	イ		工場・作業場	462	81	543	202	48	250	95	133	228	1,021
	ロ		映画・テレビスタジオ			0			0			0	0
13項	イ		自動車車庫・駐車場	37	27	64	18	8	26	6	7	13	103
	ロ		飛行機等格納庫			0			0			0	0
14項			倉庫	356	77	433	187	38	225	56	121	177	835
15項			前各項に該当しない事業所	620	215	835	193	86	279	96	101	197	1,311
16項	イ		特定用途複合用途防火対象物	202	33	235	29	5	34	21	22	43	312
	ロ		16項イ以外の複合対象物	69	22	91	16	1	17	9	19	28	136
17項			文化財等	4	4	8	4		4	22		22	34
合計				3,823	754	4,577	957	267	1,224	468	715	1,183	6,984

地上５階未満，地上５階以上の防火対象物数

令和2年3月31日現在

署別 区分 / 防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合計		
			地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	合計
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	1		1	5		5	4		4	19	0	19
	ロ	公会堂・集会場	103		103	18		18	52		52	48		48	221	0	221
2項	イ	バー・キャバレー等	1		1			0			0	0		0	1	0	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16			0	3		3	7		7	26	0	26
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			0			0			0	0		0	0	0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	4		4			0	1		1	0		0	5	0	5
3項	イ	待合・料理店等	2		2			0			0	0		0	2	0	2
	ロ	飲食店	103		103	18		18	21		21	20		20	162	0	162
4項		百貨店 マーケット等	248		248	29		29	47		47	53		53	377	0	377
5項	イ	旅館・ホテル等	28	6	34	64	12	76	12		12	2		2	106	18	124
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,036	36	1,072	69	4	73	108	2	110	131	4	135	1,344	46	1,390
6項	イ	(1)	特定診療科名を有する等の病院	2	2	4	1		1	1		1	3		3	7	2	9
		(2)	特定診療科名を有する等の診療所	1		1			0			0	0		0	1	0	1
		(3)	(1)，(2)を除く病院・診療所，助産所（入所）等	14	3	17	3		3			0	3		3	20	3	23
		(4)	入院・入所施設を有しない診療所・助産所	54		54	3		3	14		14	18		18	89	0	89
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	62	2	64	10		10	13		13	37		37	122	2	124
		(2)	救護施設			0			0			0	0		0	0	0	0
		(3)	乳児院			0			0			0	0		0	0	0	0
		(4)	障害児入所施設			0			0			0	0		0	0	0	0
		(5)	障害者支援施設等	8		8			0			0	3		3	11	0	11
	ハ	(1)	老人デイサービス等	35		35	4		4	9		9	11		11	59	0	59
		(2)	更生施設			0			0			0	0		0	0	0	0
		(3)	助産施設等	39		39	6		6	10		10	7		7	62	0	62
		(4)	児童発達支援センター等	1		1	1		1	2		2	0		0	4	0	4
		(5)	身体障害者福祉センター等	20		20	8		8	4		4	8		8	40	0	40
	ニ		幼稚園・特別支援学校	25		25	1		1	6		6	11		11	43	0	43
7項			小・中・高，大学等	138	1	139	24		24	48		48	74		74	284	1	285
8項			図書館・美術館等	6		6	4		4	5		5	4		4	19	0	19
9項	イ		蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0		0	0	0	0
	ロ		９項イ以外の公衆浴場	4		4	5		5	5		5	1		1	15	0	15
10項			車両の停車場等	1		1			0			0	2		2	3	0	3
11項			神社・寺院・教会等	63		63	10		10	21		21	24		24	118	0	118
12項	イ		工場・作業場	462		462	81		81	250		250	226	2	228	1,019	2	1,021
	ロ		映画・テレビスタジオ			0			0			0	0		0	0	0	0
13項	イ		自動車車庫・駐車場	36	1	37	27		27	26		26	13		13	102	1	103
	ロ		飛行機等格納庫			0			0			0	0		0	0	0	0
14項			倉庫	355	1	356	77		77	225		225	177		177	834	1	835
15項			前各項に該当しない事業所	607	13	620	215		215	279		279	196	1	197	1,297	14	1,311
16項	イ		特定用途複合用途防火対象物	196	6	202	33		33	34		34	43		43	306	6	312
	ロ		16項イ以外の複合対象物	63	6	69	22		22	17		17	27	1	28	129	7	136
17項			文化財等	4		4	4		4	4		4	22		22	34	0	34
合計				3,746	77	3,823	738	16	754	1,222	2	1,224	1,175	8	1,183	6,881	103	6,984

※地上５階未満は，地下のみを含む。

防火対象物における防火管理の状況

令和2年3月31日現在

防火対象物区分 ＼ 署別区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合計		
			法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数
1項	イ	劇場・映画館等	10	10	10				4	4	4	4	4	4	18	18	18
	ロ	公会堂・集会場	134	131	131	18	16	16	53	48	48	51	51	51	256	246	246
2項	イ	バー・キャバレー等	1	1	1										1	1	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14	14	14				3	3	3	7	7	7	24	24	24
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗													0	0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	4	4	4				1	1	1				5	5	5
3項	イ	待合・料理店等	2	2	2										2	2	2
	ロ	飲食店	106	84	84	13	12	12	18	18	18	20	20	20	157	134	134
4項		百貨店 マーケット等	186	165	165	25	25	24	37	36	36	48	47	47	296	273	272
5項	イ	旅館・ホテル等	19	19	18	55	55	54	4	4	4	2	1	1	80	79	77
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	43	40	40	2	2	2	7	7	7	11	11	11	63	60	60
6項	イ	(1)	特定診療科名を有する等の病院	4	4	4							3	3	3	7	7	7
		(2)	特定診療科名を有する等の診療所	1	1	1										1	1	1
		(3)	(1)，(2)を除く病院・診療所，助産所（入所）等	15	15	15	1	1	1				2	2	2	18	18	18
		(4)	入院・入所施設を有しない診療所・助産所	17	16	16				3	3	3	4	4	4	24	23	23
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	54	53	53	8	8	8	9	9	9	32	32	32	103	102	102
		(2)	救護施設													0	0	0
		(3)	乳児院													0	0	0
		(4)	障害児入所施設													0	0	0
		(5)	障害者支援施設等										2	2	2	2	2	2
	ハ	(1)	老人デイサービス等	13	13	13	1	1	1	6	6	6	5	5	5	25	25	25
		(2)	更生施設													0	0	0
		(3)	助産施設等	34	34	34	5	5	5	7	7	7	5	5	5	51	51	51
		(4)	児童発達支援センター等	1	1	1										1	1	1
		(5)	身体障害者福祉センター等	8	8	8	3	3	3	2	2	2	3	3	3	16	16	16
	ニ		幼稚園・特別支援学校	13	13	13	1	1	1	5	5	5	7	7	7	26	26	26
7項			小・中・高，大学等	42	42	42	7	7	7	14	14	14	16	16	16	79	79	79
8項			図書館・美術館等	4	4	4	4	4	4	5	5	5	3	3	3	16	16	16
9項	イ		蒸気浴場 熱気浴場等													0	0	0
	ロ		９項イ以外の公衆浴場	2	2	2	3	3	3	1	1	1	1	1	1	7	7	7
10項			車両の停車場等													0	0	0
11項			神社・寺院・教会等	35	31	30	7	7	7	12	12	12	18	17	17	72	67	66
12項	イ		工場・作業場	41	41	41	3	3	3	17	17	17	12	12	12	73	73	73
	ロ		映画・テレビスタジオ													0	0	0
13項	イ		自動車車庫・駐車場													0	0	0
	ロ		飛行機等格納庫													0	0	0
14項			倉庫	2	1	1	12	12	12				2	2	2	16	15	15
15項			前各項に該当しない事業所	110	104	104	31	31	31	31	31	31	30	29	29	202	195	195
16項	イ		特定用途複合用途防火対象物	157	131	131	2	2	2	32	32	32	31	31	31	222	196	196
	ロ		16項イ以外の複合対象物	8	6	6				2	2	2				10	8	8
17項			文化財等	1	1	1										1	1	1
合計				1,081	991	989	201	198	196	273	267	267	319	315	315	1,874	1,771	1,767
届出比率%					1	1		1	1		1	1		1	1		1	1

定期点検報告制度該当防火対象物数

令和2年3月31日現在

防火対象物区分 ＼ 署別 市町別				古川消防署	鳴子消防署		加美消防署			遠田消防署			合計
				大崎市		小計	加美町	色麻町	小計	涌谷町	美里町	小計	
1項	イ		劇場・映画館等	9		9	4		4	1	3	4	17
	ロ		公会堂・集会場	44	8	52	13	1	14	8	14	22	88
2項	イ		バー・キャバレー等			0			0			0	0
	ロ		遊技場 ダンスホール等	13		13	3	0	3	2	2	4	20
	ハ		性風俗関連特殊営業店舗			0	0	0	0			0	0
	ニ		個室利用役務提供店舗	1		1	0	0	0			0	1
3項	イ		待合・料理店等			0	0	0	0			0	0
	ロ		飲食店	3	1	4	0	0	0			0	4
4項			百貨店 マーケット等	42	4	46	4	0	4	5	6	11	61
5項	イ		旅館・ホテル等	3	12	15	1	0	1			0	16
6項	イ	(1)	特定診療科名を有する等の病院	2		2		1	1			0	3
		(2)	特定診療科名を有する等の診療所			0			0			0	0
		(3)	(1)，(2)を除く病院・診療所，助産所（入所）等	6		6			0			0	6
		(4)	入院・入所施設を有しない診療所・助産所	1		1			0			0	1
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	2		2			0			0	2
		(2)	救護施設			0			0			0	0
		(3)	乳児院			0			0			0	0
		(4)	障害児入所施設		0	0			0			0	0
		(5)	障害者支援施設等			0			0			0	0
	ハ		老人デイサービス等			0	1	1	2			0	2
	ニ		幼稚園・盲ろう学校			0			0			0	0
9項	イ		蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
16項	イ		特定用途複合用途防火対象物	24	8	32	8	2	10	3	3	6	48
合計				150	33	183	34	5	39	19	28	47	269

消防同意事務処理状況

令和元年度

種別 ＼ 署別 市町別	古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
	大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
新築	113	19	132	38	12	50	6	25	31	213
増築	51		51	4	1	5	7	15	22	78
改築			0			0			0	0
移転			0			0			0	0
修繕			0	2		2	1		1	3
模様替			0			0			0	0
用途変更	2	2	4			0		2	2	6
その他	2		2			0			0	2
合計	168	21	189	44	13	57	14	42	56	302
消防設備設置指導を行った	56	10	66	16	6	22	6	16	22	110

危険物施設状況

令和2年3月31日現在

施設区分＼署別		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合　計
危険物施設数（完成施設）	製造所	2	1	0	0	3
	屋内貯蔵所	50	13	12	18	93
	屋外タンク貯蔵所	30	8	14	21	73
	屋内タンク貯蔵所	2	0	3	1	6
	地下タンク貯蔵所	116	45	50	28	239
	簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0	0
	移動タンク貯蔵所	54	16	52	43	165
	屋外貯蔵所	3	1	3	5	12
	給油取扱所	56	18	32	23	129
	販売取扱所	0	0	0	0	0
	一般取扱所	71	19	31	20	141
	移送取扱所	0	0	0	0	0
合　計		384	121	197	159	861
数量別施設数	５倍以下	180	62	108	80	430
	５倍を超え１０倍以下	81	24	29	25	159
	１０倍を超え５０倍以下	64	17	36	32	149
	５０倍を超え１００倍以下	26	7	12	4	49
	１００倍を超え１５０倍以下	10	4	3	4	21
	１５０倍を超え２００倍以下	8	4	6	7	25
	２００倍を超えるもの	15	3	3	7	28
合　計		384	121	197	159	861

危険物関係事務処理状況

令和元年度

署別 許可区分 / 施設区分	古川消防署					鳴子消防署					加美消防署					遠田消防署					合計				
	許可		完成		仮使用承認	許可		完成		仮使用承認	許可		完成		仮使用承認	許可		完成		仮使用承認	許可		完成		仮使用承認
	設置	変更	設置	変更		設置	変更	設置	変更		設置	変更	設置	変更		設置	変更	設置	変更		設置	変更	設置	変更	
製造所		1		1	1																0	1	0	1	1
屋内貯蔵所		1		2							1		1								1	1	1	2	0
屋外タンク貯蔵所	1	1	1	1																	1	1	1	1	0
屋内タンク貯蔵所																					0	0	0	0	0
地下タンク貯蔵所		2		1			1					1		1							0	4	0	2	0
簡易タンク貯蔵所																					0	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	3	1	3	1		1		1			1		1			1		1			6	1	6	1	0
屋外貯蔵所											1		1								1	0	1	0	0
給油取扱所		9		8	7		4		2	3	1	2	1	2	1		5		4	3	1	20	1	16	14
一般取扱所		3		4	2		4		4			1		1							0	8	0	9	2
合計	4	18	4	18	10	1	9	1	6	3	4	4	4	4	1	1	5	1	4	3	10	36	10	32	17

危険物関係申請状況

令和元年度

区分 / 署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
タンクの水張，水圧検査（政令）		1	2		3
タンクの水張，水圧検査（条例）					0
仮貯蔵					0
仮取扱			3		3

圧縮アセチレンガス等の届出状況

令和元年度

区分 / 署別		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
圧縮アセチレンガス等	圧縮アセチレンガス	3			7	10
	無水硫酸				1	1
	液化石油ガス	776	130	176	194	1,276
	生石灰	8		2	6	16
	毒物	5			2	7
	劇物	38			2	40
指定可燃物等	可燃性固体類	1		1	1	3
	石炭・木炭類					0
	可燃性液体類	13		2	3	18
	合成樹脂類	61	2	17	25	105
	再生資源燃料	4	0	0	0	4
	その他	45	22	24	17	108
	指定可燃物に類する物品	11	0	0	0	11
少量危険物		871	287	320	348	1,826
	移動タンク	40	18	17	17	92

予防査察実施状況

【防火対象物】　　令和元年度

防火対象物区分 ＼ 署別			古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
1項	イ	劇場・映画館等	11	1	4	1	17
	ロ	公会堂・集会場	71	11	34	16	132
2項	イ	バー・キャバレー等					0
	ロ	遊技場・ダンスホール等	11		5	1	17
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0
	ニ	個室利用役務提供店舗	1		1		2
3項	イ	待合・料理店等	2				2
	ロ	飲食店	29	9	4	3	45
4項		百貨店・マーケット等	126	28	32	26	212
5項	イ	旅館・ホテル等	46	84	33	3	166
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	38	19	21	3	81
6項	イ	病院・診療所	16	6	1	3	26
	ロ	老人短期入所施設等	65	8	13	41	127
	ハ	老人デイサービス等	31	9	14	12	66
	ニ	幼稚園・盲ろう学校	7		5	1	13
7項		小・中・高等・大学等	13	16	28		57
8項		図書館・美術館等	3	2	3		8
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					0
	ロ	９項イ以外の公衆浴場	5	4	5		14
10項		車両の停車場等	0			1	1
11項		神社・寺院・教会等	19	4	9	10	42
12項	イ	工場・作業場	88	32	76	22	218
	ロ	映画・テレビスタジオ					0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	6	8	7		21
	ロ	飛行機等格納庫					0
14項		倉庫	83	23	75	16	197
15項		前各項に該当しない事業所	152	77	118	13	360
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	60	26	24	9	119
	ロ	16項イ以外の複合対象物	5	7	1	1	14
17項		文化財等	4	4	8	22	38
実施件数合計			892	378	521	204	1,995

【危険物施設】

危険物施設区分 ＼ 署別		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
		実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
製造所		1	1			2
取扱所	給油取扱所	40	37	22	37	136
	一般取扱所	32	20	17	5	74
貯蔵所	屋内貯蔵所	11	10	7	6	34
	屋外貯蔵所	1		1	3	5
	屋内タンク貯蔵所	1			1	2
	屋外タンク貯蔵所	10	3	6	3	22
	地下タンク貯蔵所	35	22	24	7	88
	簡易タンク貯蔵所					0
	移動タンク貯蔵所	51	17	44	39	151
実施件数合計		182	110	121	101	514

査察実施件数は，平成31年4月1日から令和2年3月31日までのもの。

液化石油ガス関係事務処理状況

令和元年度

区分＼署別		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
液化石油ガス設備工事	設備工事届	7	2	2	1	12
特定液化石油ガス設備工事事業	事業開始届		1			1
	事業変更届	4				4
	事業廃止届	1	1	1	0	3
立入検査		1		2		3

火薬類取締関係事務処理状況

令和元年度

区分＼署別			古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
許可	譲渡許可						0
	譲受許可		1	2	6		9
	営業許可						0
	設置・移転許可						0
	消費許可	煙火	7		1	2	10
		その他		2	6		8
火薬庫保安検査			1	1			2
火薬庫外貯蔵所指示			1			1	2
立入検査	販売業者		2	2		1	5
	火薬庫		1	1			2
	消費業者		14		6	4	24
	その他		1	1		3	5

民間防火組織の結成状況

令和2年4月1日現在

組織区分 / 市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大　崎　市	30	737			104	17,584
色　麻　町					25	1,803
加　美　町	5	116			73	3,386
涌　谷　町	5	301	1	76	48	3,746
美　里　町	1	62			9	7,625
合　　計	41	1,216	1	76	259	34,144

《幼少年消防クラブについて》

幼少年消防クラブは，活動を通じて規律正しく明るく元気な子供を育成することを目的とし，消防署の見学や玩具煙火の正しい遊び方等を学んでもらい，幼年期に防火意識を身に着けてもらえるよう育成指導に努めています。

防災カルタ（加美消防署）

火の用心コンサート（古川消防署）

《大崎地域婦人防火クラブ連合会について》事務局：大崎消防本部予防課内

昭和56年に「我が家と地域から火災を無くそう」を合言葉に，大崎地域の婦人防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り，火災予防思想の普及に寄与することを目的として結成されました。

令和元年8月1日，大崎婦人防火クラブ大会がパレットおおさきで開催され，優良クラブ表彰（団体）大崎市婦人防火クラブ連合会三本木支部（伊賀地区）及びクラブ指導者表彰12名の表彰を行いました。また，『原点回帰～「防災」を考える～』をテーマに東北学院大学地域共生推進機構特任准教授，菊池広人先生を講師にお迎えし，「防災」ってなんだろう？あらためて考える「地域防災」と「助け合い」と題して講演会が行われました。

通　信　指　令

◎ １１９番通報のポイント ◎

★ あわてず，落ち着いて話してください！

1．火事？それとも救急？
2．あなたの居る場所・緊急車が必要な住所
3．誰が，どこで，どうしたのか？
4．あなたの名前，電話番号

高機能消防指令センターの概要

平成３１年４月１日から新消防庁舎の運用が開始されました。

高機能消防指令センターでは，これまでの通信指令システムに加え，新たに聴覚障がい及び発語障がいのある方がスマートフォン等から通報できる「Net１１９緊急通報システム」を導入，また，外国人からの１１９番通報に対応するため，電話通訳センターを介して主要な言語で災害対応が行えるようになりました。

このように，災害通報受付体制を充実強化し，正確・迅速かつ効率的な災害対応を行うとともに，関係機関への情報提供等一連の業務を行っています。

〈１１９番受付の一連の業務〉

（１）災害受付

災害通報には,携帯電話や有線電話からの１１９番通報，消防署所への駆けつけ通報等があります。

１１９番通報時に，通報者の位置情報が表示される位置情報システムを活用することで，短時間で発生現場の特定を可能にしています。

（２）出動指令

消防車や救急車の位置をGPSにより管理し，コンピュータにより部隊編成し，有線や無線で出動指令を出します。

（３）情報収集・支援情報提供

気象情報や，事前に収集してある消防水利，大規模建物，危険物等の情報を災害現場に支援情報として提供します。

（４）関係機関への連絡

警察，ガス会社，電力会社等の関係機関には,災害情報を専用回線で連絡しています。

また，国や県には災害規模により，衛星通信，無線，有線により連絡します。

（５）住民への情報提供

テレドーム（0180-992-500）により災害指令と同時に情報提供しています。

通信指令システム運用の流れ

火 災 ・ 救 急

⇩

受　付

⇩

災害現場の決定

⇩

出動隊の編成

⇩

出 動 指 令

⇩

出　動

⇩

災 害 現 場

119番通報

消防本部警防課
通信指令センター
指　令　台
指　揮　台

情 報 表 示 盤
- 多目的情報表示
- 車両運用表示
- 気象表示
- 震度表示
- 支援情報表示

自動出動指定装置

地図検索表示装置

支援情報表示装置

音声合成装置

指令電送装置

順次指令装置

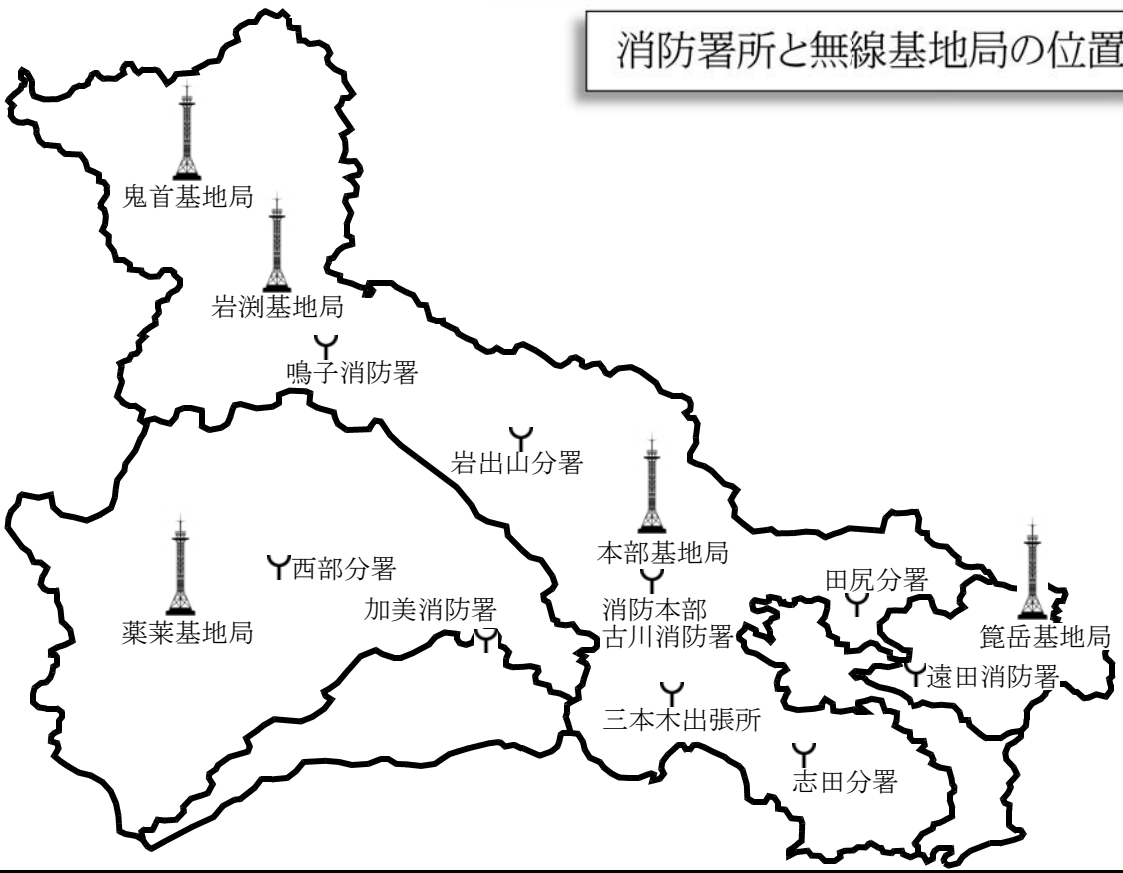
署所端末装置

災害情報

テレドーム

車両端末装置
（ナビ付ＡＶＭ装置）

消防署所と無線基地局の位置



通 信 指 令 シ ス テ ム 機 器 一 覧

令和2年4月1日現在

項目	内訳 数量	単位
1 指令装置	1	式
（1） 指令台	2	台
（2） 自動出動指定装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
（3） 地図検索装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
（4） 支援情報表示装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
（5） 長時間録音装置	1	台
（6） 非常用指令装置	1	台
（7） 指令制御装置	1	台
（8） プリンタ	1	台
（9） カラープリンタ	1	台
（１０） スキャナ	1	台
（１１） データメンテナンス装置	1	台
（１２） 署所端末装置	9	台
（１３） バックアップ受令機	8	台
2 指揮台	1	式
3 表示盤	1	式
（1） 車両運用表示盤	3	面
（2） 支援情報表示盤	1	面
（3） 多目的情報表示盤	1	面
4 無線統制台	1	式

項目	内訳 数量	単位
5 指令電送装置	1	式
（1） 指令情報送信装置	1	台
（2） 指令情報出力装置	9	台
6 気象情報収集装置	1	式
7 災害状況等自動案内装置	1	式
8 順次指令装置	1	式
9 音声合成装置	1	式
10 出動車両運用管理装置	1	式
（1） 管理装置	1	台
（2） 車両運用端末装置	53	台
（3） 車外設定端末装置	45	台
11 システム監視装置	1	式
12 電源設備	1	式
（1） 無停電電源装置	9	台
（2） 直流電源装置	1	台
（3） 非常用発動発電機	1	台
13 統合型位置情報通知装置	1	式
14 防災無線連動集中制御装置	1	式
15 １１９ＦＡＸ受信装置	1	台
16 監視カメラ装置	1	式
（1） 監視カメラ	3	台
（2） 監視映像受信装置	1	面
17 デジタル無線受令機	25	台
18 Ｎｅｔ１１９受信装置	1	台

１１９番等受付状況（災害）

平成31年1月1日～令和元年12月31日

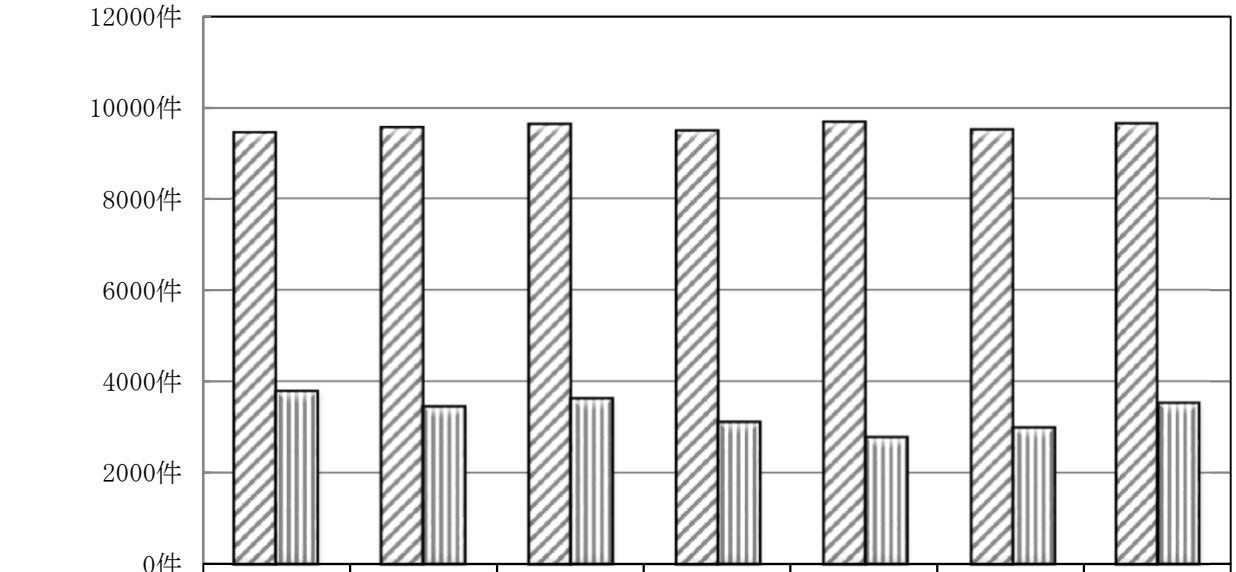
月別	受付種別	火災	救急	救助	その他	合計
1月	１１９番	3	593	1	11	608
	携帯１１９	1	275		8	284
	加入電話	1	26	1	2	30
	その他	1	3		4	8
	小計	6	897	2	25	930
2月	１１９番	4	487	2	17	510
	携帯１１９	4	209		10	223
	加入電話		12		7	19
	その他		5		4	9
	小計	8	713	2	38	761
3月	１１９番	4	522	5	6	537
	携帯１１９	4	220		6	230
	加入電話		13		7	20
	その他	2	7		4	13
	小計	10	762	5	23	800
4月	１１９番	2	446	2	8	458
	携帯１１９	2	230	1	6	239
	加入電話	1	20	3	7	31
	その他	2	8		5	15
	小計	7	704	6	26	743
5月	１１９番	2	414		2	418
	携帯１１９	1	238	2	10	251
	加入電話		21	4	11	36
	その他	1	8		5	14
	小計	4	681	6	28	719
6月	１１９番	1	429		4	434
	携帯１１９		230	1	7	238
	加入電話		21	1	4	26
	その他		4		5	9
	小計	1	684	2	20	707
7月	１１９番	1	488		5	494
	携帯１１９	2	260	1	11	274
	加入電話		14	5	4	23
	その他		13		2	15
	小計	3	775	6	22	806
8月	１１９番	2	599	1	4	606
	携帯１１９	3	364	3	7	377
	加入電話		36	1	7	44
	その他	1	17		7	25
	小計	6	1,016	5	25	1,052
9月	１１９番	1	388	1	8	398
	携帯１１９		249	1	8	258
	加入電話	1	20	2	6	29
	その他		8		2	10
	小計	2	665	4	24	695
10月	１１９番		474		7	481
	携帯１１９	2	269		12	283
	加入電話		19		23	42
	その他		16		16	32
	小計	2	778		58	838
11月	１１９番		465		6	471
	携帯１１９		252	1	9	262
	加入電話		23		7	30
	その他		6	1	1	8
	小計		746	2	23	771
12月	１１９番	1	499	2	8	510
	携帯１１９	1	267		9	277
	加入電話		13	1	4	18
	その他		6		3	9
	小計	2	785	3	24	814
合計	１１９番	21	5,804	14	86	5,925
	携帯１１９	20	3,063	10	103	3,196
	加入電話	3	238	18	89	348
	その他	7	101	1	58	167
	小計	51	9,206	43	336	9,636

１１９番等受付状況　（災害以外）

平成31年1月1日～令和元年12月31日

月別	受付種別	いたずら	問合せ	間違い	訓練	試験	重複 その他	合計
1月	１１９番	4	53	27	8	3	17	112
	携帯１１９	2	68	29		2	24	125
	加入電話							
	その他							
	小計	6	121	56	8	5	41	237
2月	１１９番	2	43	24	16	9	8	102
	携帯１１９	1	57	19			30	107
	加入電話							
	その他							
	小計	3	100	43	16	9	38	209
3月	１１９番	2	44	28	36	97	15	222
	携帯１１９	6	67	37		51	32	193
	加入電話							
	その他		13	4		1	2	20
	小計	8	124	69	36	149	49	435
4月	１１９番	1	59	24	19	23	1	127
	携帯１１９		82	24	2	3	15	126
	加入電話							
	その他	1	16	3		6		26
	小計	2	157	51	21	32	16	279
5月	１１９番	2	63	18	36	11	11	141
	携帯１１９	1	87	19		2	14	123
	加入電話		1					1
	その他	1	14	1				16
	小計	4	165	38	36	13	25	281
6月	１１９番		34	26	67	11	13	151
	携帯１１９		78	37	2	6	20	143
	加入電話							
	その他		11				1	12
	小計		123	63	69	17	34	306
7月	１１９番	1	38	30	29	6	5	109
	携帯１１９	1	98	27	1	3	23	153
	加入電話							
	その他	2	11	3			1	17
	小計	4	147	60	30	9	29	279
8月	１１９番	1	49	26	15	7	10	108
	携帯１１９	2	118	46		12	18	196
	加入電話			1				1
	その他		9	2				11
	小計	3	176	75	15	19	28	316
9月	１１９番	2	36	22	38	5	5	108
	携帯１１９	1	67	38	1	2	26	135
	加入電話							
	その他		8	1				9
	小計	3	111	61	39	7	31	252
10月	１１９番	2	66	22	60	10	3	163
	携帯１１９	2	121	35	2	3	12	175
	加入電話			1				1
	その他	1	12	3				16
	小計	5	199	61	62	13	15	355
11月	１１９番	1	46	22	73	2	2	146
	携帯１１９		82	25	2	2	16	127
	加入電話		1					1
	その他		3	2				5
	小計	1	132	49	75	4	18	279
12月	１１９番		50	22	36	1	15	124
	携帯１１９	1	96	46	1		16	160
	加入電話		1					1
	その他		7	2				9
	小計	1	154	70	37	1	31	294
合計	１１９番	18	581	291	433	185	105	1,613
	携帯１１９	17	1,021	382	11	86	246	1,763
	加入電話		3	2				5
	その他	5	104	21		7	4	141
	小計	40	1,709	696	444	278	355	3,522

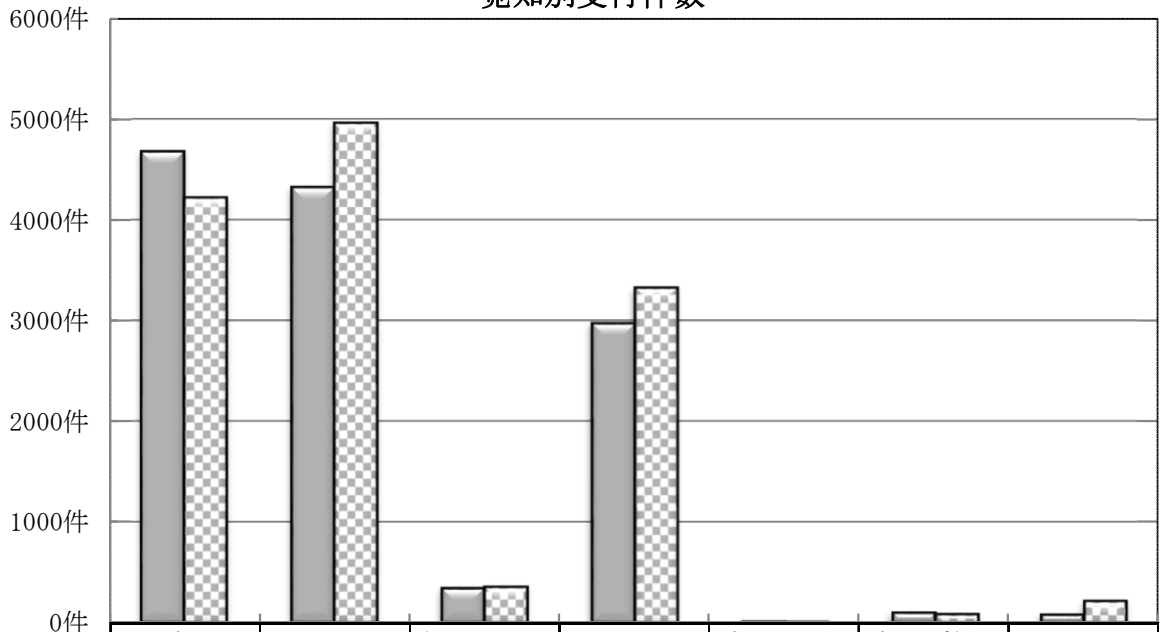
１１９番等受付件数



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
災害　A	9,446	9,554	9,625	9,484	9,672	9,507	9,636
災害以外B	3,786	3,448	3,625	3,107	2,778	2,991	3,522

・災害とは「火災」「救急」「救助」「その他災害」をいう。
・災害以外とは「いたずら」「問合せ」「間違い」「訓練」「試験」「重複・その他」をいう。

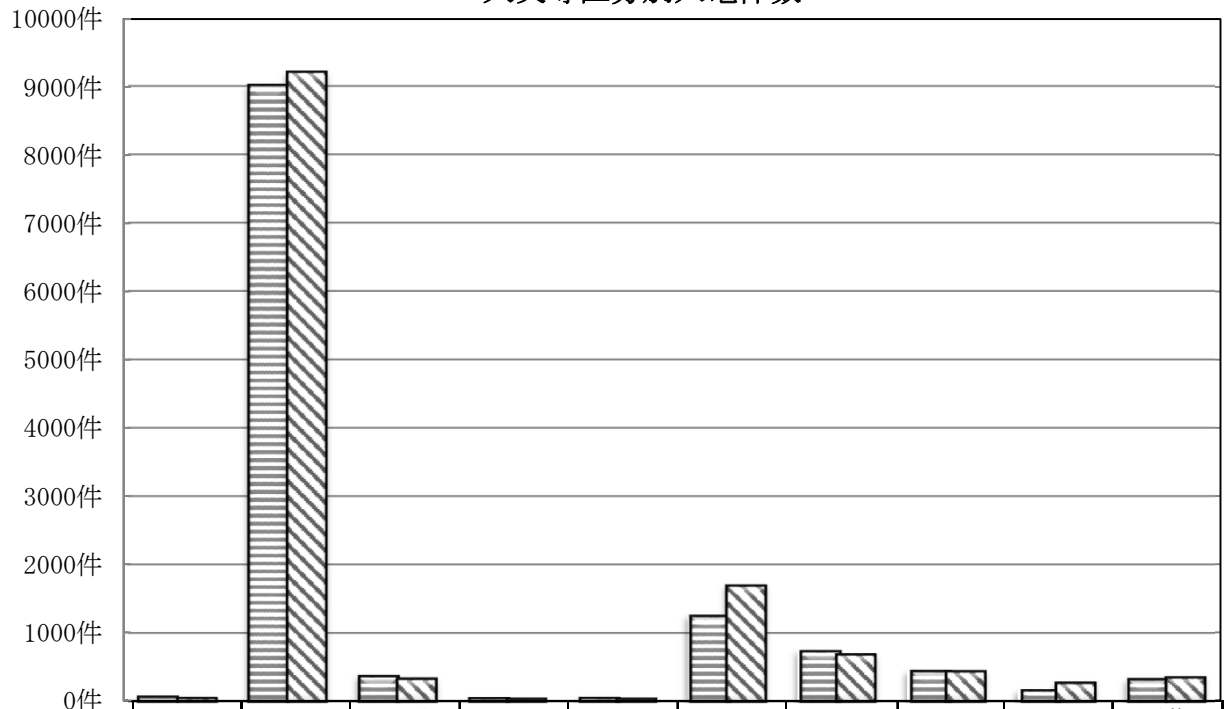
覚知別受付件数



	固定119	携帯119	加入電話	※IP電話	事後聞知	自己覚知	その他
平成30年	4,674	4,323	343	2,976	7	98	77
令和元年	4,217	4,959	353	3,321	7	85	216

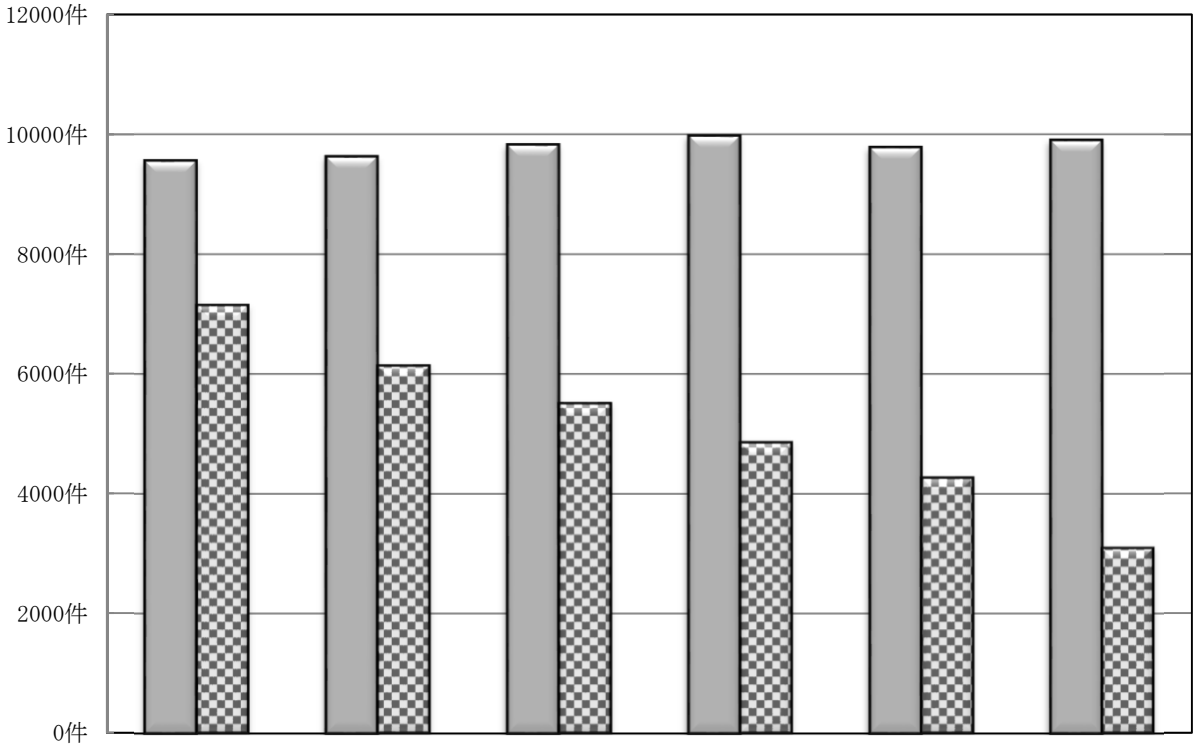
※IP電話とは「NTTひかり」「KDDI」「SoftBank」のインターネットプロトコル通信電話サービスをいう。

火災等区分別入電件数



	火災	救急	その他災害	救助	いたずら	問合せ	間違い	通報訓練	試験	重複その他
平成30年	70	9,016	373	48	52	1,260	739	448	163	326
令和元年	51	9,206	336	43	40	1,709	696	444	278	355

テレドーム利用件数



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
災害件数	9,554	9,625	9,820	9,973	9,779	9,900
総利用件数	7,143	6,135	5,508	4,855	4,267	3,099

・テレドームとは，救急出動を除く火災，救助，その他災害の発生状況を音声案内で情報提供するものをいう。

月 別 気 象 状 況（令 和 元 年）

（消防本部観測記録）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 平均
温度	最高 (℃)	9.1	15.4	19.1	22.6	34.3	29.4	35.0	37.1	32.3	29.3	18.9	14.5	24.8
	最低 (℃)	-5.2	-4.6	-2.8	-1.4	4.9	10.9	14.5	18.9	11.6	4.8	-3.3	-3.6	3.7
	平均 (℃)	0.9	2.1	5.4	9.1	17.0	18.8	22.3	25.8	21.4	15.8	8.4	3.5	12.5
湿度	最低 (%)	45.2	37.5	30.8	25.5	25.2	40.0	61.9	50.2	35.5	52.2	48.3	56.1	42.4
	平均 (%)	91.7	83.2	81.3	81.4	78.0	92.7	95.2	93.6	91.5	92.8	87.4	91.5	88.4
風速	日最高平均 (m/s)	13.4	16.1	19.0	16.8	15.4	13.8	10.2	10.4	11.9	17.1	16.5	15.9	14.7
	瞬間最大 (m/s)	25.8	29.2	29.7	26.6	23.2	22.0	15.3	20.4	17.9	28.9	25.7	28.2	24.4
	平均 (m/s)	3.4	3.5	3.7	3.8	3.4	2.7	2.4	2.5	2.5	3.1	3.6	3.2	3.2
降水量	1日最大 (mm)	2.0	3.5	24.0	11.5	27.0	22.0	27.5	22.0	29.0	163.5	6.5	11.0	29.1
	積算 (mm)	6.5	13.5	61.0	59.0	83.0	142.5	83.5	83.5	73.0	357.5	10.0	22.0	82.9
天候観測 昼観測 (日数)	晴日 (快晴含)	11	10	13	14	26	13	7	17	19	17	17	17	181
	曇日	16	15	13	10	4	11	22	11	7	9	11	12	141
	雨日	0	2	3	5	1	6	2	3	4	5	2	2	35
	雪日	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
地震観測	回数	3	5	10	5	3	5	3	8	0	0	3	6	51
	最大震度	2	1	2	2	2	4	2	4	0	0	2	2	-
備　考 年記録	温度	最高　37.1℃　(8月)												
		最低　-5.2℃　(1月)												
	風速	最大瞬間風速　29.7m/s　(3月)												
	降水量	一日最大　163.5　mm　(10月)												
	地震観測	最大震度　4　(6月18日・8月4日)												

■天候観測は，0時から24時の気象概況

管内の消防団

令和元年度　色麻町消防団消防演習

於：色麻町屋外運動場

大崎管内の消防団構成

令和2年4月1日現在

市町名	定　数	実　数	階級別実数								所有車両数	
			団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	副班長	団　員		
大崎市	2,430	2,223 (14)	1	22	56	72	140	287	0	1,645 (14)	ポンプ車 小型ポンプ積載車 小型ポンプ その他	10 141 63 0
色麻町	210	198 (10)	1	1	4	4	0	20 (1)	0	168 (9)	ポンプ車 小型ポンプ積載車 小型ポンプ その他	0 18 0 0
加美町	640	582 (1)	1	3	7	7	20	66	0	478 (1)	ポンプ車 小型ポンプ積載車 小型ポンプ その他	2 62 0 0
涌谷町	300	266 (8)	1	2	7	7	9	21	8	211 (8)	ポンプ車 小型ポンプ積載車 小型ポンプ その他	1 17 0 0
美里町	500	457 (6)	1	2	10	14	13 (1)	32 (1)	29	356 (4)	ポンプ車 小型ポンプ積載車 小型ポンプ その他	2 27 0 1
合　計	4,080	3,726 (39)	5	30	84	104	182 (1)	426 (2)	37	2,858 (36)	ポンプ車 小型ポンプ積載車 小型ポンプ その他	15 265 63 1

※大崎市消防団については，副団長のうち７名が支団長を兼ねる。
※（　）内は女性消防団員の数

大崎消防本部

【大崎消防本部キャッチフレーズ】

大崎消防では，「安全・安心」の提供において，
愛（いつく）しむ心と愛（め）でる思いをつないで災害等から
圏域住民を守っていくことを表現しております。

【令和2年4月制定】

令和２年版　消防年報

令和２年６月発行

編集・発行　大崎地域広域行政事務組合消防本部総務課

宮城県大崎市古川千手寺町二丁目５番 20 号
電 話　(0229)22-2351㈹
FAX　(0229)24-4048